

# 川俣町 住民意向調査 報告書

令和3年3月

復興庁  
福島県  
川俣町



# 川俣町 住民意向調査

## 報告書

### 目 次

<b>I 調査の概要</b> . . . . .	1
1-1 調査目的 . . . . .	3
1-2 調査内容 . . . . .	3
1-3 調査設計 . . . . .	3
1-4 回収結果 . . . . .	3
1-5 報告書の見方 . . . . .	3
<b>II 調査結果（主要項目）</b> . . . . .	5
2-1 現在の状況 . . . . .	7
2-1-1 現在の職業（就業形態）（問3（1）） . . . . .	7
2-1-2 世帯人数（問5・問10・問15・問20） . . . . .	7
2-1-3 現在の居住自治体（問8・問13・問18） . . . . .	8
2-1-4 現在の住居形態〔山木屋地区に居住している方〕 （問9） . . . . .	8
2-1-5 現在の住居形態〔川俣町（山木屋地区以外）に居住して いる方〕（問9・問19） . . . . .	9
2-1-6 現在の住居形態〔川俣町以外に居住している方〕 （問14・問19） . . . . .	9
2-2 将来の意向 . . . . .	10
2-2-1 山木屋地区への帰還意向（問8・問21） . . . . .	10
2-2-2 山木屋地区への帰還を決めた理由（問11） . . . . .	12
2-2-3 山木屋地区での今後の生活において重要な支援 （問12） . . . . .	13
2-2-4 山木屋地区への帰還時期（問22） . . . . .	14
2-2-5 山木屋地区へ帰還する場合の家族（問23） . . . . .	14
2-2-6 山木屋地区へ帰還する場合に希望する住居形態 （問24） . . . . .	15
2-2-7 山木屋地区へ帰還する場合に今後の生活において必要な 支援（問25） . . . . .	16
2-2-8 山木屋地区への帰還を判断するために必要なこと （問26） . . . . .	17

2-2-9	山木屋地区に帰還しない理由（問 28）	18
2-2-10	山木屋地区に帰還しない場合に居住を希望する自治体（問 29）	19
2-2-11	山木屋地区に帰還しない場合に今後の住まいとして希望する住居形態（問 30）	19
2-2-12	山木屋地区に帰還しない場合に今後の生活において必要な支援（問 31）	20
2-2-13	山木屋地区との「つながり」を保ちたいか（問 17・問 27・問 32）	21
2-2-14	山木屋地区との「つながり」を保つために必要な施策（問 17-1・問 27-1・問 32-1）	22
<b>III</b>	<b>調査結果（全項目）</b>	<b>23</b>
3-1	回答者の属性	25
3-1-1	性別	25
3-1-2	年齢	25
3-1-3	現在の職業（就業形態）	26
3-1-4	現在の業種	27
3-2	東日本大震災発生当時の状況	28
3-2-1	震災発生当時の住まいの行政区	28
3-2-2	震災発生当時の世帯構成・人数	28
3-2-3	震災発生当時の住居形態	29
3-2-4	震災発生当時の住まいの現在の状況	29
3-2-5	震災発生当時の住まいの現在の被害状況	30
3-3	現在の状況	31
3-3-1	避難指示解除後の状況	31
3-3-2	避難終了後の状況	32
3-3-3	現在の住居形態〔川俣町内に住んでいる方〕	35
3-3-4	現在の住まいを山木屋の元の持ち家以外とした理由	35
3-3-5	現在の世帯構成・人数〔川俣町内に住んでいる方〕	36
3-3-6	川俣町内への帰還を決めた理由	37
3-3-7	川俣町内での今後の生活において重要な支援	38
3-3-8	現在の居住自治体〔川俣町外に転出した方〕	40
3-3-9	現在の住居形態〔川俣町外に転出した方〕	40
3-3-10	現在の世帯構成・人数〔川俣町外に転出した方〕	41
3-3-11	川俣町外に転出している理由	42
3-3-12	山木屋地区との「つながり」を保ちたいか〔川俣町外へ転出した方〕	43

3-3-13	山木屋地区との「つながり」を保つために必要な施策 〔川俣町外へ転出した方〕	44
3-3-14	現在の居住自治体〔避難を継続している方〕	44
3-3-15	現在の住居形態〔避難を継続している方〕	45
3-3-16	現在の世帯構成・人数〔避難を継続している方〕	45
3-4	将来の意向	46
3-4-1	山木屋地区への帰還意向	46
3-4-2	山木屋地区への帰還時期	49
3-4-3	山木屋地区への帰還時期を検討・希望している理由	50
3-4-4	山木屋地区へ帰還する場合の家族	51
3-4-5	山木屋地区へ帰還する場合に希望する住居形態	52
3-4-6	山木屋地区へ帰還する場合に元の持ち家以外を希望する理由	52
3-4-7	山木屋地区に帰還する場合に今後の生活において必要な支援	53
3-4-8	山木屋地区への帰還を判断するために必要なこと	54
3-4-9	山木屋地区との「つながり」を保ちたいか 〔帰還の判断がまだつかない方〕	56
3-4-10	山木屋地区との「つながり」を保つために必要な施策 〔帰還の判断がまだつかない方〕	57
3-4-11	山木屋地区に帰還しない理由	58
3-4-12	山木屋地区に帰還しない場合に居住を希望する自治体	59
3-4-13	山木屋地区に帰還しない場合に今後の住まいとして希望する住居形態	59
3-4-14	山木屋地区に帰還しない場合に今後の生活において必要な支援	60
3-4-15	山木屋地区との「つながり」を保ちたいか 〔戻らないと決めている方〕	61
3-4-16	山木屋地区との「つながり」を保つために必要な施策 〔戻らないと決めている方〕	62
3-5	意見・要望	63
3-5-1	意見に係る記入内容の分類結果	64
3-5-2	生活について	65
3-5-3	震災発生前の居住地について	66
3-5-4	帰還について	67
3-5-5	除染について	68
3-5-6	復旧・復興について	69
3-5-7	原発事故に対する対応について	70

3-5-8	その他	71
IV	参考資料	73
4-1	使用調査票	75

# I 調査の概要



## 1-1 調査目的

本調査は、東京電力福島第一原子力発電所の事故により避難生活を余儀なくされていた山木屋地区住民の「帰還後の生活環境の改善」、「帰還に向けた諸施策の適切な実施に向けた取り組み」を検討するための基礎資料とすることを目的とする。

## 1-2 調査内容

※4-1 使用調査票を参照のこと

## 1-3 調査設計

(1) 調査地域	川俣町山木屋地区
(2) 調査対象と標本数	世帯の代表者 515 世帯
(3) 調査手法	郵送にて配布・回収（自記式）
(4) 調査期間	令和2年11月2日（月）～令和2年11月16日（月）
(5) 調査主体	復興庁、福島県、川俣町
(6) 調査機関	株式会社サーベイリサーチセンター

## 1-4 回収結果

有効回収数 283世帯（有効回収率55.0%）

## 1-5 報告書の見方

- ・調査数（ $n = \text{Number of cases}$ ）とは、回答者総数あるいは分類別の回答者数のことである。
- ・回答の構成比は百分率であらわし、小数点第2位を四捨五入して算出している。従って、回答比率の合計が100%にならない場合がある。
- ・回答者が2つ以上の回答をすることができる多肢選択式の質問においては、全ての選択肢の比率を合計すると100%を超える。
- ・「その他」に内訳を記載している項目に関しては、個別の項目を合算して構成比を改めて算出している。従って、内訳の回答比率の合計が、グラフ記載の「その他」の回答比率と合致しない場合がある。
- ・図表および文章中で、選択肢の語句等を一部簡略化している場合がある。
- ・調査数（ $n$  値）が少数（概ね30を下回る）のものは、回答構成比の信頼性が低いため、文章中の分析では言及していない。
- ・Ⅱ調査結果（主要項目）の設問ごとのコメントについては、令和2年度について述べている。  
（令和元年度の結果は、参考値として掲載）



## **II 調査結果（主要項目）**

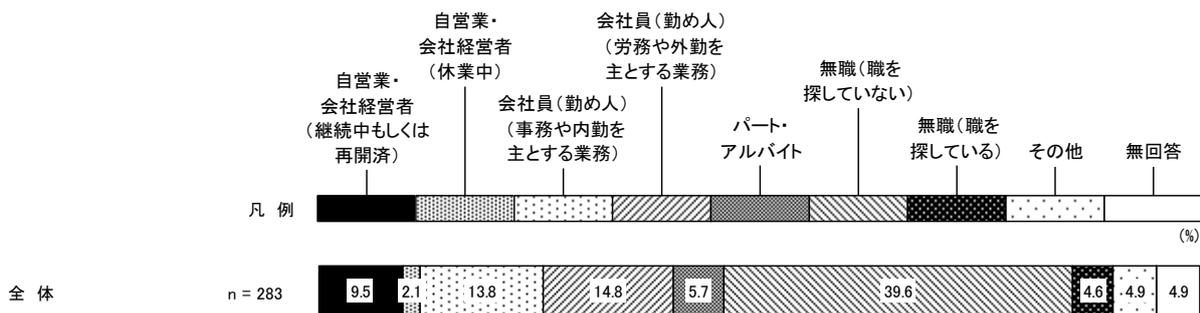


## 2-1 現在の状況

### 2-1-1 現在の職業（就業形態）（問3（1））

現在の職業（就業形態）については、「無職（職を探していない）」以外では、「会社員（勤め人）（労務や外勤を主とする業務）」が14.8%と最も高く、次いで「会社員（勤め人）（事務や内勤を主とする業務）」が13.8%となっている。

<図表2-1-1 現在の職業（就業形態）>

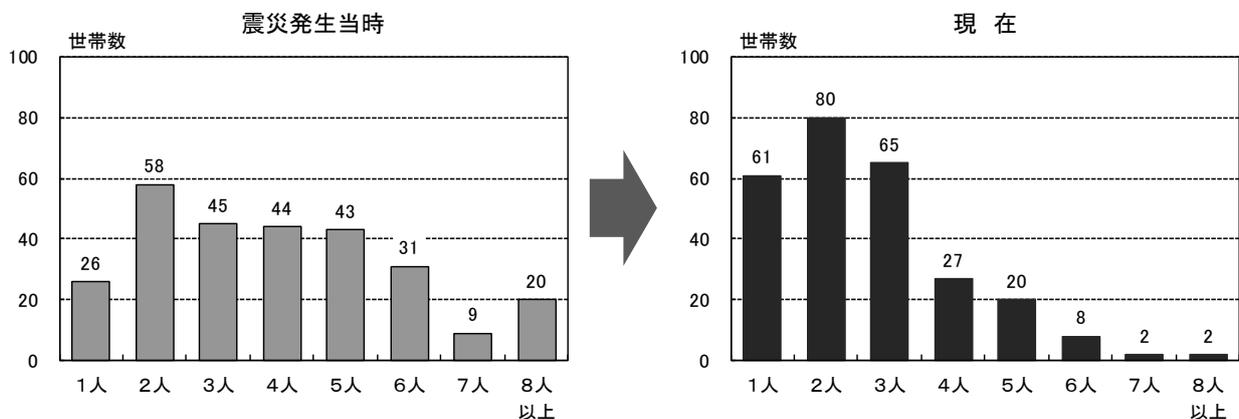


### 2-1-2 世帯人数（問5・問10・問15・問20）

震災発生当時の世帯人数は、「2人」が58世帯と最も多く、次いで「3人」が45世帯、「4人」が44世帯となっている。

現在の世帯人数は、「2人」が80世帯と最も多く、次いで「3人」が65世帯、「1人」が61世帯となっている。

<図表2-1-2 世帯人数>

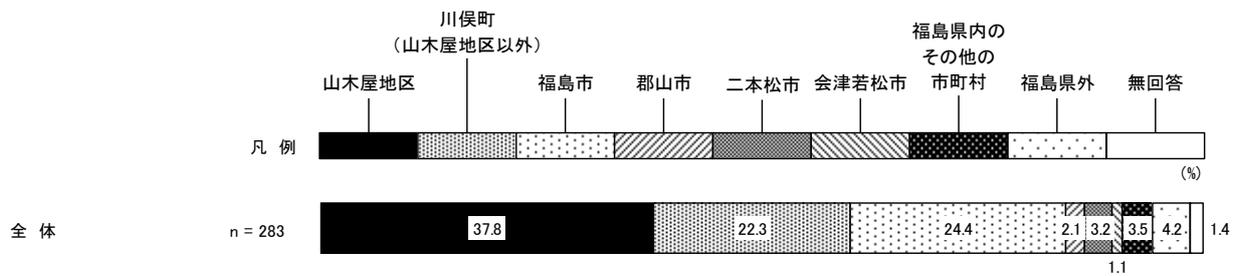


## II 調査結果（主要項目）

### 2-1-3 現在の居住自治体（問8・問13・問18）

現在の居住自治体については、「山木屋地区」が37.8%と最も高く、次いで「福島市」が24.4%、「川俣町（山木屋地区以外）」が22.3%となっている。

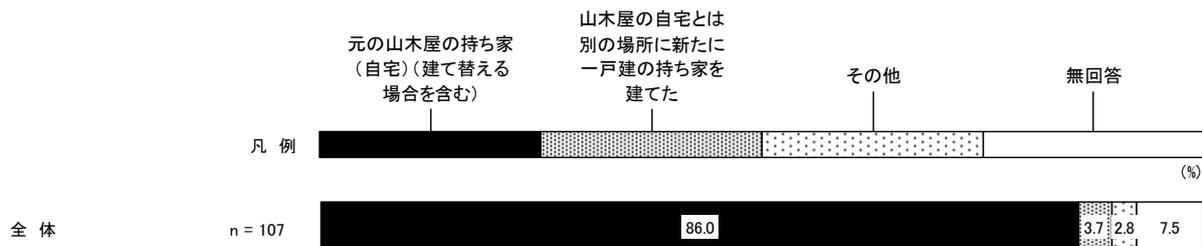
<図表2-1-3 現在の居住自治体>



### 2-1-4 現在の住居形態〔山木屋地区に居住している方〕（問9）

現在の住居形態〔山木屋地区に居住している方〕については、「元の山木屋の持ち家（自宅）（建て替える場合を含む）」が86.0%と最も高く、次いで「山木屋の自宅とは別の場所に新たに一戸建の持ち家を建てた」が3.7%となっている。

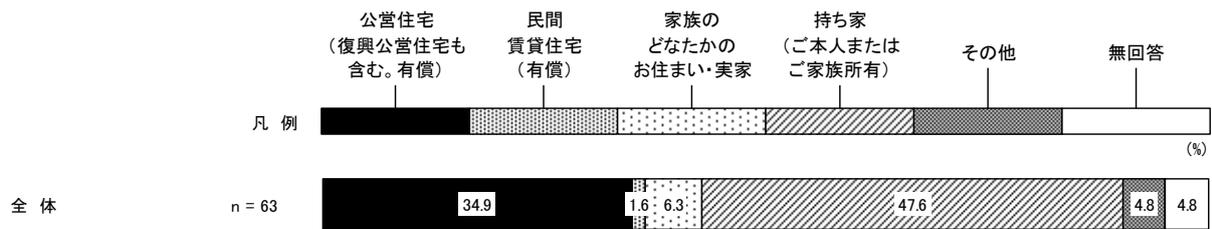
<図表2-1-4 現在の住居形態〔山木屋地区に居住している方〕>



### 2-1-5 現在の住居形態〔川俣町（山木屋地区以外）に居住している方〕 （問9・問19）

現在の住居形態〔川俣町（山木屋地区以外）に居住している方〕については、「持ち家（ご本人またはご家族所有）」が47.6%と最も高く、次いで「公営住宅（復興公営住宅も含む。有償）」が34.9%となっている。

<図表2-1-5 現在の住居形態〔川俣町（山木屋地区以外）に居住している方〕>



### 2-1-6 現在の住居形態〔川俣町以外に居住している方〕（問14・問19）

現在の住居形態〔川俣町以外に居住している方〕については、「持ち家（ご本人またはご家族所有）」が78.0%と最も高く、次いで「民間賃貸住宅（有償）」が12.8%となっている。

<図表2-1-6 現在の住居形態〔川俣町以外に居住している方〕>



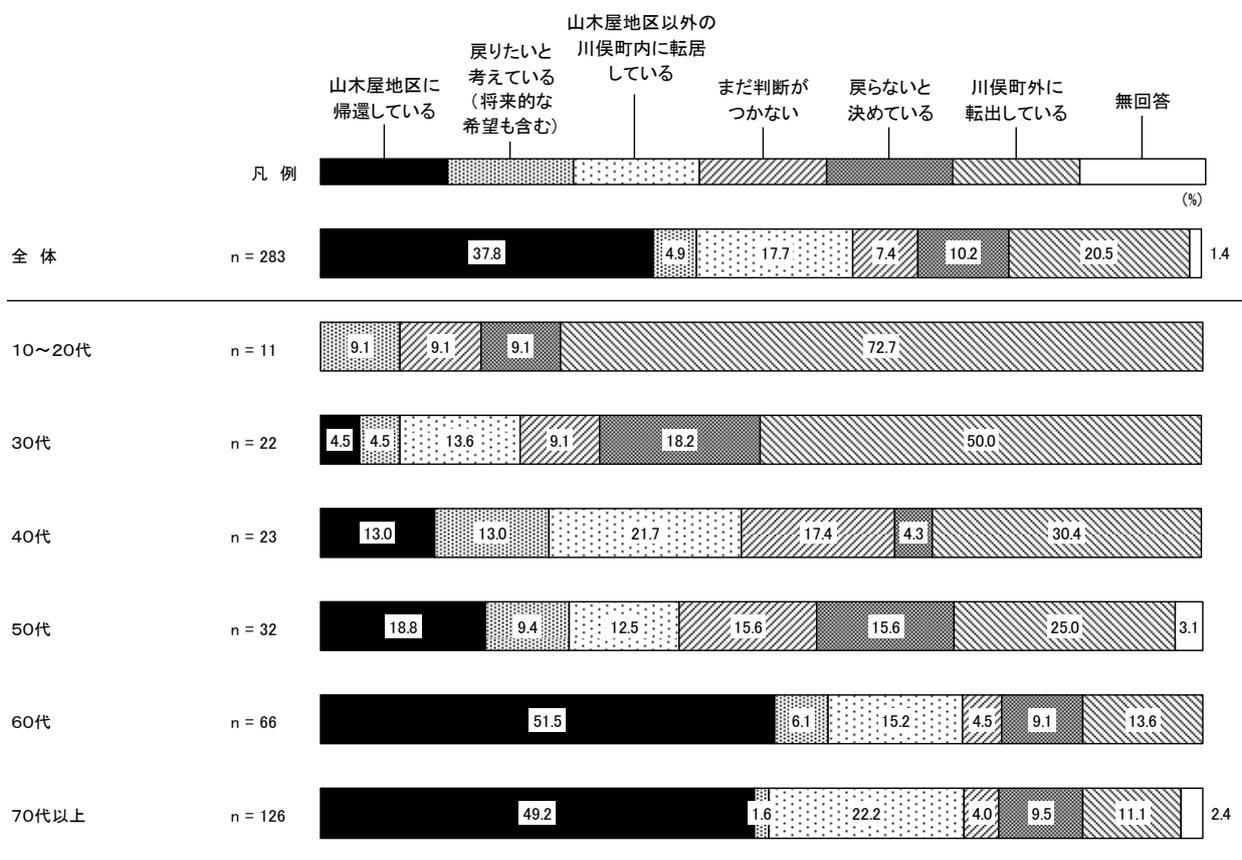
## 2-2 将来の意向

### 2-2-1 山木屋地区への帰還意向（問8・問21）

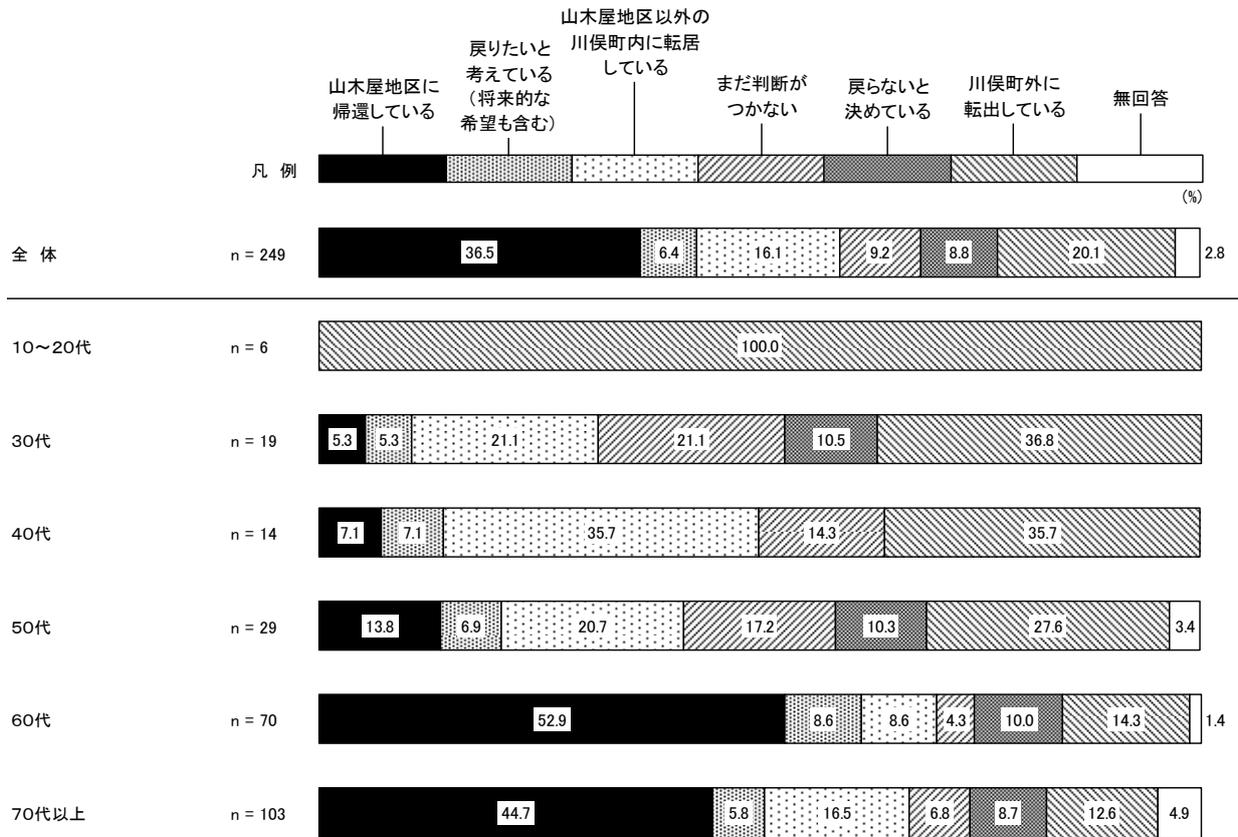
山木屋地区への帰還意向については、「山木屋地区に帰還している」が37.8%と最も高く、次いで「川俣町外に転出している」が20.5%、「山木屋地区以外の川俣町内に転居している」が17.7%となっている。

回答者の年齢別にみると、「山木屋地区に帰還している」は60代で51.5%、70代以上で49.2%と、高い年代で割合が高くなっている。一方、40代以下では「川俣町外に転出している」の割合が3割以上と高くなっている。

<図表2-2-1-1 山木屋地区への帰還意向：令和2年度（年齢別）>



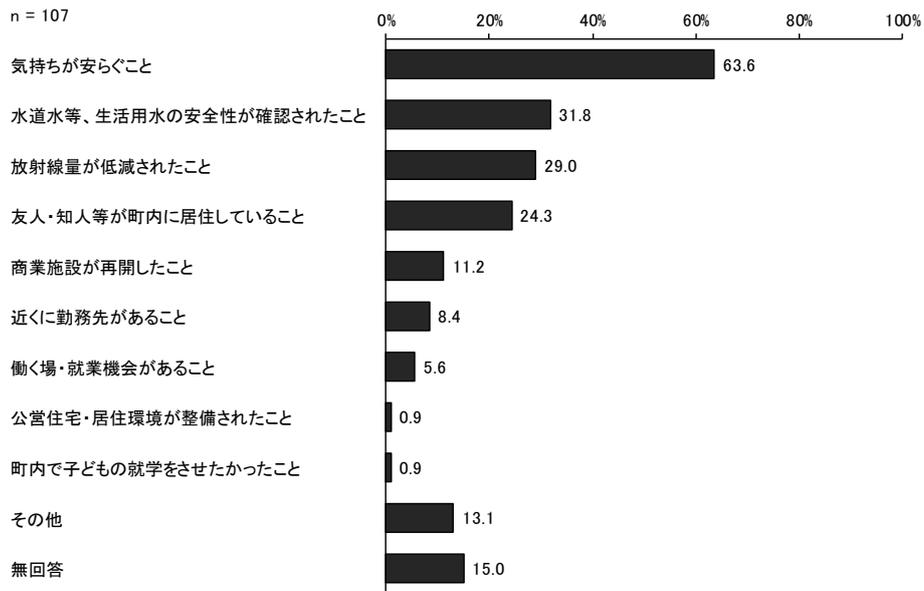
<図表2-2-1-2 山木屋地区への帰還意向：令和元年度（年齢別）>



2-2-2 山木屋地区への帰還を決めた理由（問 11）

山木屋地区への帰還を決めた理由については、「気持ち安らぐこと」が63.6%と最も高く、次いで「水道水等、生活水の安全性が確認されたこと」が31.8%、「放射線量が低減されたこと」が29.0%となっている。

<図表2-2-2 山木屋地区への帰還を決めた理由>

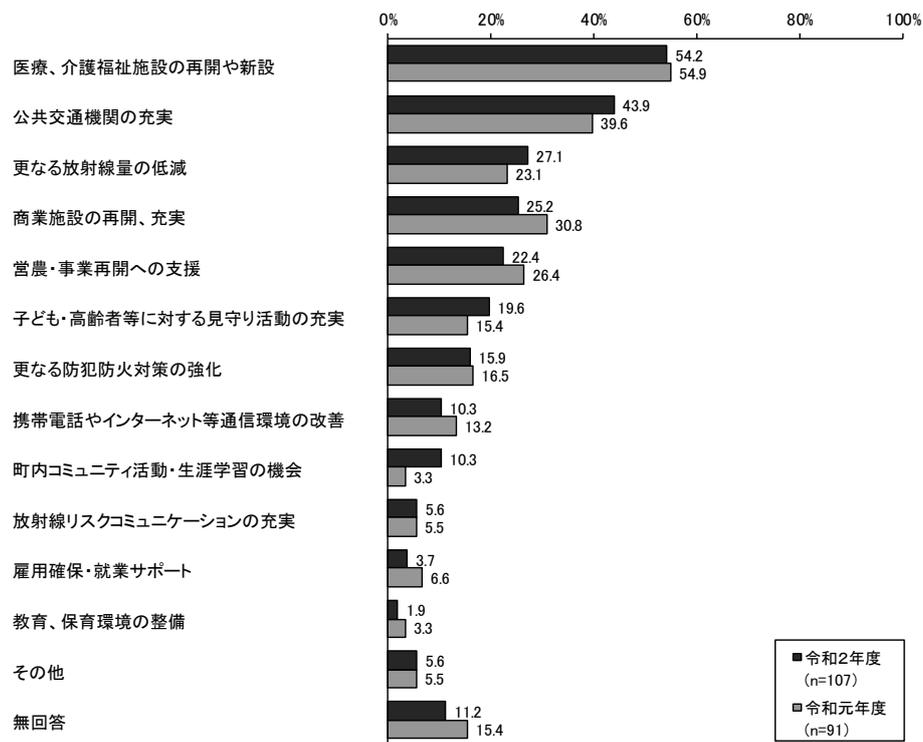


※問8で「山木屋地区に帰還している」と回答した方のみ  
※令和2年度からの新規設問  
※複数回答可

2-2-3 山木屋地区での今後の生活において重要な支援（問12）

山木屋地区での今後の生活において重要な支援については、「医療、介護福祉施設の再開や新設」が54.2%と最も高く、次いで「公共交通機関の充実」が43.9%、「更なる放射線量の低減」が27.1%となっている。

<図表2-2-3 山木屋地区での今後の生活において重要な支援>

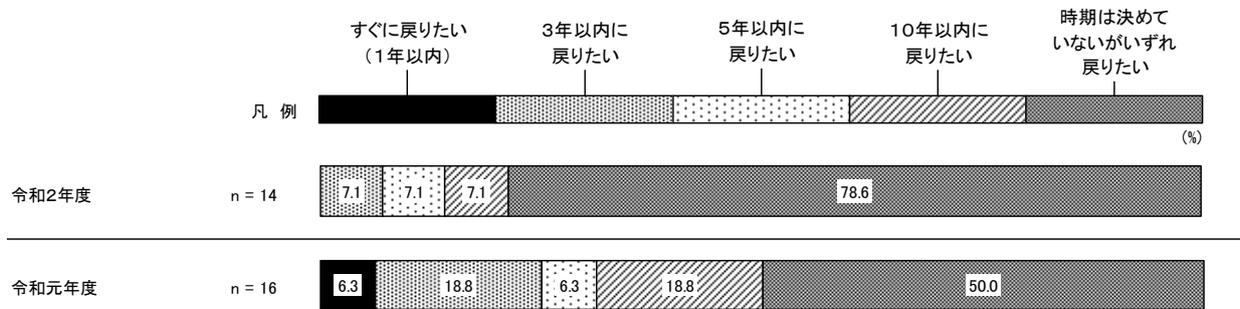


※問8で「山木屋地区に帰還している」と回答した方のみ  
 ※複数回答可

2-2-4 山木屋地区への帰還時期（問 22）

山木屋地区への帰還時期については、「時期は決めていないがいずれ戻りたい」が78.6%と最も高くなっている。

<図表2-2-4 山木屋地区への帰還時期>

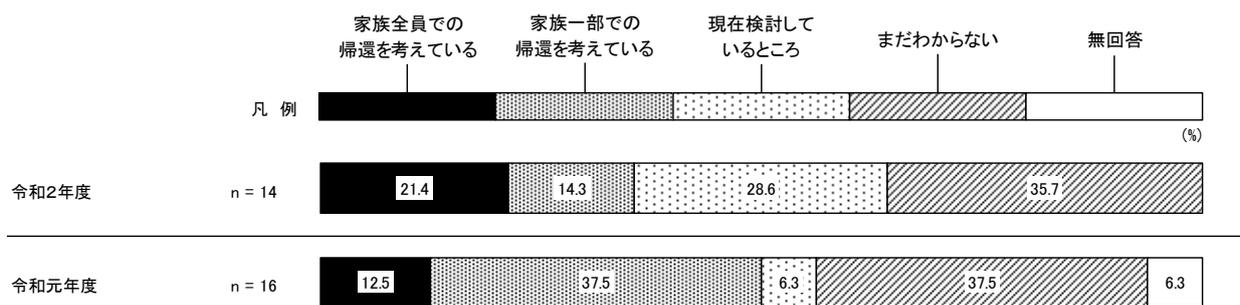


※問 21 で「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方のみ

2-2-5 山木屋地区へ帰還する場合の家族（問 23）

山木屋地区へ帰還する場合の家族については、「まだわからない」が35.7%と最も高く、次いで「現在検討しているところ」が28.6%、「家族全員での帰還を考えている」が21.4%となっている。

<図表2-2-5 山木屋地区へ帰還する場合の家族>

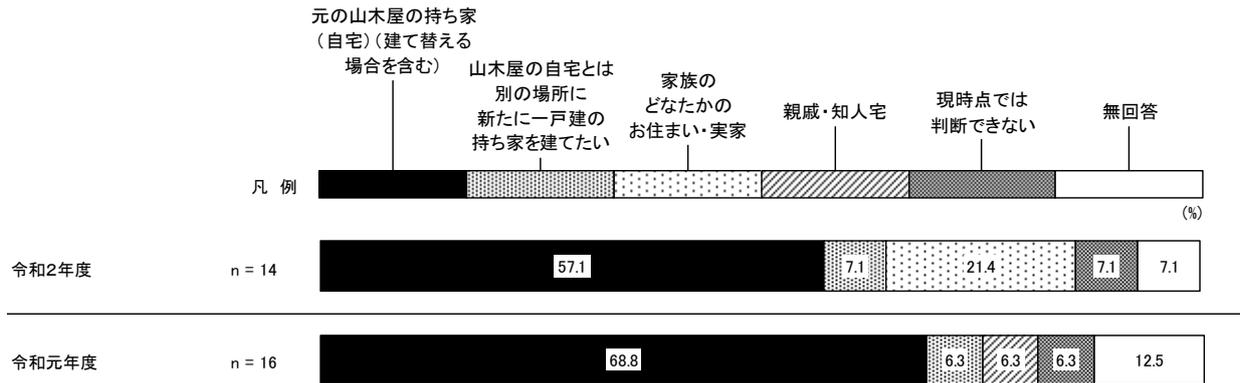


※問 21 で「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方のみ

2-2-6 山木屋地区へ帰還する場合に希望する住居形態（問 24）

山木屋地区へ帰還する場合に希望する住居形態については、「元の山木屋の持ち家（自宅）（建て替える場合を含む）」が57.1%と最も高く、次いで「家族のどなたかのお住まい・実家」が21.4%となっている。

<図表2-2-6 山木屋地区へ帰還する場合に希望する住居形態>

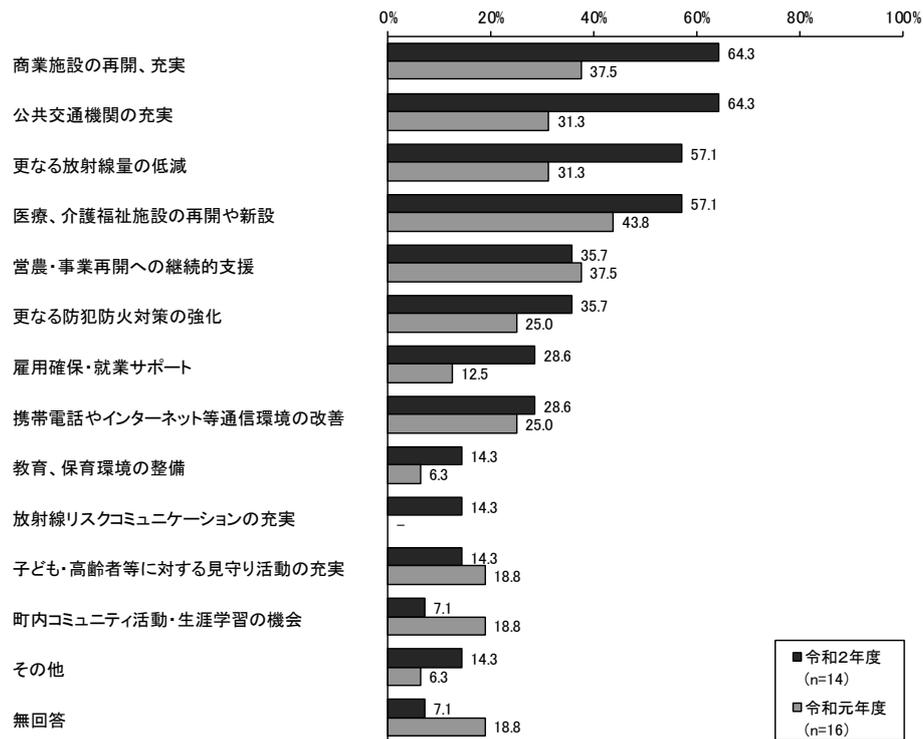


※問 21 で「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方のみ

2-2-7 山木屋地区へ帰還する場合に今後の生活において必要な支援（問25）

山木屋地区へ帰還する場合に今後の生活において必要な支援については、「商業施設の再開、充実」と「公共交通機関の充実」がともに64.3%と最も高く、次いで「更なる放射線量の低減」と「医療、介護福祉施設の再開や新設」がともに57.1%となっている。

<図表2-2-7 山木屋地区へ帰還する場合に今後の生活において必要な支援>

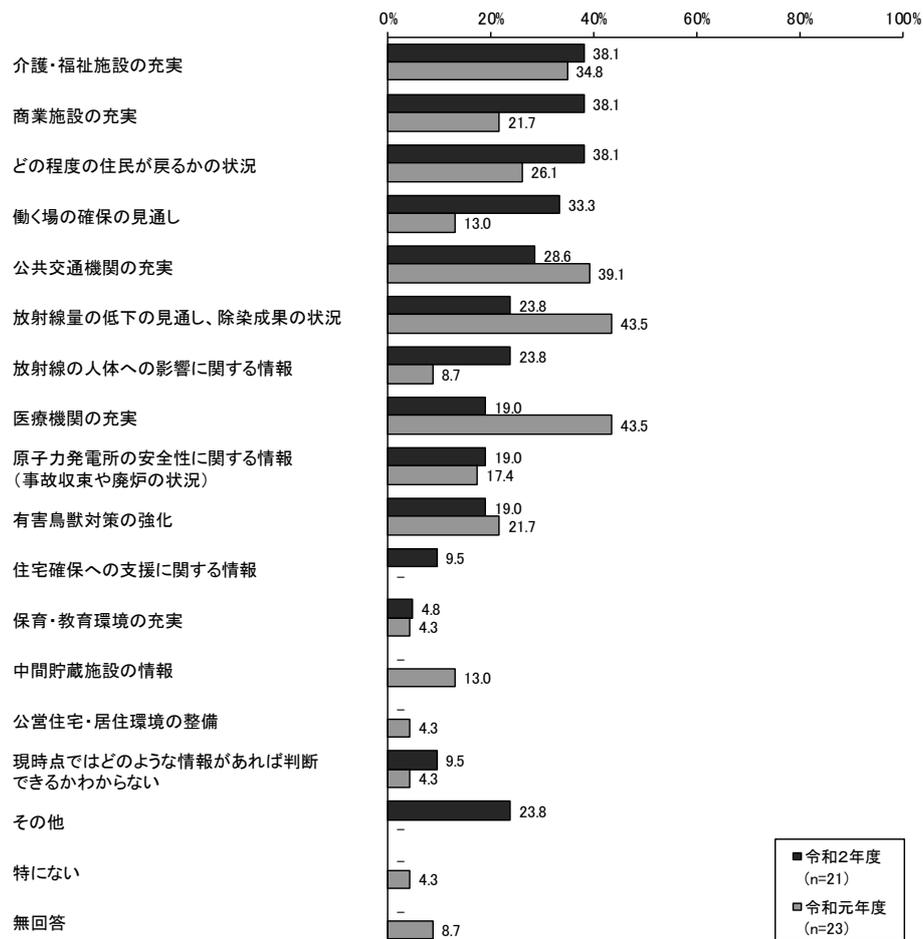


※問21で「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方のみ  
 ※複数回答可

2-2-8 山木屋地区への帰還を判断するために必要なこと（問26）

山木屋地区への帰還を判断するために必要なことについては、「介護・福祉施設の充実」、「商業施設の充実」、「どの程度の住民が戻るかの状況」がいずれも38.1%と最も高くなっている。

<図表2-2-8 山木屋地区への帰還を判断するために必要なこと>

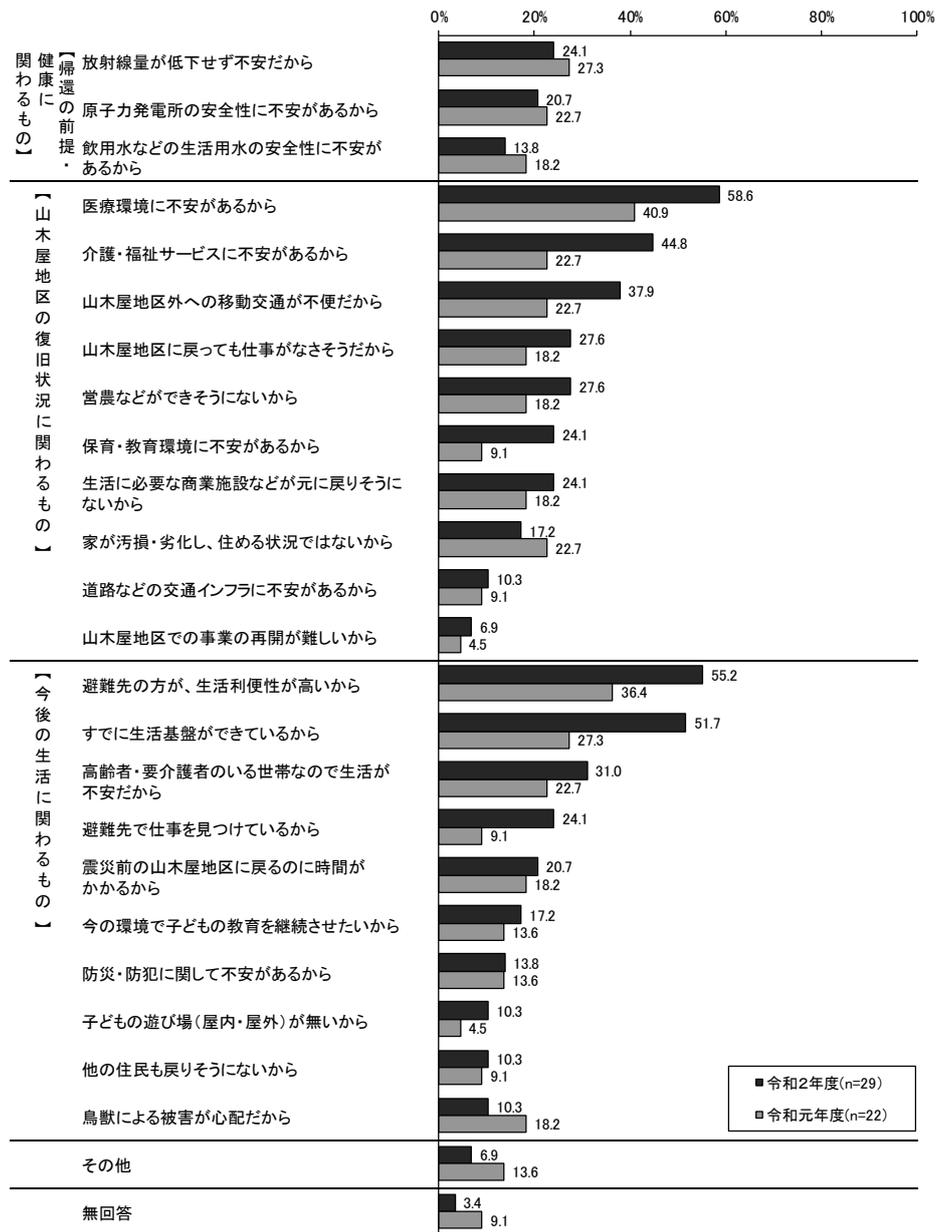


※問21で「まだ判断がつかない」と回答した方のみ  
※複数回答可

2-2-9 山木屋地区に帰還しない理由（問 28）

山木屋地区に帰還しない理由については、「医療環境に不安があるから」が 58.6%と最も高く、次いで「避難先の方が、生活利便性が高いから」が 55.2%、「すでに生活基盤ができているから」が 51.7%となっている。

<図表 2-2-9 山木屋地区に帰還しない理由>

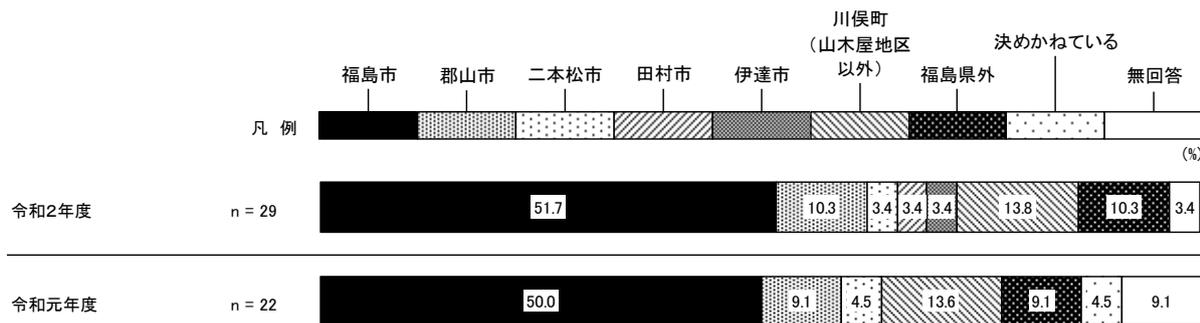


※問 21 で「戻らないと決めている」と回答した方のみ  
 ※複数回答可

2-2-10 山木屋地区に帰還しない場合に居住を希望する自治体（問 29）

山木屋地区に帰還しない場合に居住を希望する自治体については、「福島市」が51.7%と最も高く、次いで「川俣町（山木屋地区以外）」が13.8%、「郡山市」と「福島県外」がともに10.3%となっている。

<図表2-2-10 山木屋地区に帰還しない場合に居住を希望する自治体>

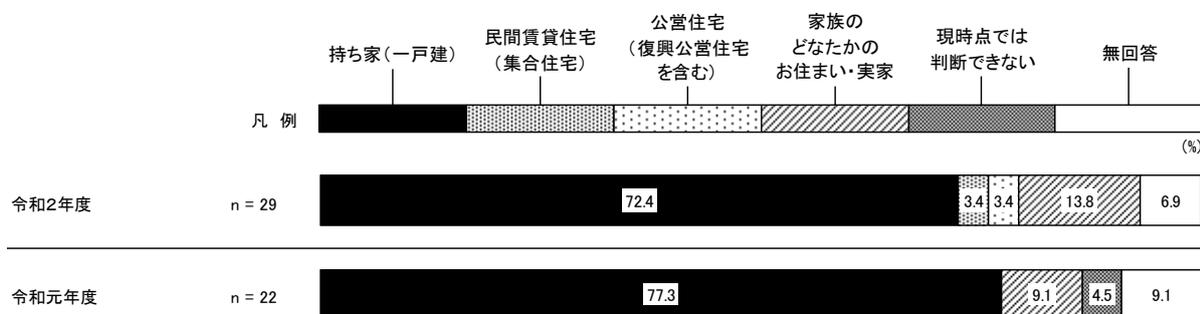


※問 21 で「戻らないと決めている」と回答した方のみ

2-2-11 山木屋地区に帰還しない場合に今後の住まいとして希望する住居形態（問 30）

山木屋地区に帰還しない場合に今後の住まいとして希望する住居形態は、「持ち家（一戸建）」が72.4%と最も高く、次いで「家族のどなたかのお住まい・実家」が13.8%となっている。

<図表2-2-11 山木屋地区に帰還しない場合に今後の住まいとして希望する住居形態>

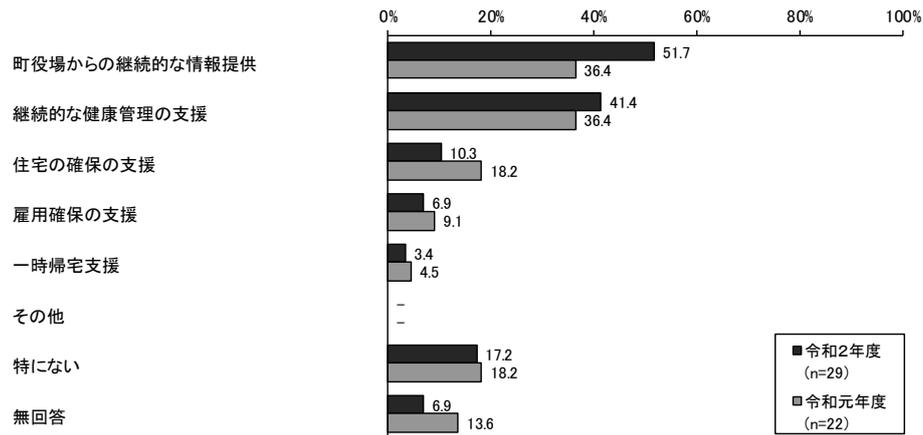


※問 21 で「戻らないと決めている」と回答した方のみ

2-2-12 山木屋地区に帰還しない場合に今後の生活において必要な支援（問31）

山木屋地区に帰還しない場合に今後の生活において必要な支援については、「町役場からの継続的な情報提供」が51.7%と最も高く、次いで「継続的な健康管理の支援」が41.4%、「住宅の確保の支援」が10.3%となっている。

<図表2-2-12 山木屋地区に帰還しない場合に今後の生活において必要な支援>



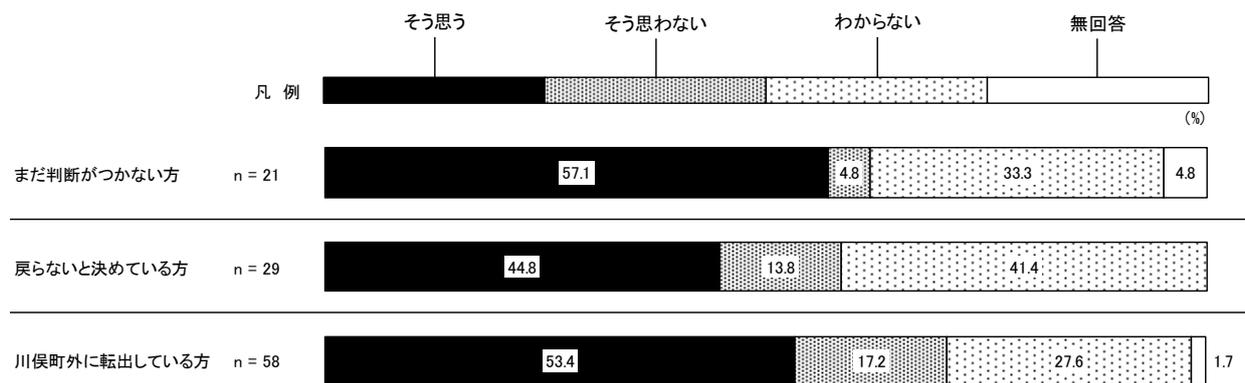
※問21で「戻らないと決めている」と回答した方のみ  
 ※複数回答可

2-2-13 山木屋地区との「つながり」を保ちたいか（問17・問27・問32）

山木屋地区との「つながり」を保ちたいかについて、「そう思う」の割合をみると、まだ判断がつかない方と川俣町外に転出している方で5割以上と高く、戻らないと決めている方では44.8%となっている。

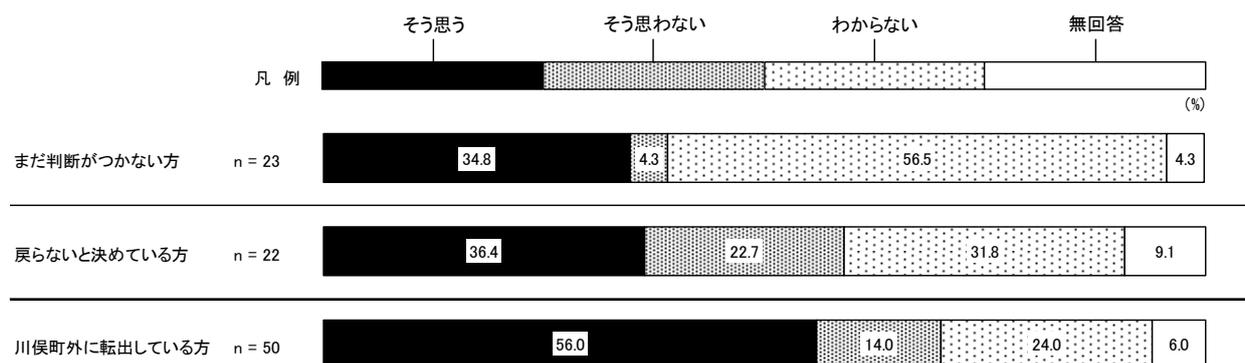
一方、「そう思わない」の割合をみると、川俣町外に転出している方で17.2%と高く、戻らないと決めている方では13.8%、まだ判断がつかない方では4.8%となっている。

<図表2-2-13-1 山木屋地区との「つながり」を保ちたいか：令和2年度（山木屋地区への帰還意向別）>



※問8で「川俣町外に転出している」、問21で「まだ判断がつかない」「戻らないと決めている」と回答した方のみ

<図表2-2-13-2 山木屋地区との「つながり」を保ちたいか：令和元年度（山木屋地区への帰還意向別）>

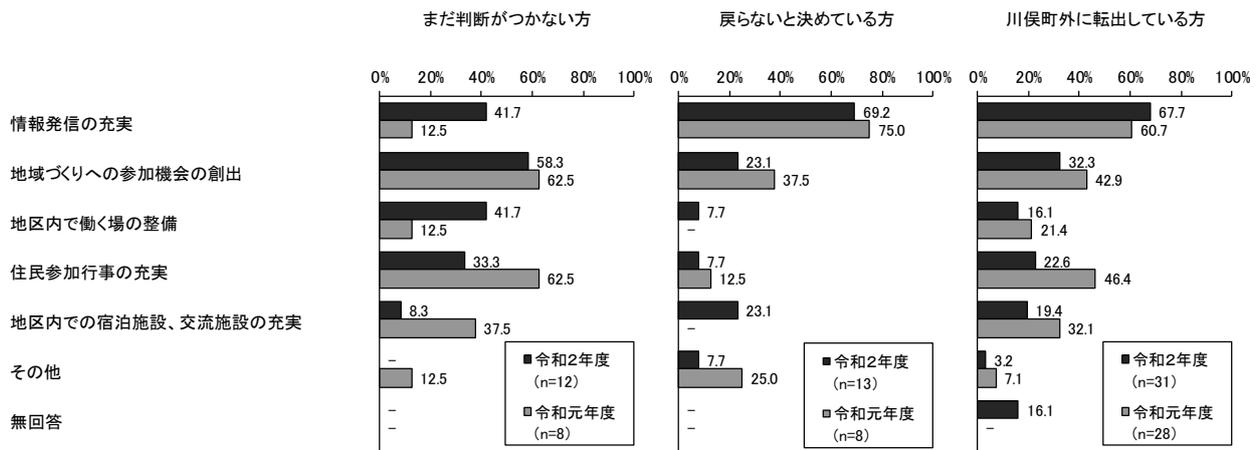


2-2-14 山木屋地区との「つながり」を保つために必要な施策  
（問 17-1・問 27-1・問 32-1）

山木屋地区との「つながり」を保つために必要な施策について、戻らないと決めている方と川俣町外に転出している方では、「情報発信の充実」が約7割と最も高くなっている。

一方、まだ判断がつかない方では、「地域づくりへの参加機会の創出」が58.3%と最も高くなっている。

<図表2-2-14 山木屋地区との「つながり」を保つために必要な施策（山木屋地区への帰還意向別）>



※問 17・問 27・問 32 で「そう思う」と回答した方のみ  
※複数回答可

### **Ⅲ 調査結果（全項目）**

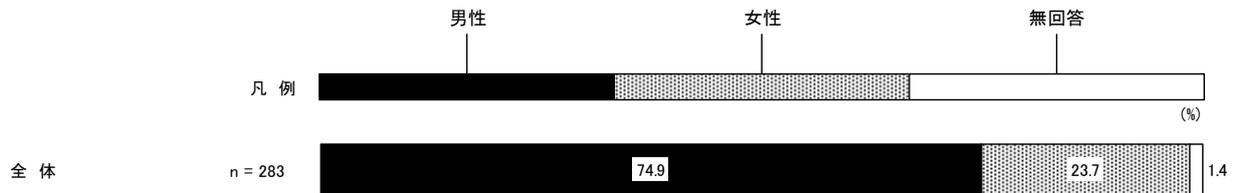


### 3-1 回答者の属性

#### 3-1-1 性別

問1 性別を教えてください。（〇は1つ）

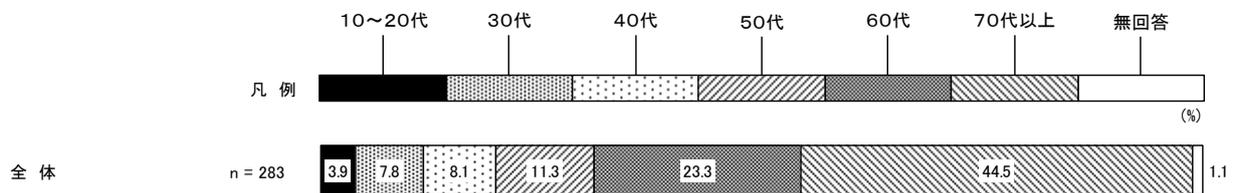
<図表3-1-1 性別>



#### 3-1-2 年齢

問2 あなたの現在の年齢を教えてください。（〇は1つ）

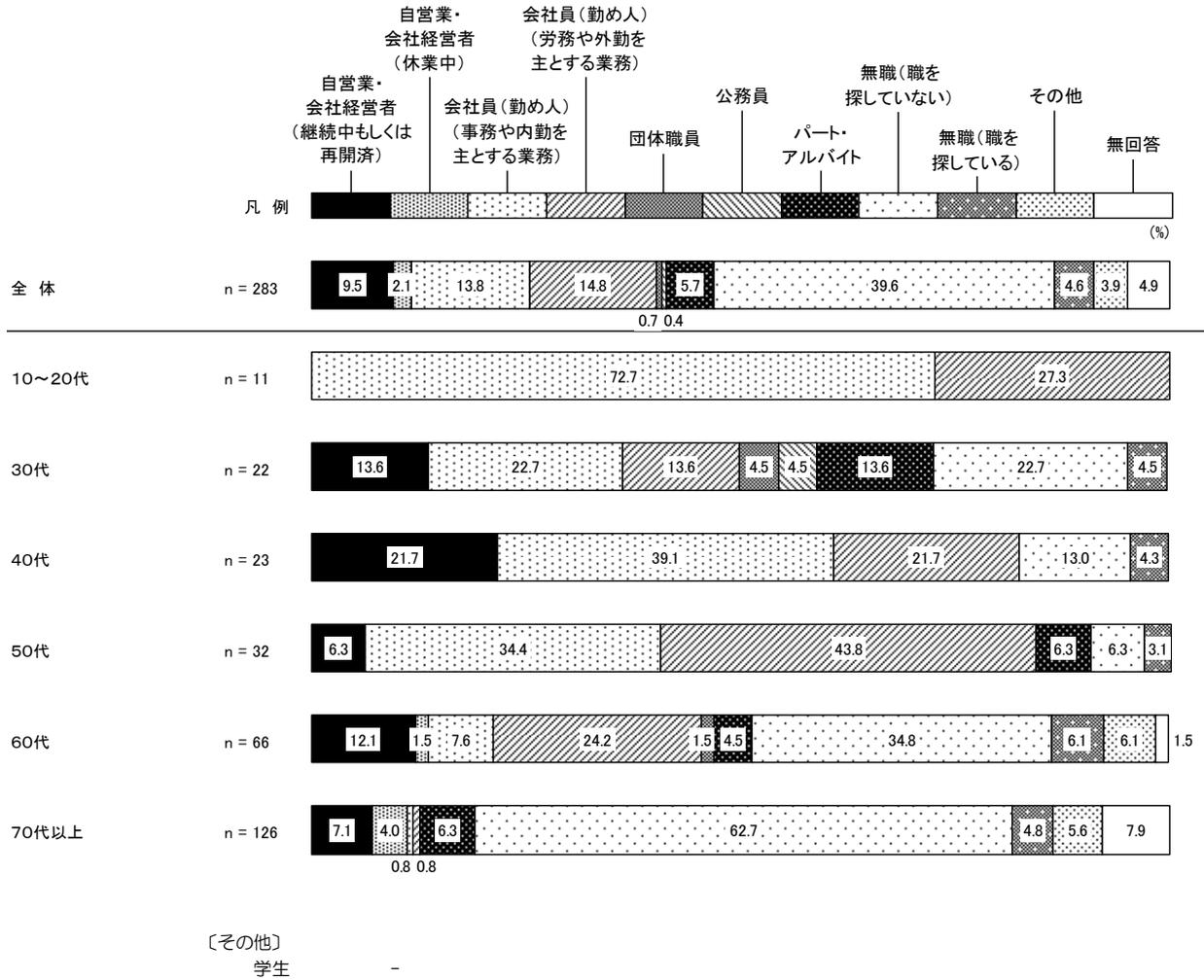
<図表3-1-2 年齢>



3-1-3 現在の職業（就業形態）

問3 現在のあなたの職業を教えてください。  
 仕事に就いている方は、業種も教えてください。なお、2つ以上の職業を持っている場合は、主な収入源になっている職業を教えてください。  
 (1) 職業（就業形態）（○は1つ）

<図表3-1-3 現在の職業（就業形態）（年齢別）>



3-1-4 現在の業種

【仕事に就いている方（\*問3（1）で「1」から「7」、「11」と回答した方）にうかがいます。】

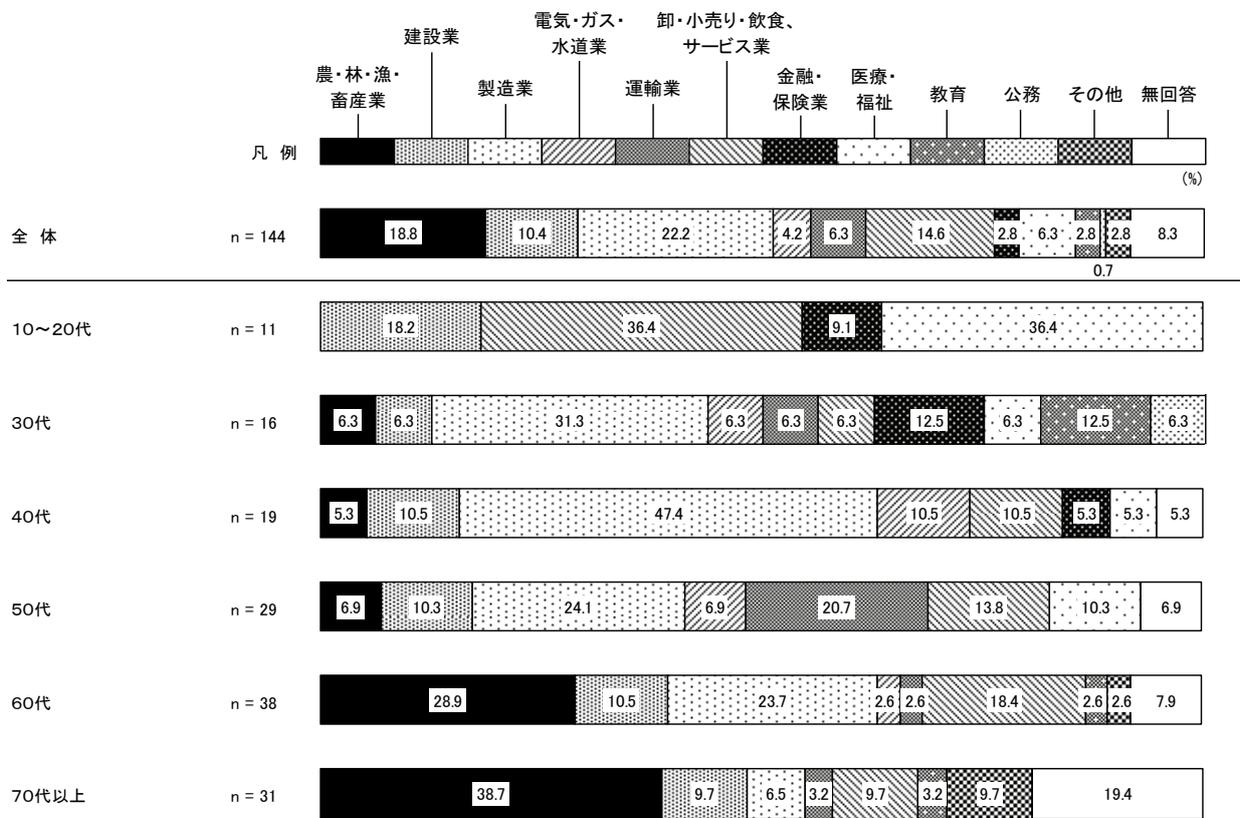
問3 現在のあなたの職業を教えてください。

仕事に就いている方は、業種も教えてください。なお、2つ以上の職業を持っている場合は、主な収入源になっている職業を教えてください。

(2) 業種（〇は1つ）

- \*問3（1） : 1. 自営業・会社経営者（継続中もしくは再開済）      2. 自営業・会社経営者（休業中）  
 3. 会社員（勤め人）（事務や内勤を主とする業務）      4. 会社員（勤め人）（労務や外勤を主とする業務）  
 5. 団体職員      6. 公務員  
 7. パート・アルバイト      11. その他

<図表3-1-4 現在の業種（年齢別）>

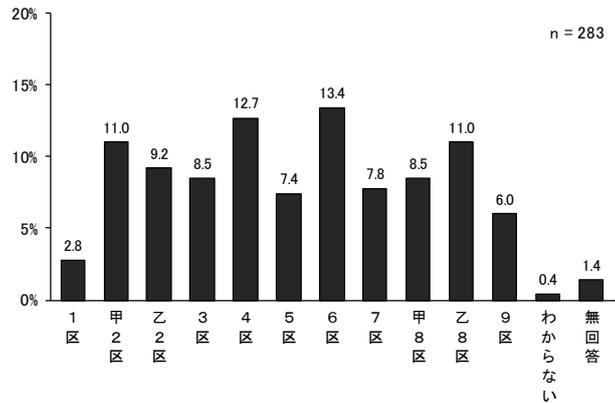


### 3-2 東日本大震災発生当時の状況

#### 3-2-1 震災発生当時の住まいの行政区

問4 震災発生当時にお住まいだった行政区を教えてください。（○は1つ）

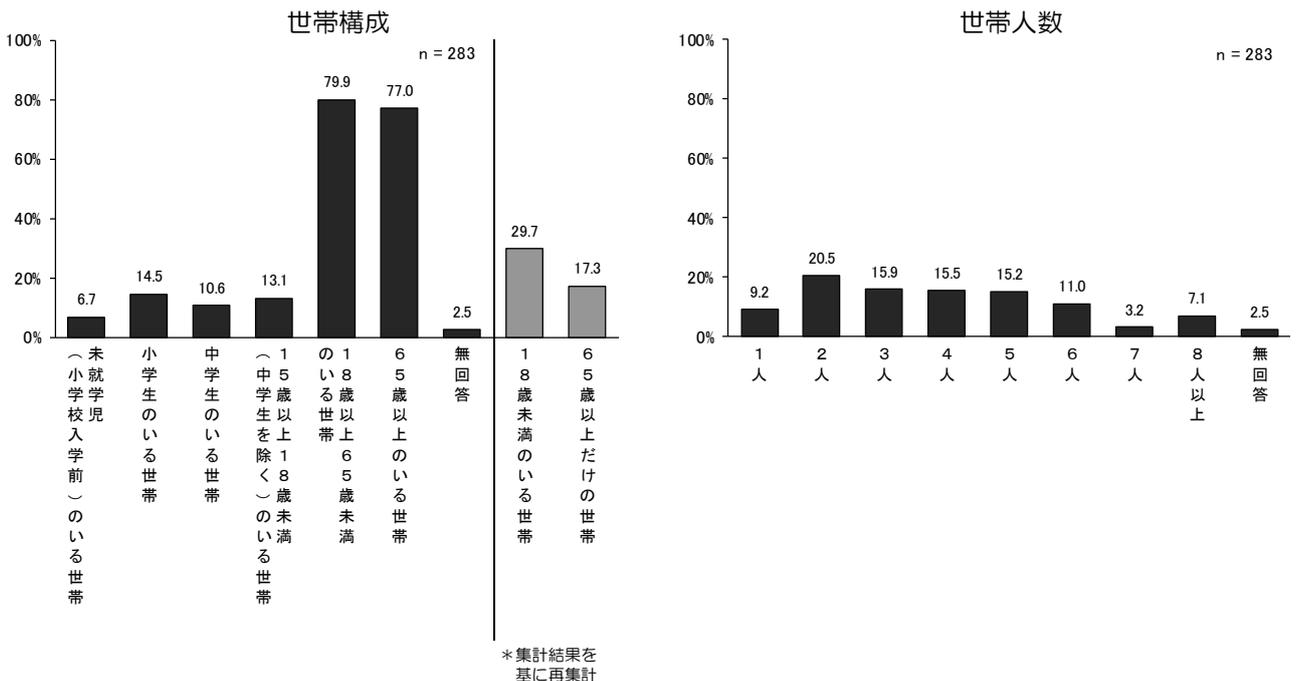
<図表3-2-1 震災発生当時の住まいの行政区>



#### 3-2-2 震災発生当時の世帯構成・人数

問5 「震災発生当時」に、あなたを含めて一緒に住んでいた方の人数を教えてください。あなた自身を含めて、「当時の」年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。（人数で回答）

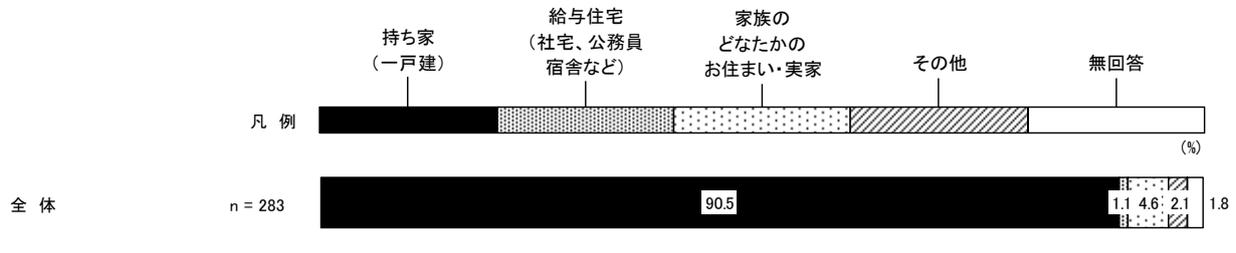
<図表3-2-2 震災発生当時の世帯構成・人数>



### 3-2-3 震災発生当時の住居形態

問6 震災発生当時にお住まいだった住宅は、どのような形態でしたか。（〇は1つ）

<図表3-2-3 震災発生当時の住居形態>



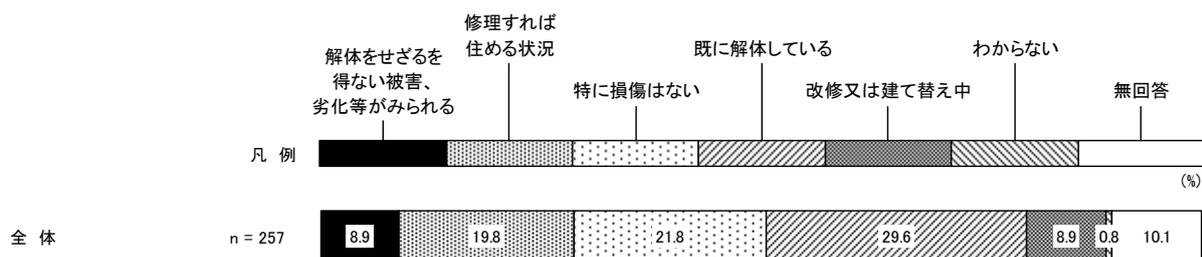
〔その他の内訳〕

持ち家（集合住宅）	0.4%
民間賃貸住宅（一戸建）	0.4%
民間賃貸住宅（集合住宅）	0.4%
公営住宅	0.4%
親戚・知人宅	0.7%
その他	-

### 3-2-4 震災発生当時の住まいの現在の状況

【問6で「1. 持ち家（一戸建）」「2. 持ち家（集合住宅）」と回答した方にかがいます。】  
問6-1 震災発生当時にお住まいだった住宅は、現在どのような状況ですか。（〇は1つ）

<図表3-2-4 震災発生当時の住まいの現在の状況>

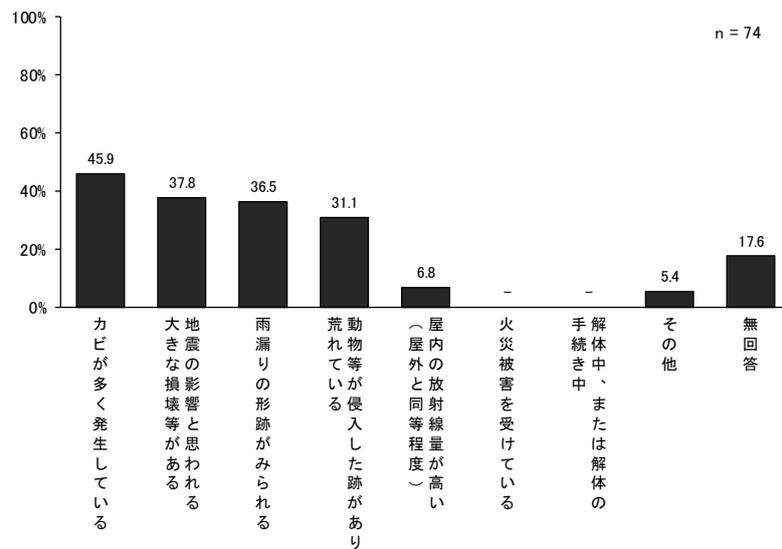


3-2-5 震災発生当時の住まいの現在の被害状況

【問6-1で「1. 解体をせざるを得ない被害、劣化等がみられる」「2. 修理すれば住める状況」と回答した方にうかがいます。】

問6-2 震災発生当時にお住まいだった住宅は、現在どのような被害や劣化等がありますか。（〇はいくつでも）

<図表3-2-5 震災発生当時の住まいの現在の被害状況>

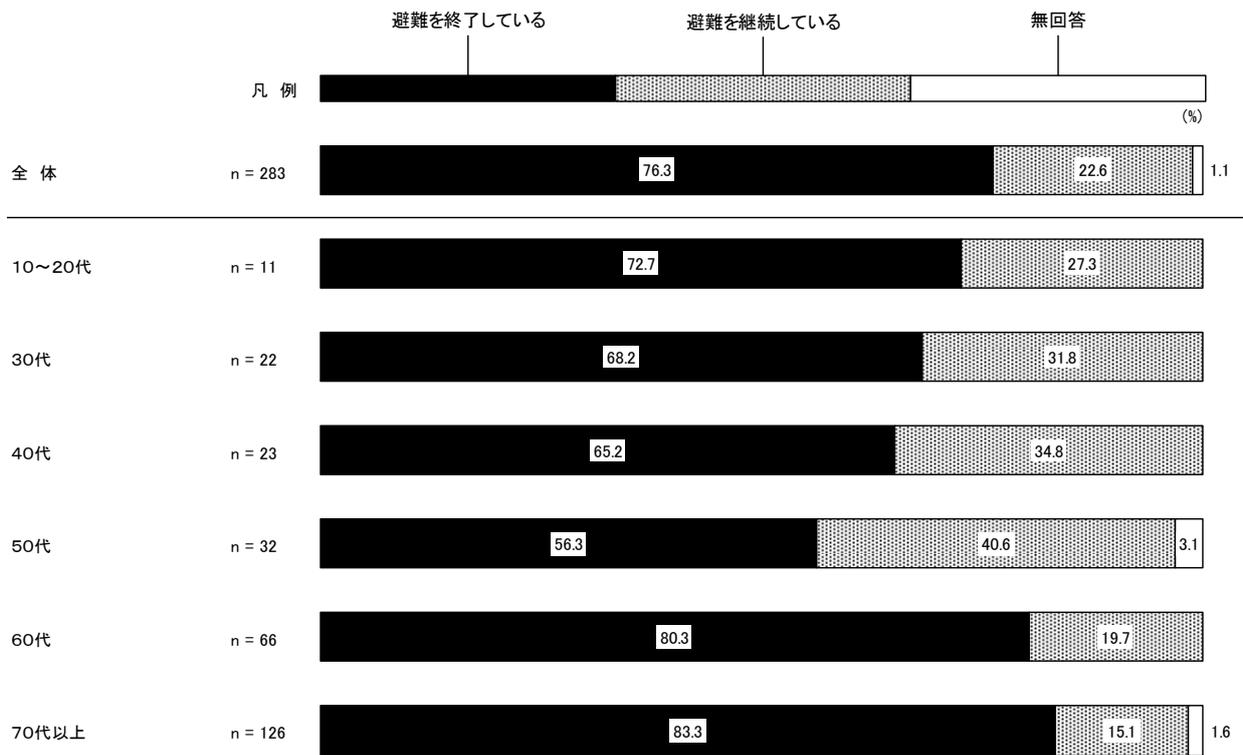


### 3-3 現在の状況

#### 3-3-1 避難指示解除後の状況

問7 避難指示解除後の現状を教えてください。（〇は1つ）

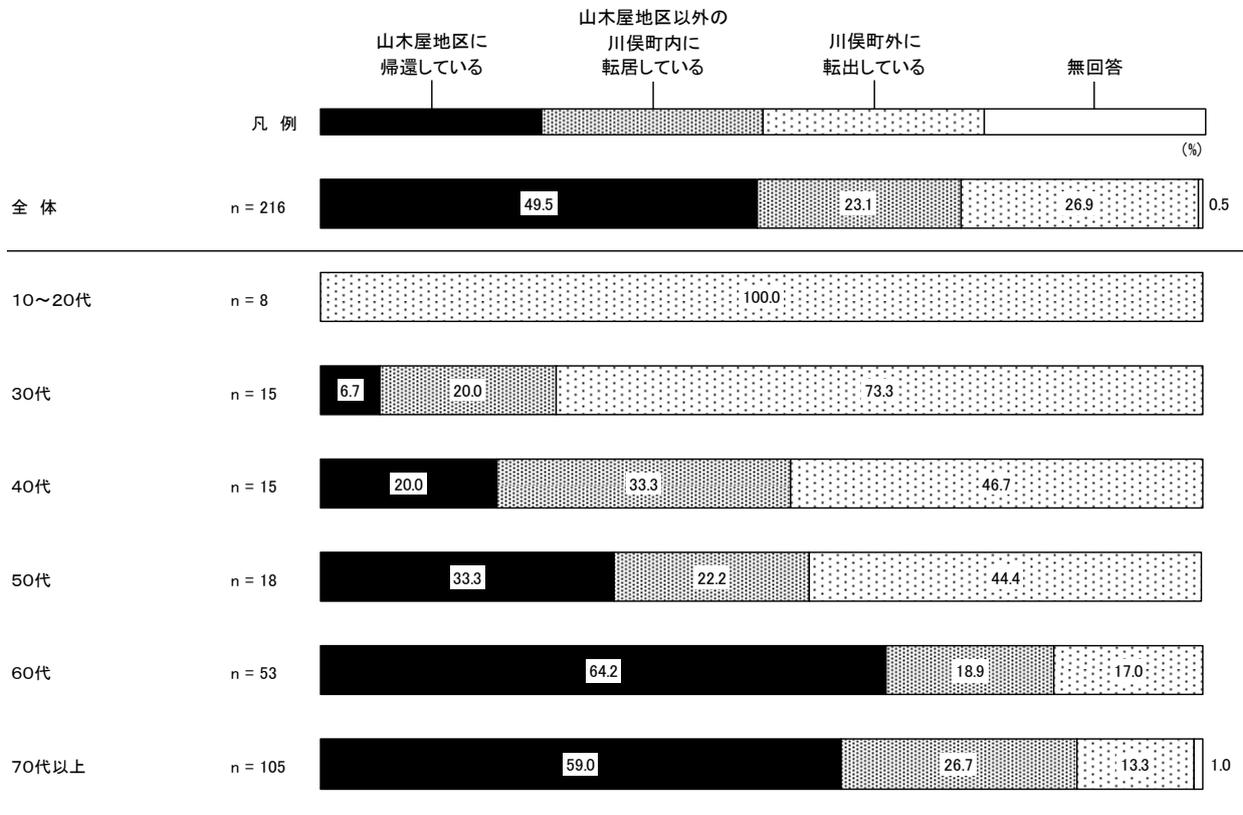
<図表3-3-1 避難指示解除後の状況（年齢別）>



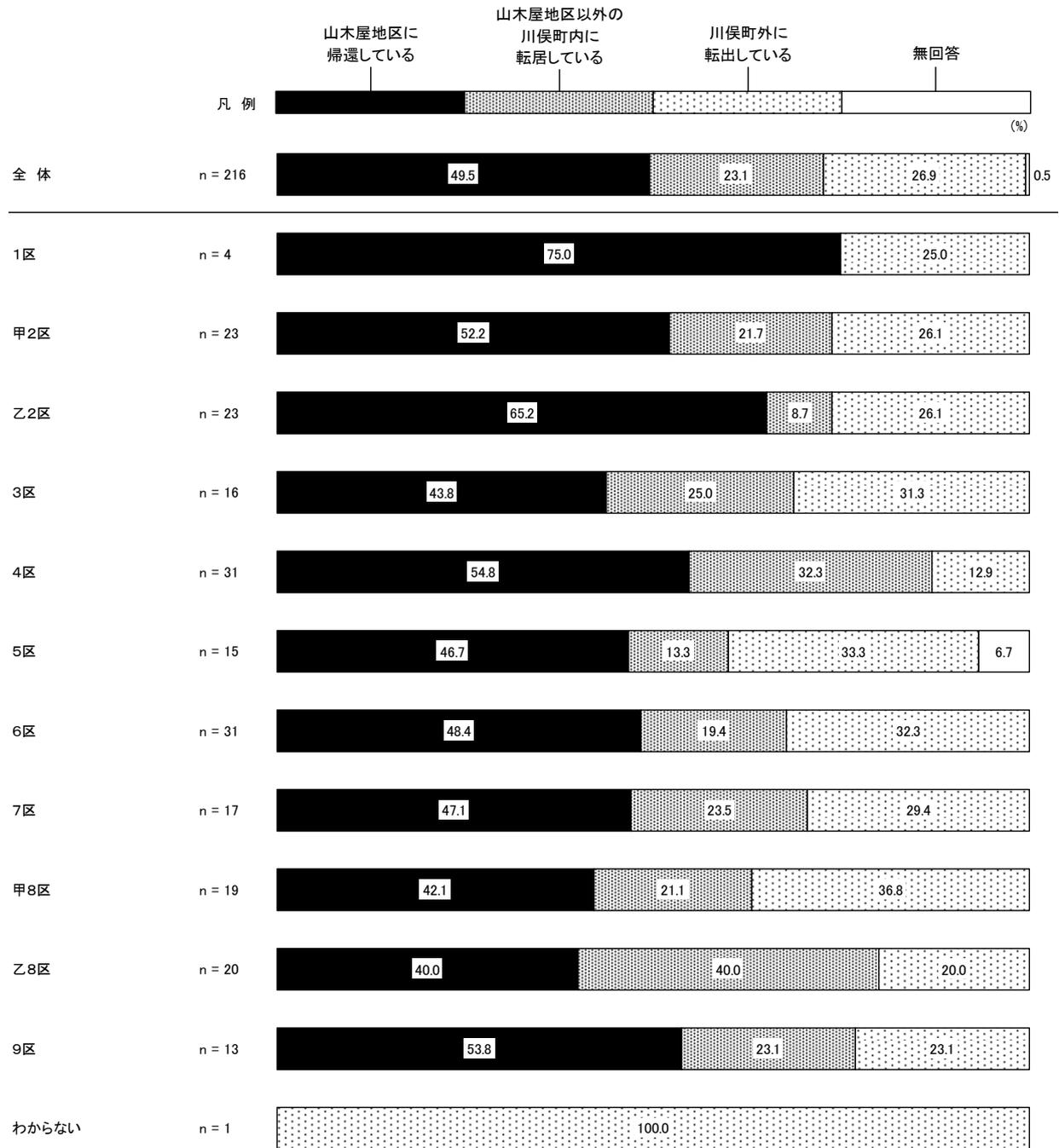
3-3-2 避難終了後の状況

問8 避難終了後の状況を教えてください。（〇は1つ）

<図表3-3-2-1 避難終了後の状況（年齢別）>

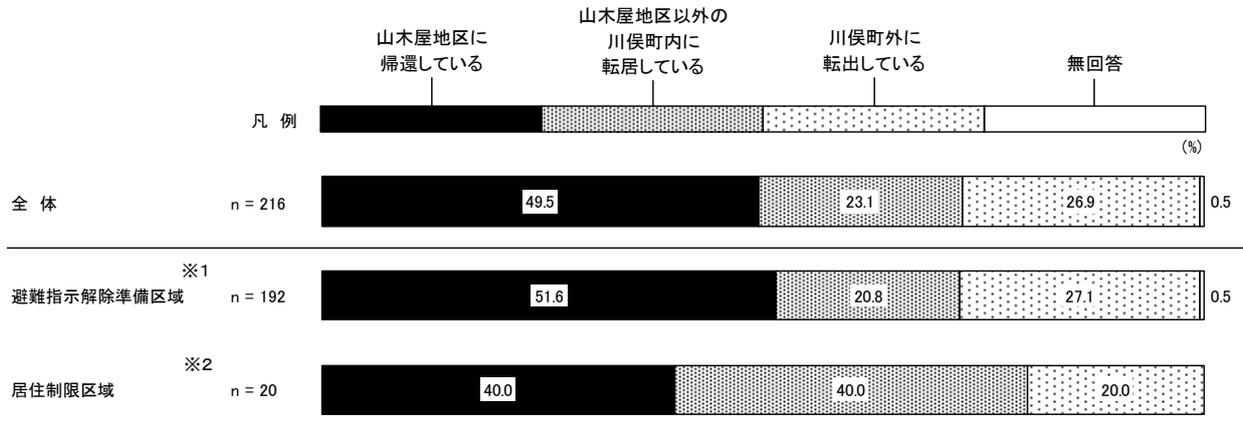


<図表3-3-2-2 避難終了後の状況（震災発生当時の住まいの行政区別）>



### III 調査結果（全項目）

<図表3-3-2-3 避難終了後の状況（避難指示区域別）>

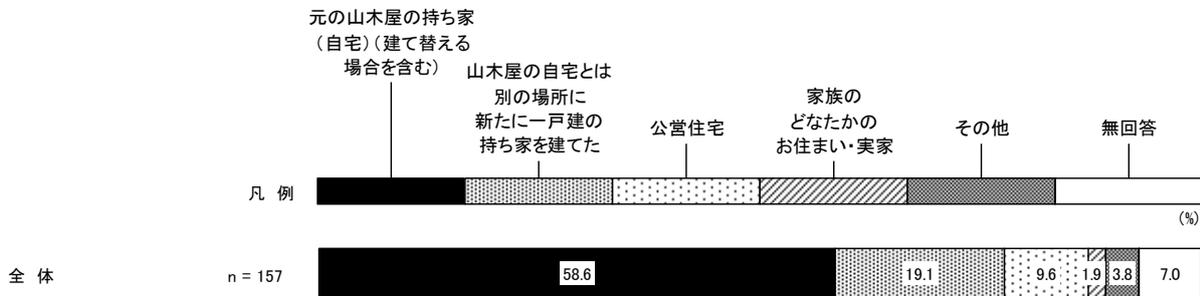


※1 平成 29 年 3 月 31 日に避難指示解除済み  
 ※2 平成 29 年 3 月 31 日に避難指示解除済み

### 3-3-3 現在の住居形態〔川俣町内に住んでいる方〕

問9 現在のお住まいは、どのような形態ですか。（〇は1つ）

＜図表3-3-3 現在の住居形態〔川俣町内に住んでいる方〕＞



〔その他の内訳〕

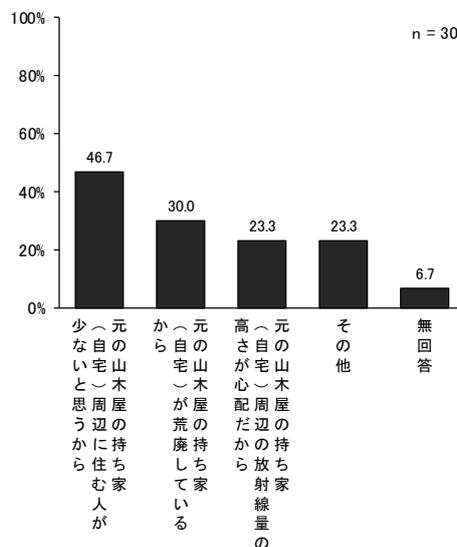
山木屋の自宅とは別の場所に分譲集合住宅を購入した	-
民間賃貸住宅（一戸建）	-
民間賃貸住宅（集合住宅）	-
給与住宅（社宅など）	-
親戚・知人宅	0.6%
その他	3.2%

### 3-3-4 現在の住まいを山木屋の元の持ち家以外とした理由

【問9で「2. 山木屋の自宅とは別の場所に新たに一戸建の持ち家を建てた」「3. 山木屋の自宅とは別の場所に分譲集合住宅を購入した」と回答した方にうかがいます。】

問9-1 山木屋の元の持ち家以外とした理由は、何ですか。（〇はいくつでも）

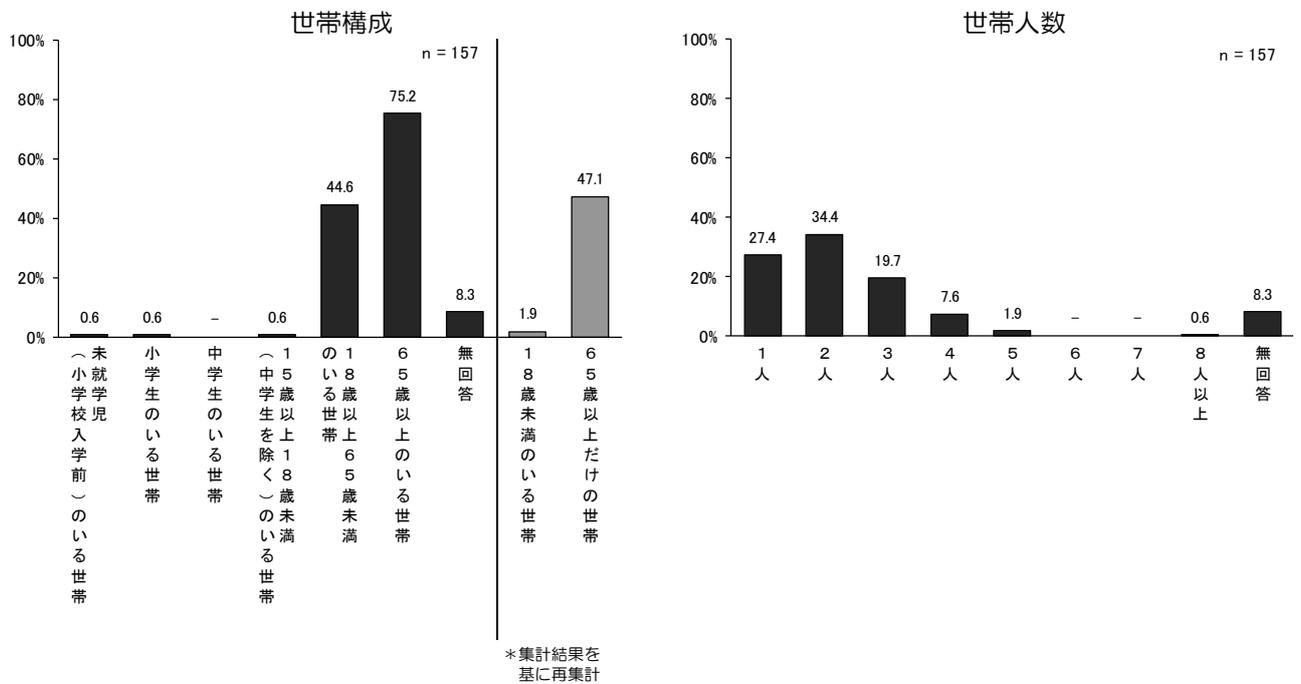
＜図表3-3-4 現在の住まいを山木屋の元の持ち家以外とした理由＞



3-3-5 現在の世帯構成・人数〔川俣町内に住んでいる方〕

問 10 「現在」、あなたを含めて一緒に住んでいる方の人数を教えてください。  
あなた自身を含めて、「現在の」年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。（人数で回答）

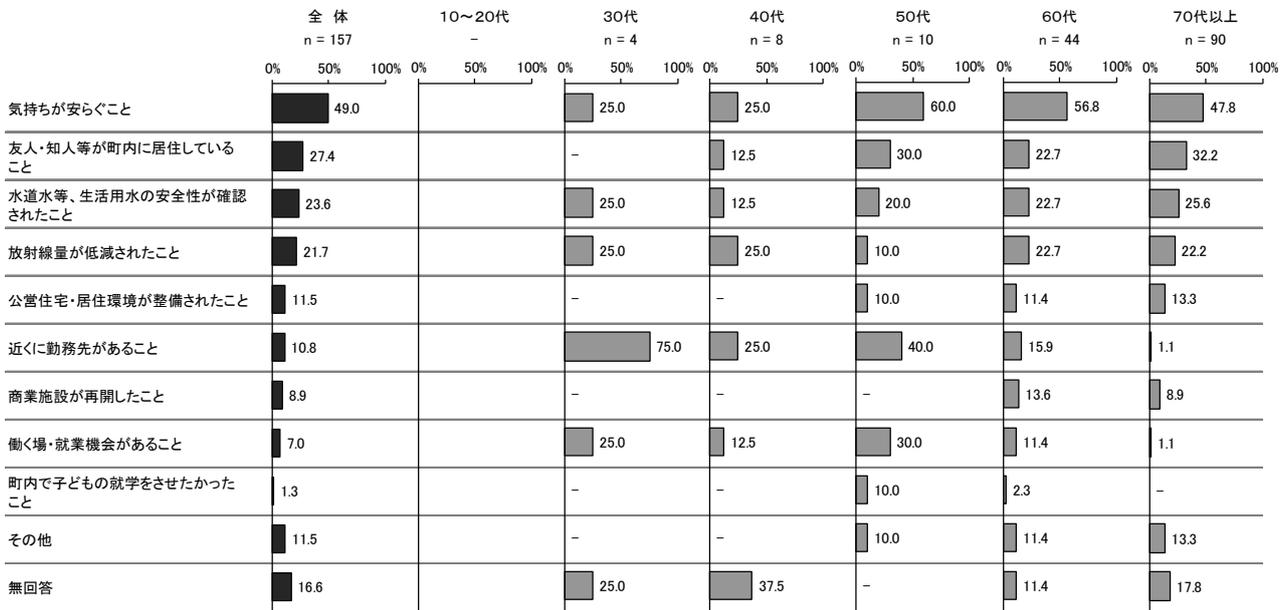
<図表3-3-5 現在の世帯構成・人数〔川俣町内に住んでいる方〕>



### 3-3-6 川俣町内への帰還を決めた理由

問 11 川俣町に戻られた判断材料は、どのようなことですか。（〇はいくつでも）

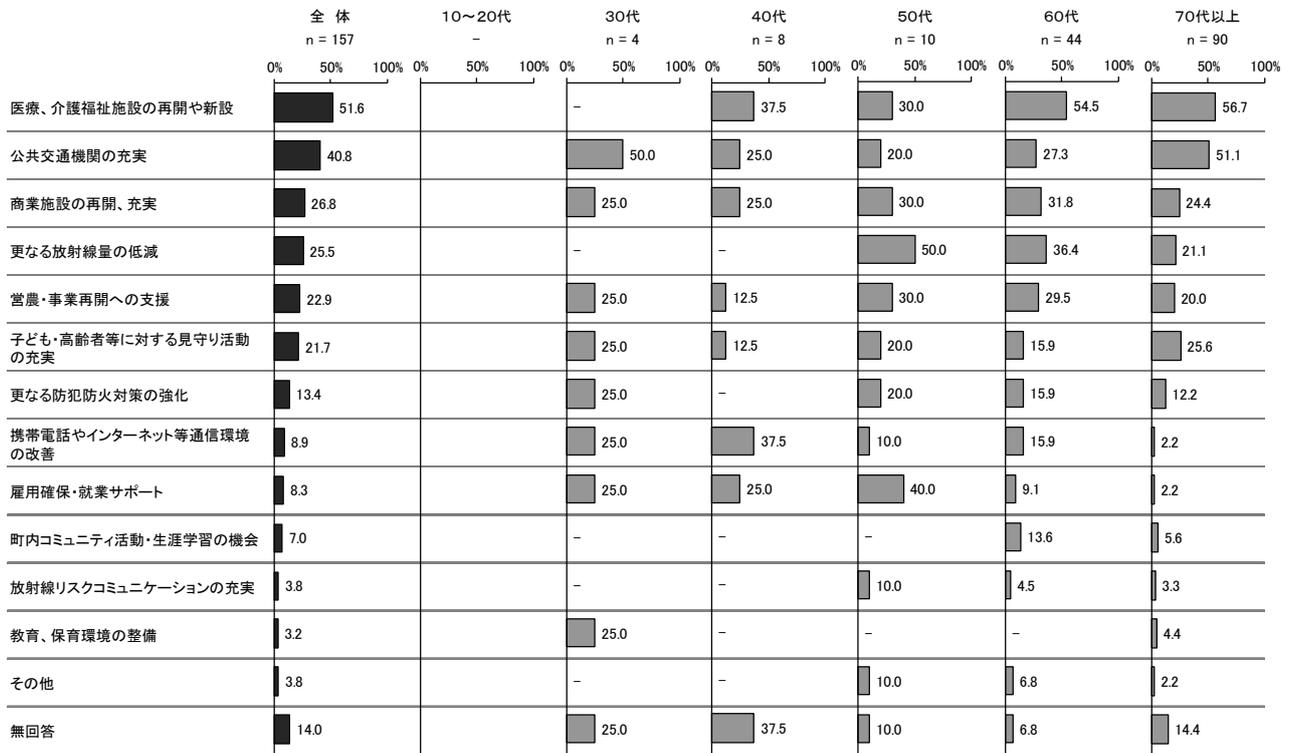
<図表3-3-6 川俣町内への帰還を決めた理由>



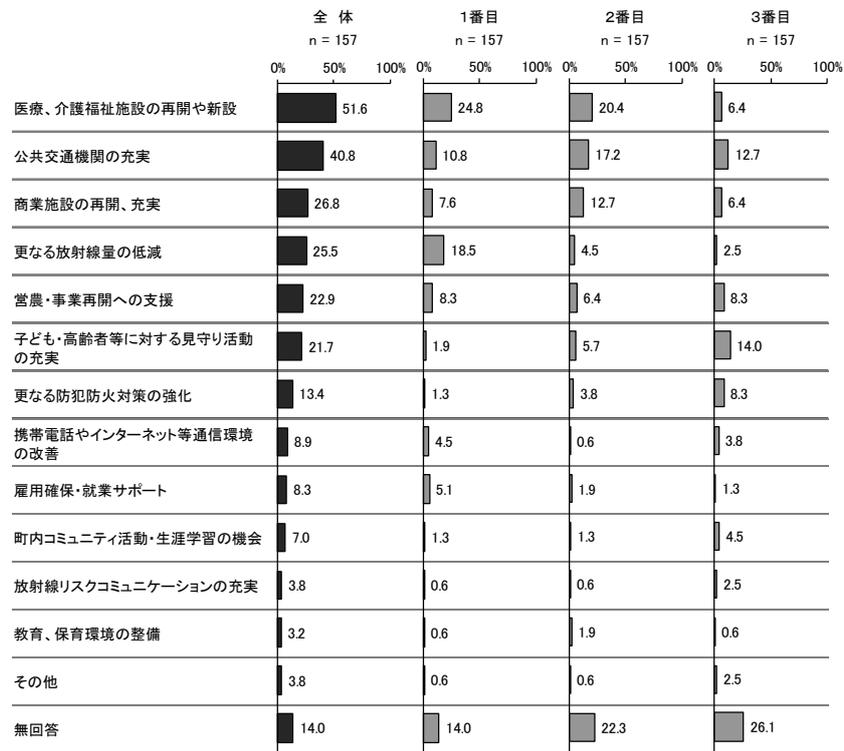
3-3-7 川俣町内での今後の生活において重要な支援

問 12 今後の生活においてどのような支援が重要であると考えますか。選択肢番号に○はつけず、重要である  
と考える順に選択肢番号欄に3つまで選んでください。

<図表3-3-7-1 川俣町内での今後の生活において重要な支援（年齢別）>



<図表3-3-7-2 川俣町内での今後の生活において重要な支援（優先順位別）>

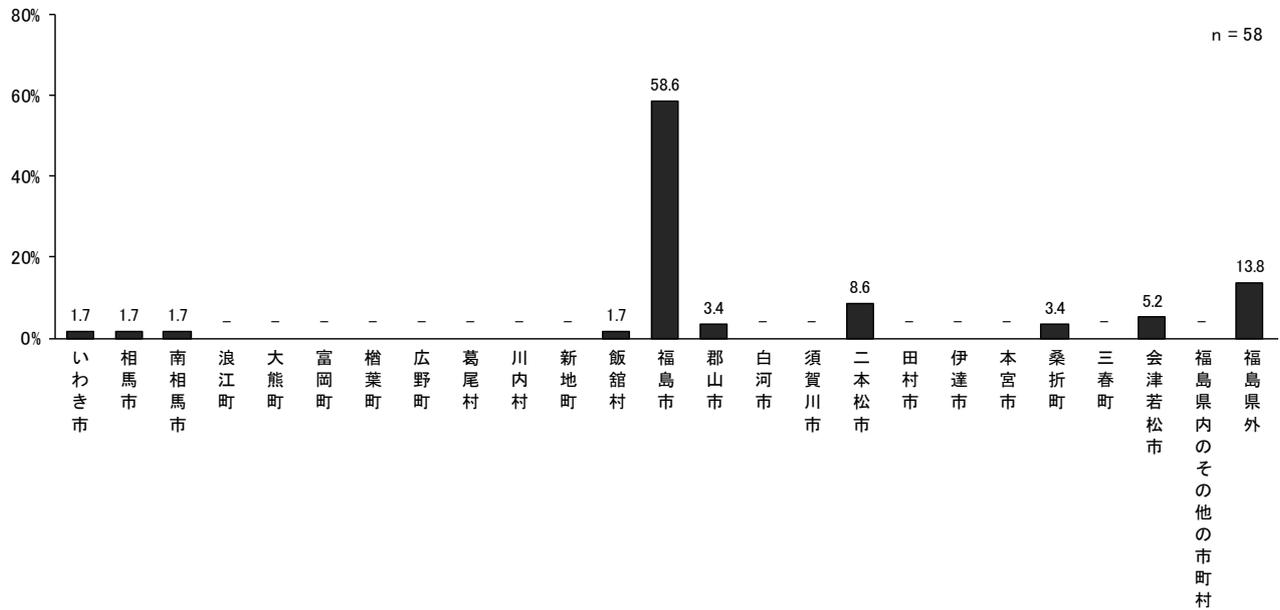


### III 調査結果（全項目）

#### 3-3-8 現在の居住自治体〔川俣町外に転出した方〕

問 13 現在お住まいの自治体を教えてください。（〇は1つ）

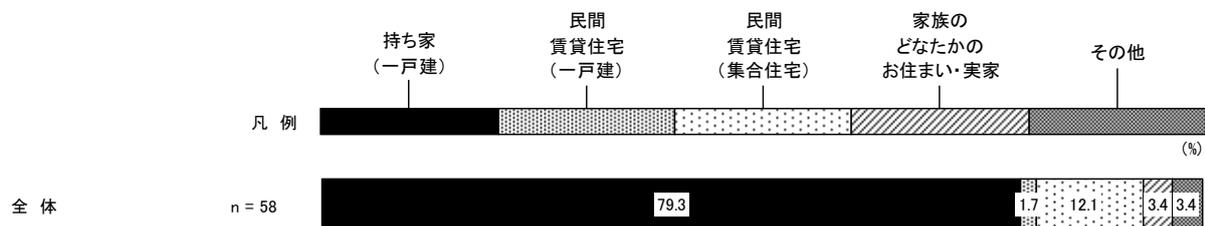
＜図表3-3-8 現在の居住自治体〔川俣町外に転出した方〕＞



#### 3-3-9 現在の住居形態〔川俣町外に転出した方〕

問 14 現在お住まいになっている住宅はどのような住居形態ですか。（〇は1つ）

＜図表3-3-9 現在の住居形態〔川俣町外に転出した方〕＞



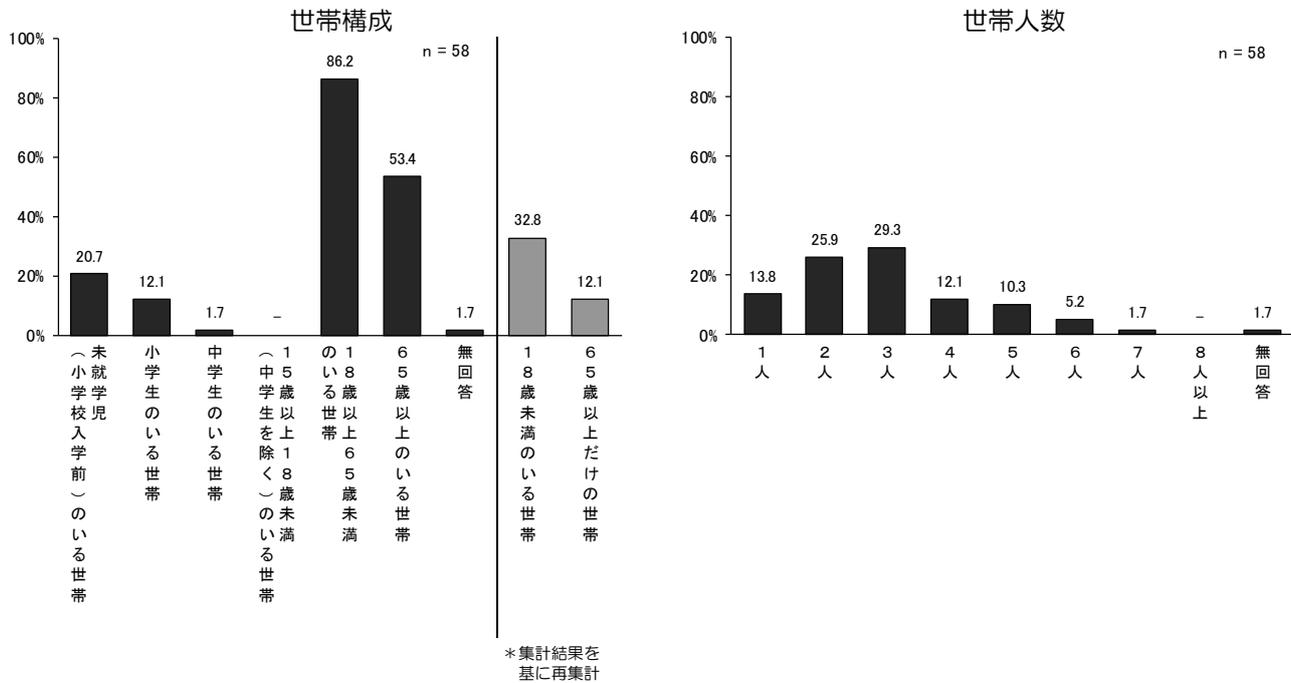
〔その他の内訳〕

持ち家（集合住宅）	-
公営住宅（復興公営住宅を含む）	-
給与住宅（社宅、公務員宿舎など）	-
親戚・知人宅	-
その他	3.4%

3-3-10 現在の世帯構成・人数〔川俣町外に転出した方〕

問 15 「現在」、あなたを含めて一緒に住んでいる方の人数を教えてください。  
あなた自身を含めて、「現在の」年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。（人数で回答）

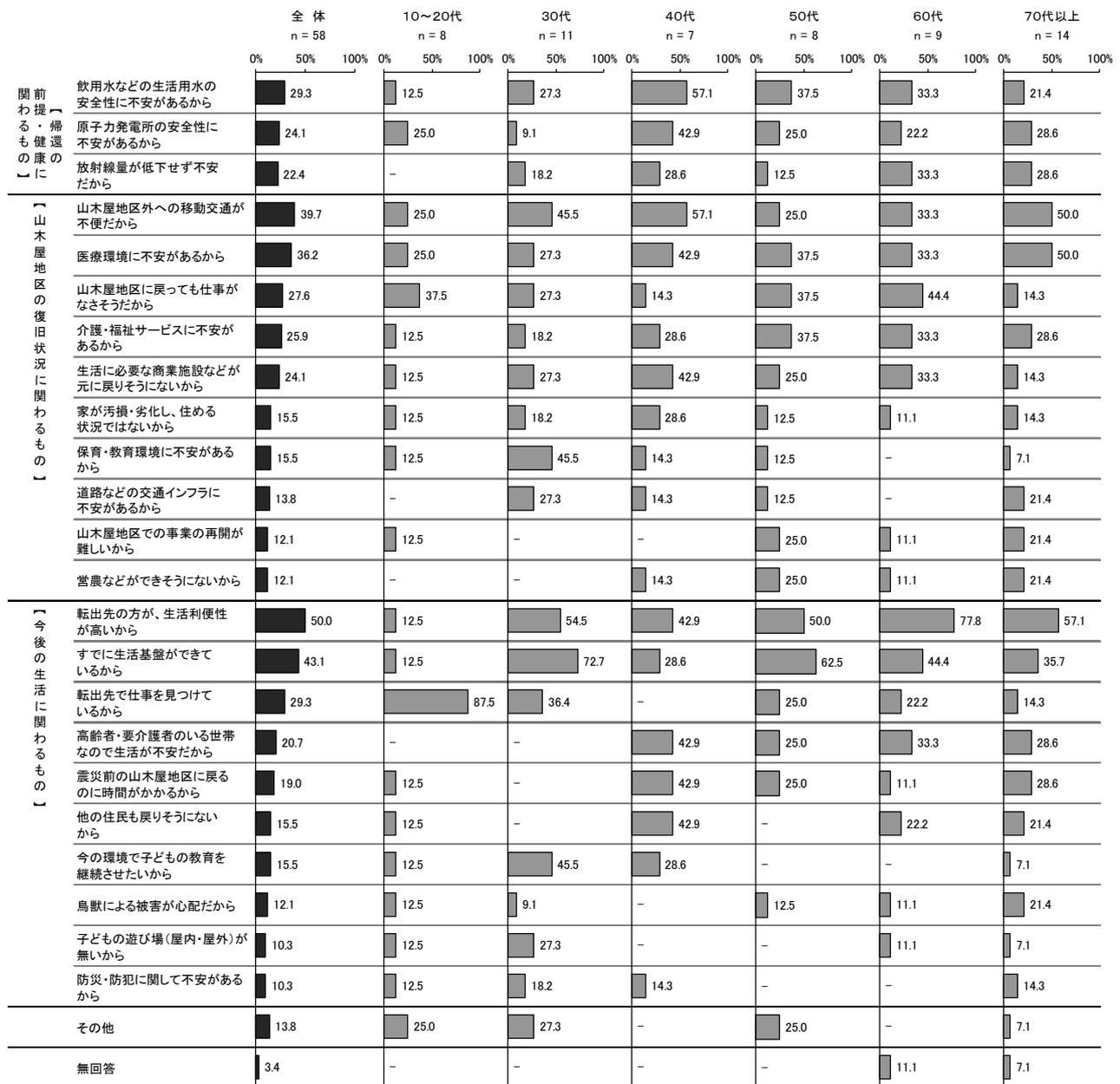
<図表3-3-10 現在の世帯構成・人数〔川俣町外に転出した方〕>



3-3-11 川俣町外に転出している理由

問 16 川俣町外に転出している理由はどのようなことですか。（〇はいくつでも）

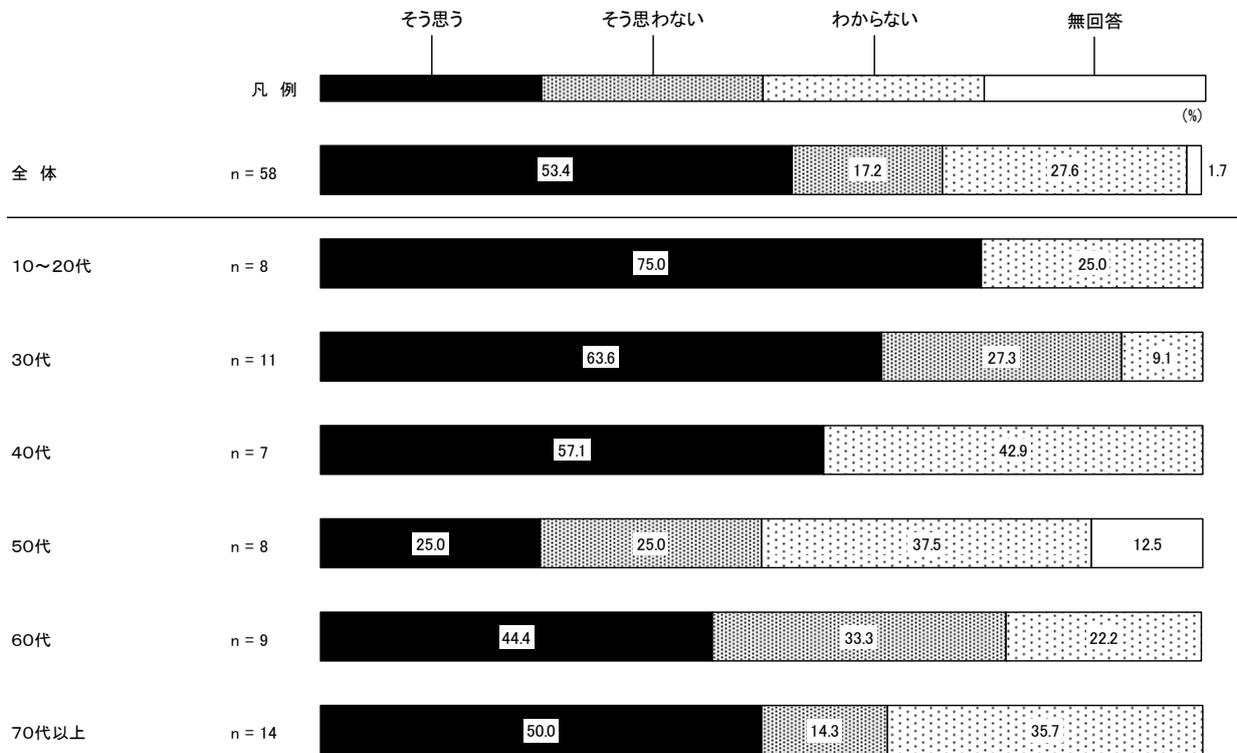
<図表3-3-11 川俣町外に転出している理由（年齢別）>



### 3-3-12 山木屋地区との「つながり」を保ちたいか〔川俣町外へ転出した方〕

問 17 山木屋地区との“つながり”を保ちたいと思いますか。（〇は1つ）

<図表3-3-12 山木屋地区との「つながり」を保ちたいか〔川俣町外へ転出した方〕（年齢別）>

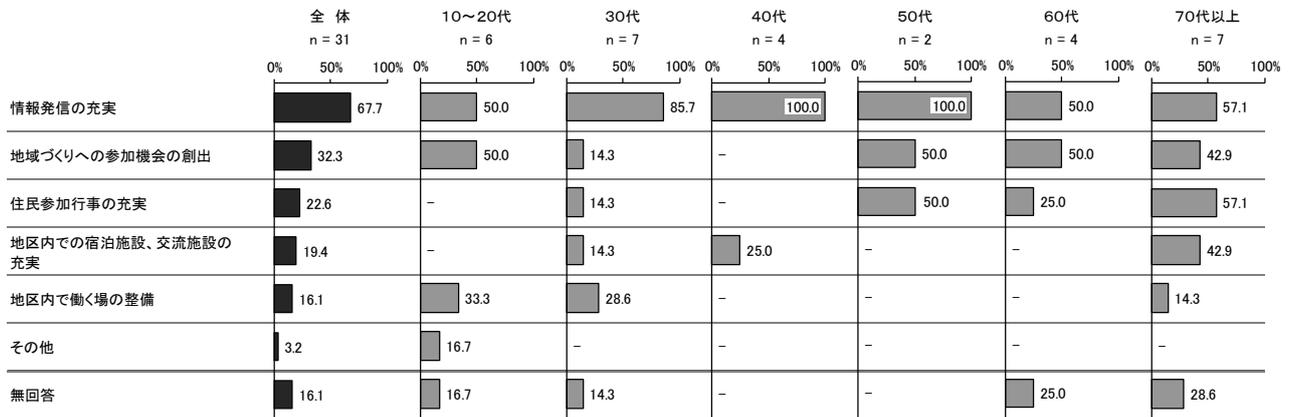


### 3-3-13 山木屋地区との「つながり」を保つために必要な施策 〔川俣町外へ転出した方〕

【問 17 で「1. そう思う」と回答した方にうかがいます。】

問 17-1 山木屋地区との「つながり」を保つためにどのような施策が必要とお考えですか。（〇はいくつでも）

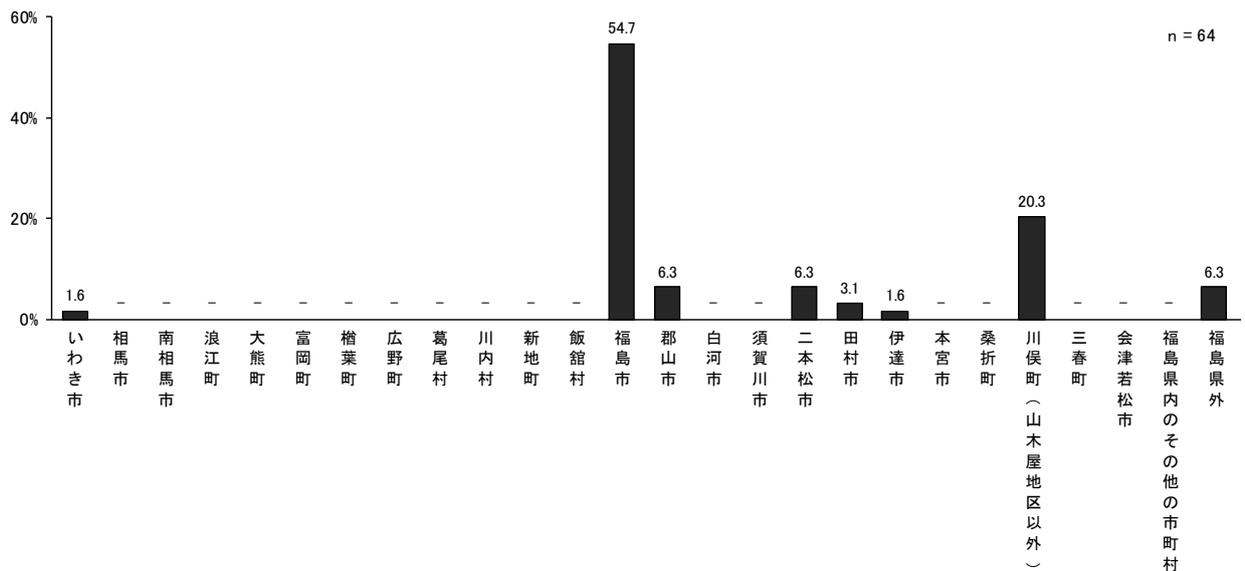
<図表3-3-13 山木屋地区との「つながり」を保つために必要な施策〔川俣町外へ転出した方〕（年齢別）>



### 3-3-14 現在の居住自治体〔避難を継続している方〕

問 18 現在お住まいの自治体を教えてください。（〇は1つ）

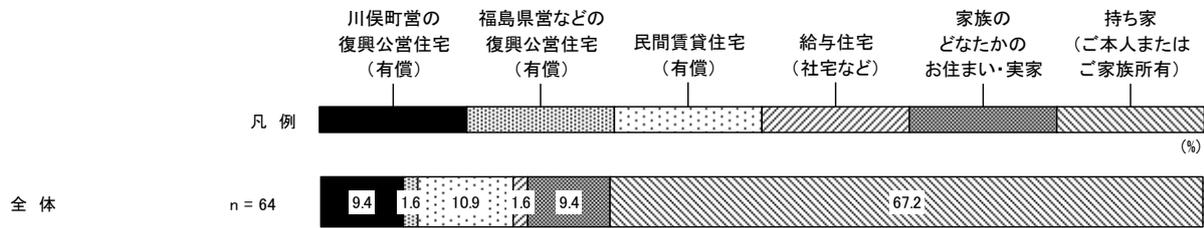
<図表3-3-14 現在の居住自治体〔避難を継続している方〕>



### 3-3-15 現在の住居形態〔避難を継続している方〕

問 19 現在お住まいになっている住宅はどのような住居形態ですか。（○は1つ）

<図表3-3-15 現在の住居形態〔避難を継続している方〕>

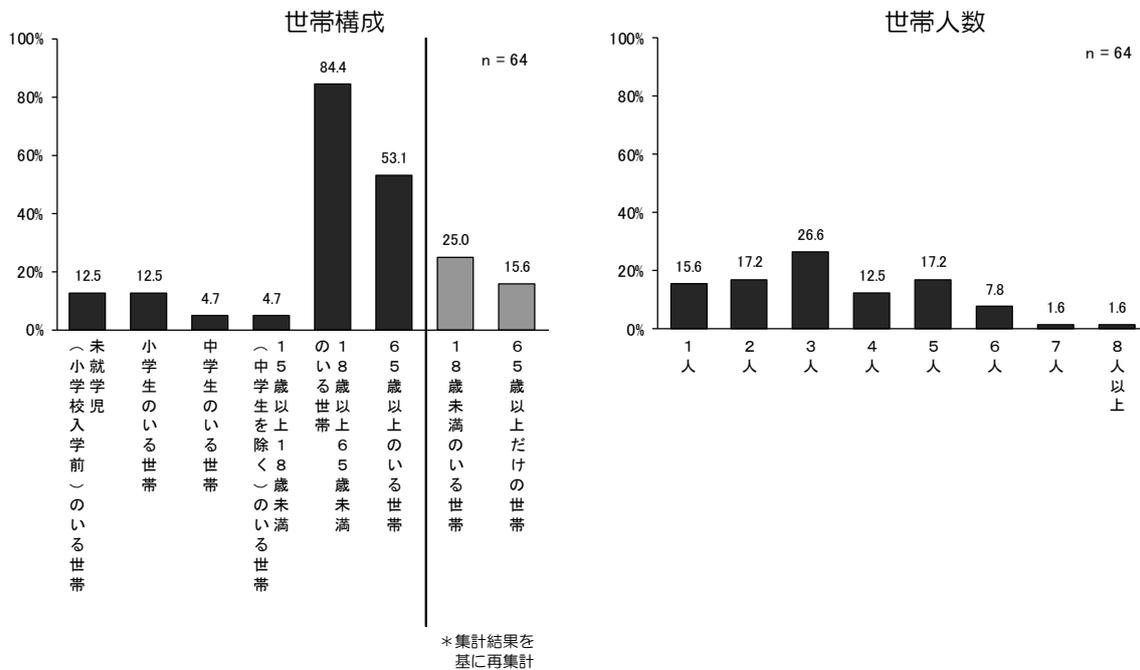


〔その他〕  
 その他の公営住宅（有償） -  
 親戚・知人宅 -  
 その他 -

### 3-3-16 現在の世帯構成・人数〔避難を継続している方〕

問 20 「現在」、あなたを含めて一緒に住んでいる方の人数を教えてください。  
 あなた自身を含めて、「現在の」年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。（人数で回答）

<図表3-3-16 現在の世帯構成・人数〔避難を継続している方〕>

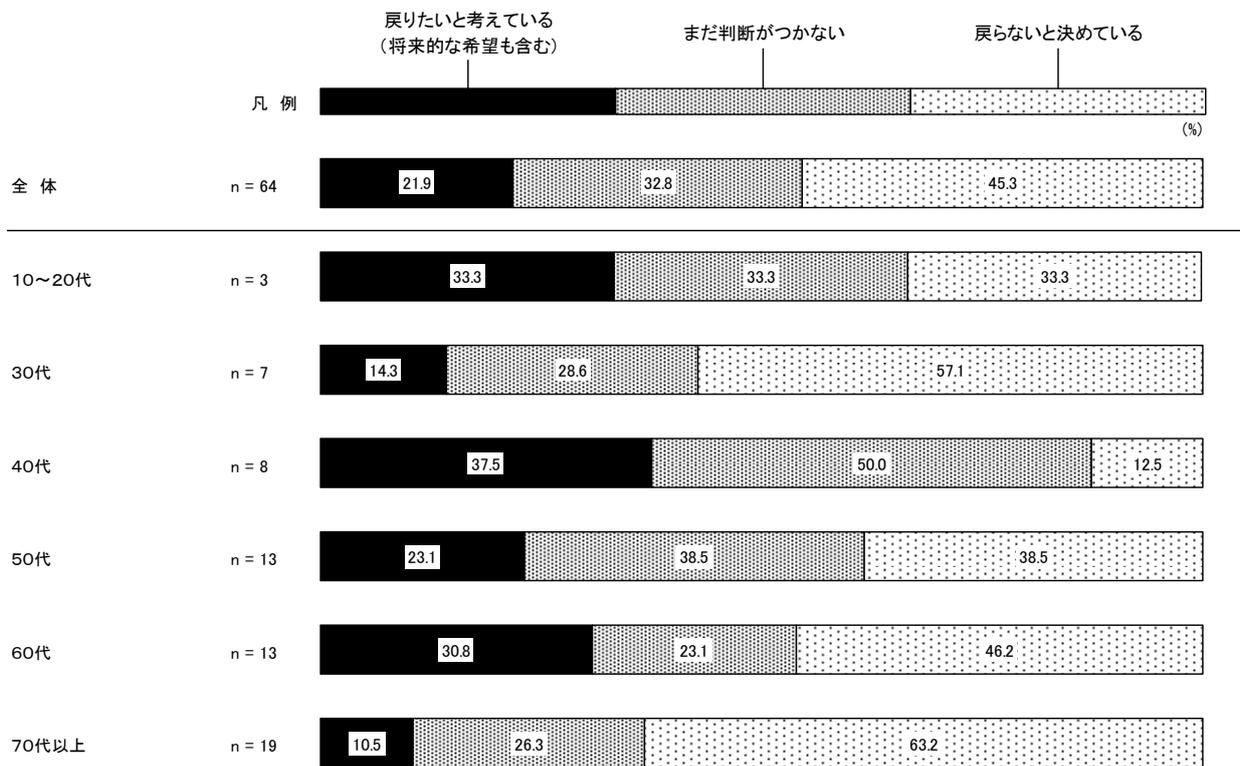


### 3-4 将来の意向

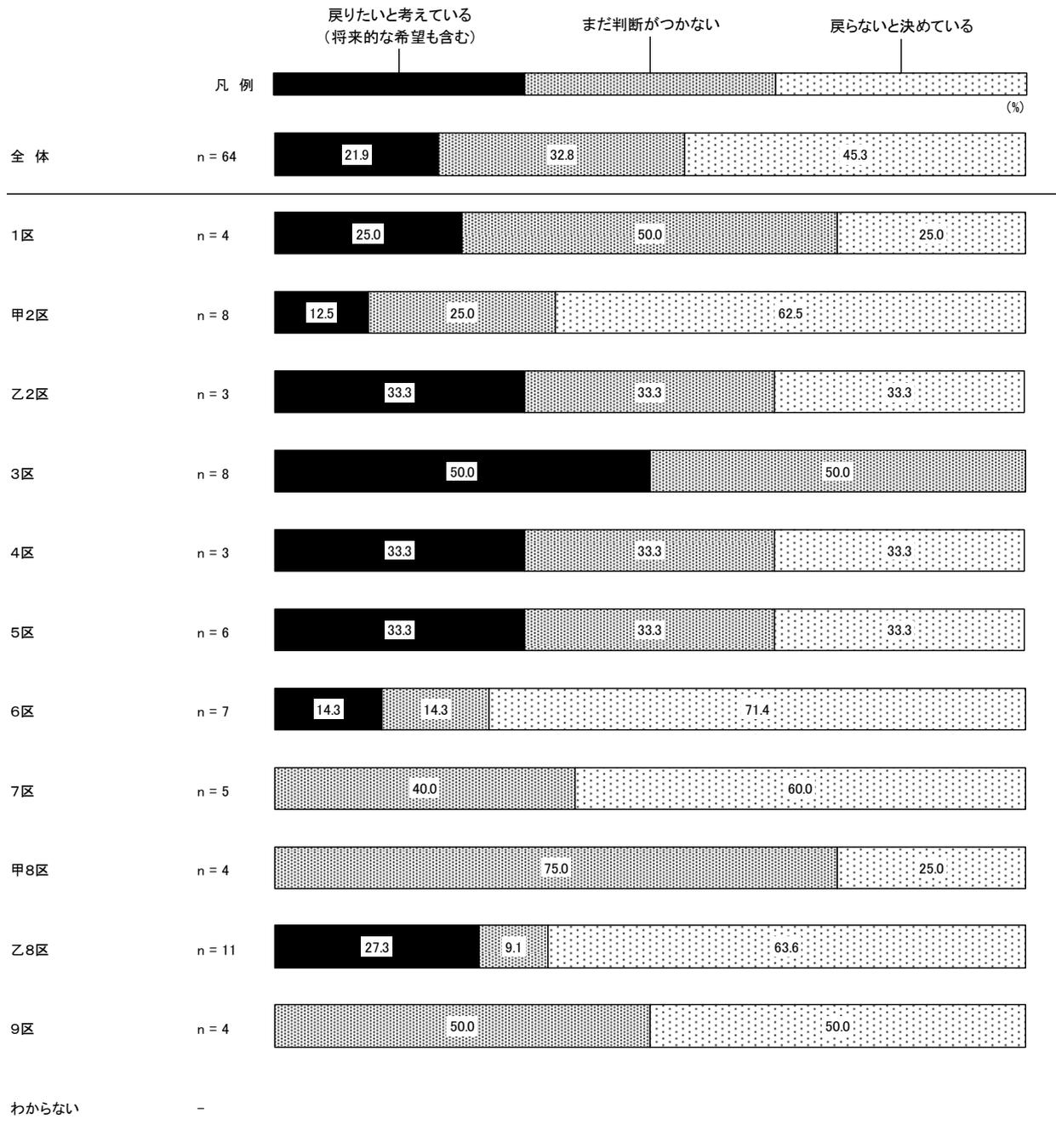
#### 3-4-1 山木屋地区への帰還意向

問 21 山木屋地区への帰還について、現時点でどのようにお考えですか。（〇は1つ）

<図表3-4-1-1 山木屋地区への帰還意向（年齢別）>

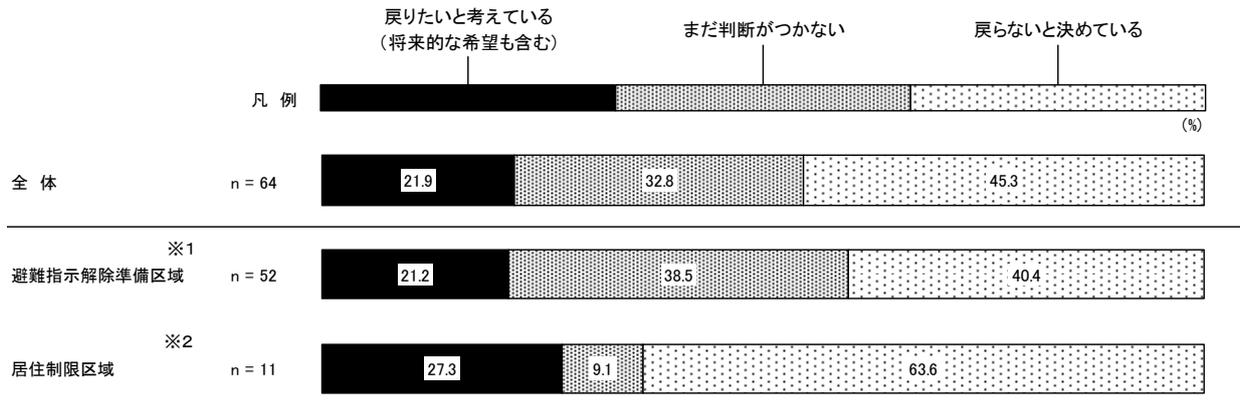


<図表3-4-1-2 山木屋地区への帰還意向（震災発生当時の住まいの行政区別）>



### III 調査結果（全項目）

<図表3-4-1-3 山木屋地区への帰還意向（避難指示区域別）>

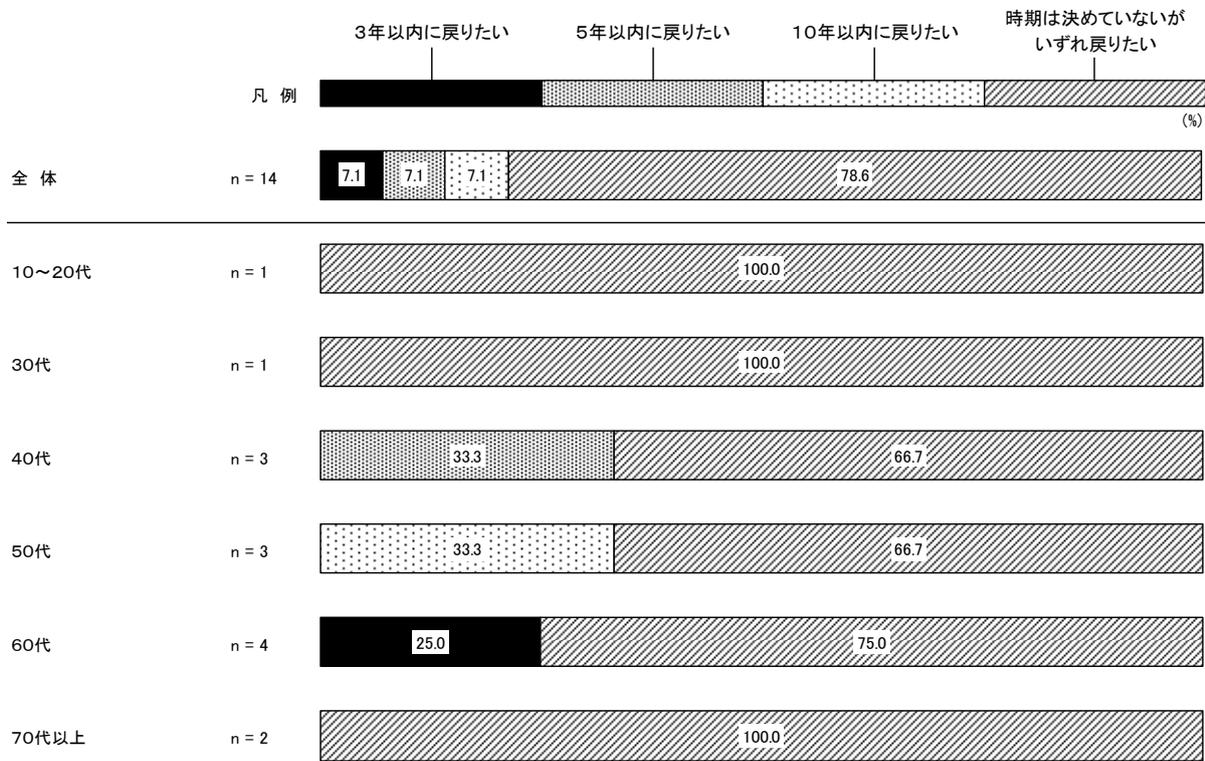


※1 平成 29 年 3 月 31 日に避難指示解除済み  
 ※2 平成 29 年 3 月 31 日に避難指示解除済み

### 3-4-2 山木屋地区への帰還時期

問 22 山木屋地区へ戻りたいと考えている時期を教えてください。（〇は1つ）

<図表3-4-2 山木屋地区への帰還時期（年齢別）>



〔その他〕  
すぐに戻りたい -

### Ⅲ 調査結果（全項目）

#### 3-4-3 山木屋地区への帰還時期を検討・希望している理由

問 22-1 問 22 で戻りたいと考えている時期を検討・希望しているのは、どのような理由からですか。

<山木屋地区への帰還時期を検討・希望している理由（主な意見）>

##### [3年以内に戻りたい]

- ・田んぼや畑、山があるから。（60代）

##### [5年以内に戻りたい]

- ・まだまだ復興の途中であり、判断のつかない所もあります。（40代）

##### [10年以内に戻りたい]

- ・親の高齢化。山木屋の土地の保全。（50代）

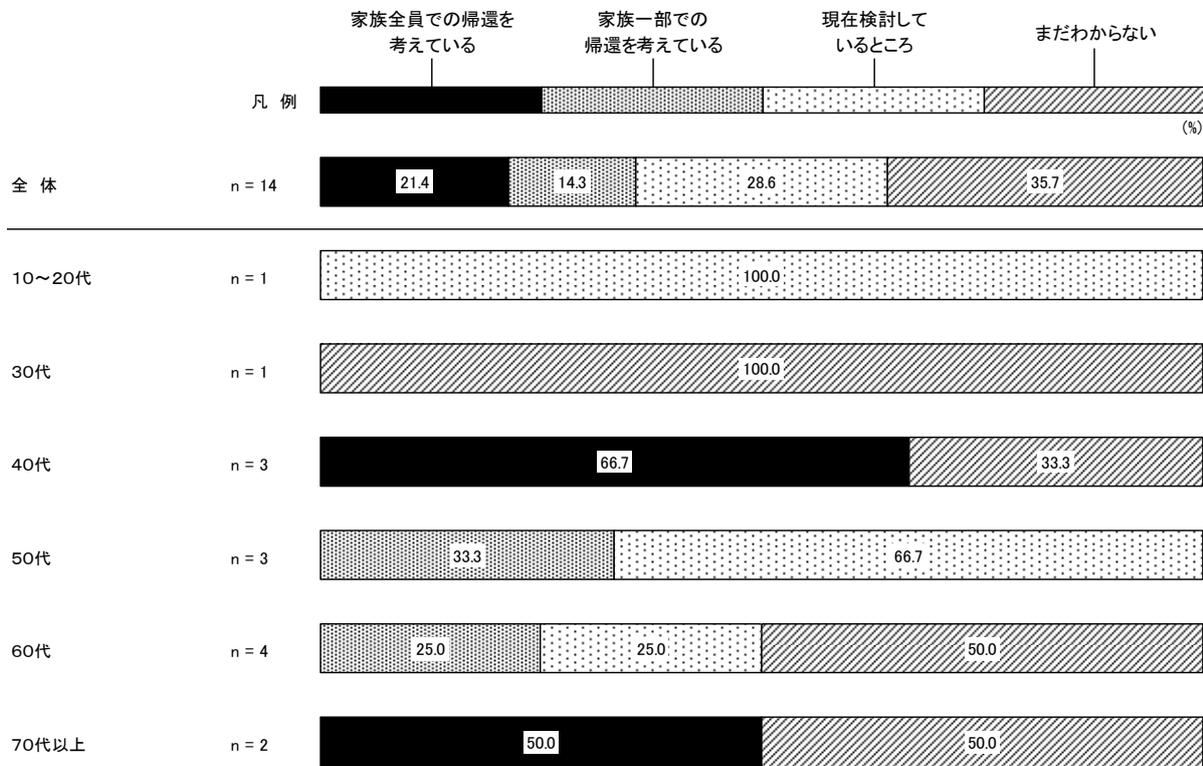
##### [時期は決めていないがいずれ戻りたい]

- ・将来、親のことを考えているから。（10～20代）
- ・山木屋で静かに暮らしたいから。（40代）
- ・放射線量がもっと下がったら。（50代）

### 3-4-4 山木屋地区へ帰還する場合の家族

問 23 帰還する場合に、家族の全員か一部かについて教えてください。（〇は1つ）

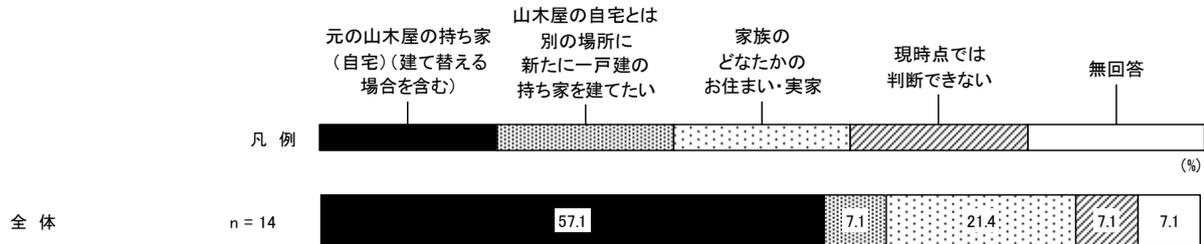
<図表3-4-4 山木屋地区へ帰還する場合の家族（年齢別）>



### 3-4-5 山木屋地区へ帰還する場合に希望する住居形態

問 24 帰還する場合のお住まいは、どのような形態を希望しますか。（〇は1つ）

<図表3-4-5 山木屋地区へ帰還する場合に希望する住居形態>



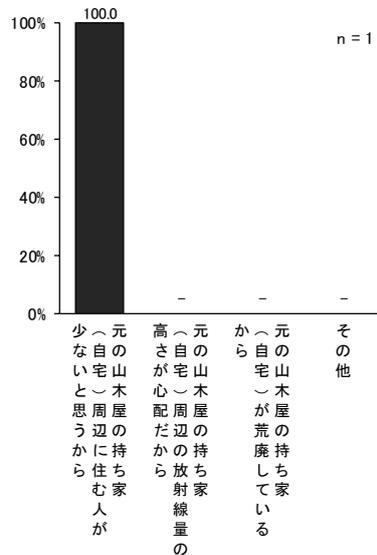
〔その他〕

- 山木屋の自宅とは別の場所に分譲集合住宅を購入したい -
- 民間賃貸住宅（一戸建） -
- 民間賃貸住宅（集合住宅） -
- 公営住宅 -
- 給与住宅（社宅など） -
- 親戚・知人宅 -
- その他 -

### 3-4-6 山木屋地区へ帰還する場合に元の持ち家以外を希望する理由

【問 24 で「2. 山木屋の自宅とは別の場所に新たに戸建の持ち家を建てたい」「3. 山木屋の自宅とは別の場所に分譲集合住宅を購入したい」と回答した方にうかがいます。】  
 問 24-1 山木屋の元の持ち家以外とした理由は、何ですか。（〇はいくつでも）

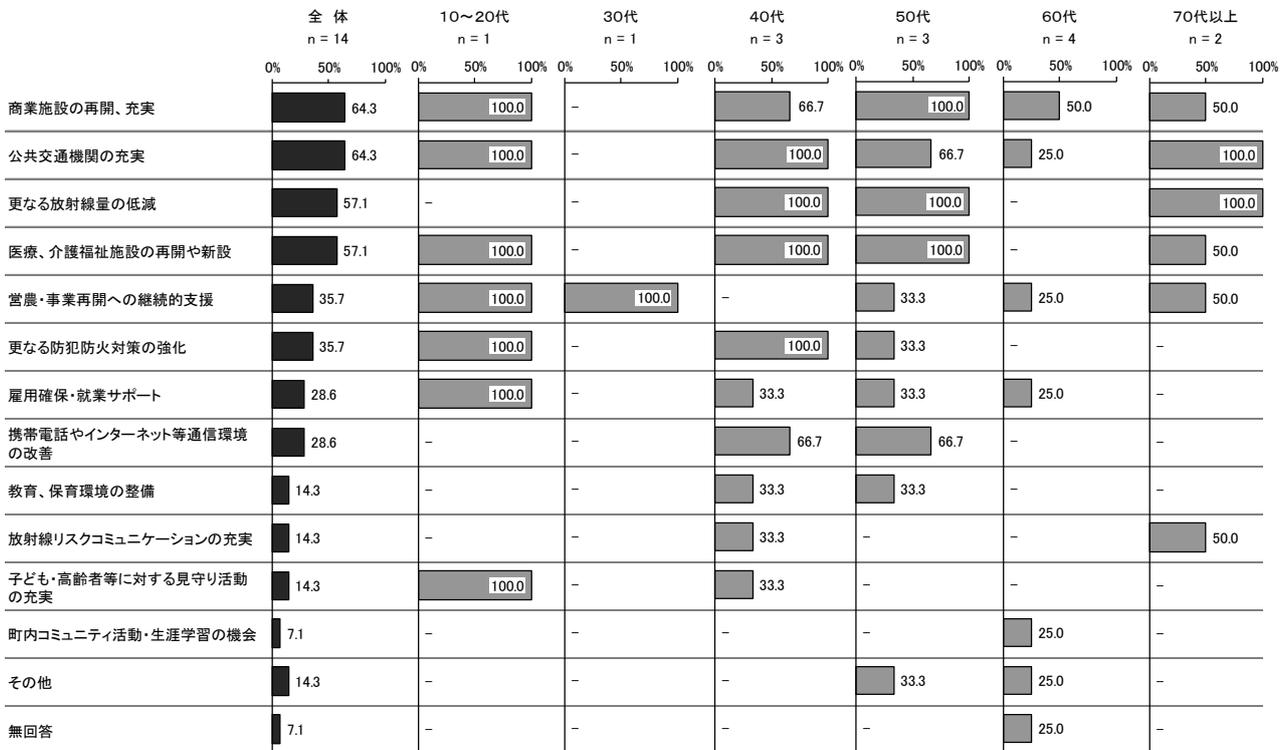
<図表3-4-6 山木屋地区へ帰還する場合に元の持ち家以外を希望する理由>



3-4-7 山木屋地区に帰還する場合に今後の生活において必要な支援

問 25 山木屋地区に帰還する場合に、今後の生活においてどのような支援が必要と考えますか。（〇はいくつでも）

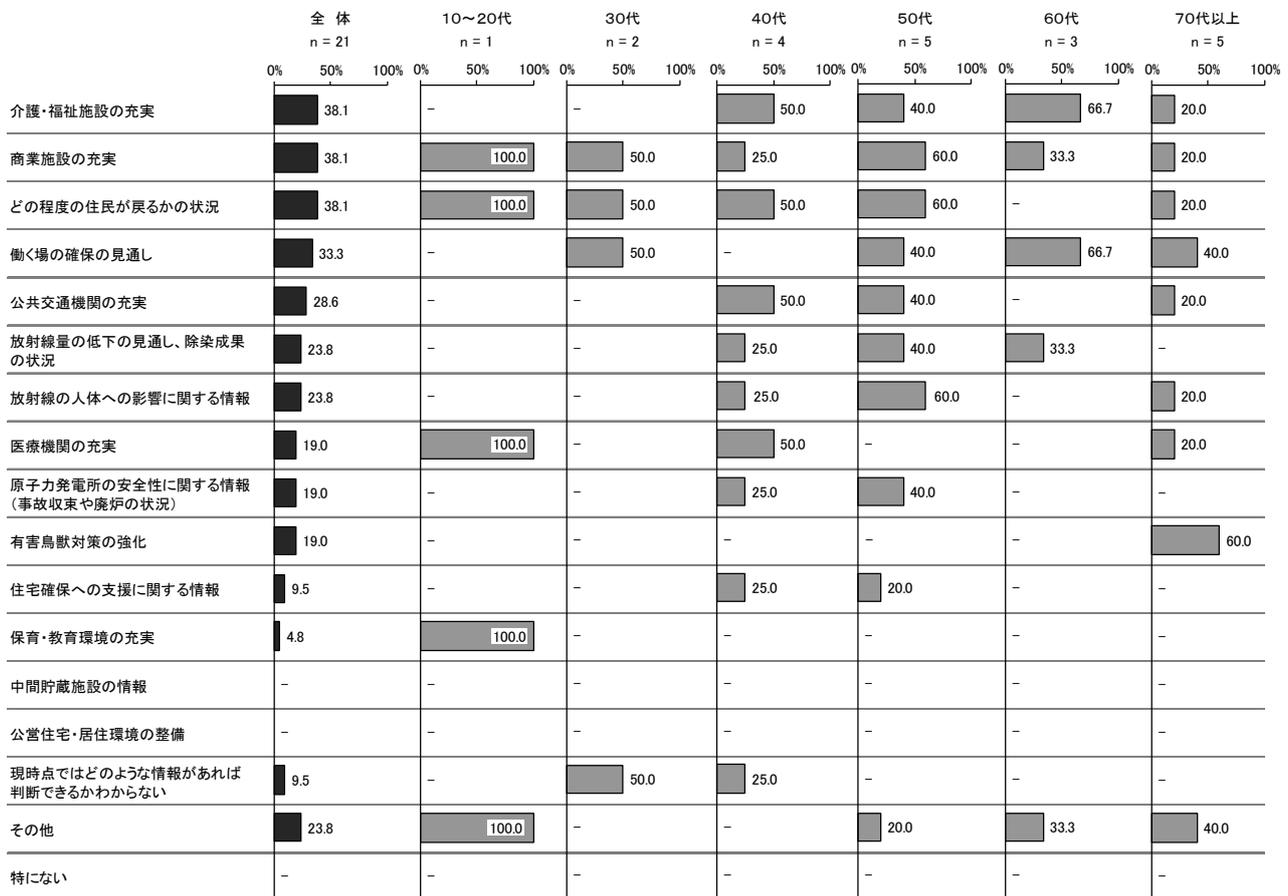
<図表3-4-7 山木屋地区に帰還する場合に今後の生活において必要な支援（年齢別）>



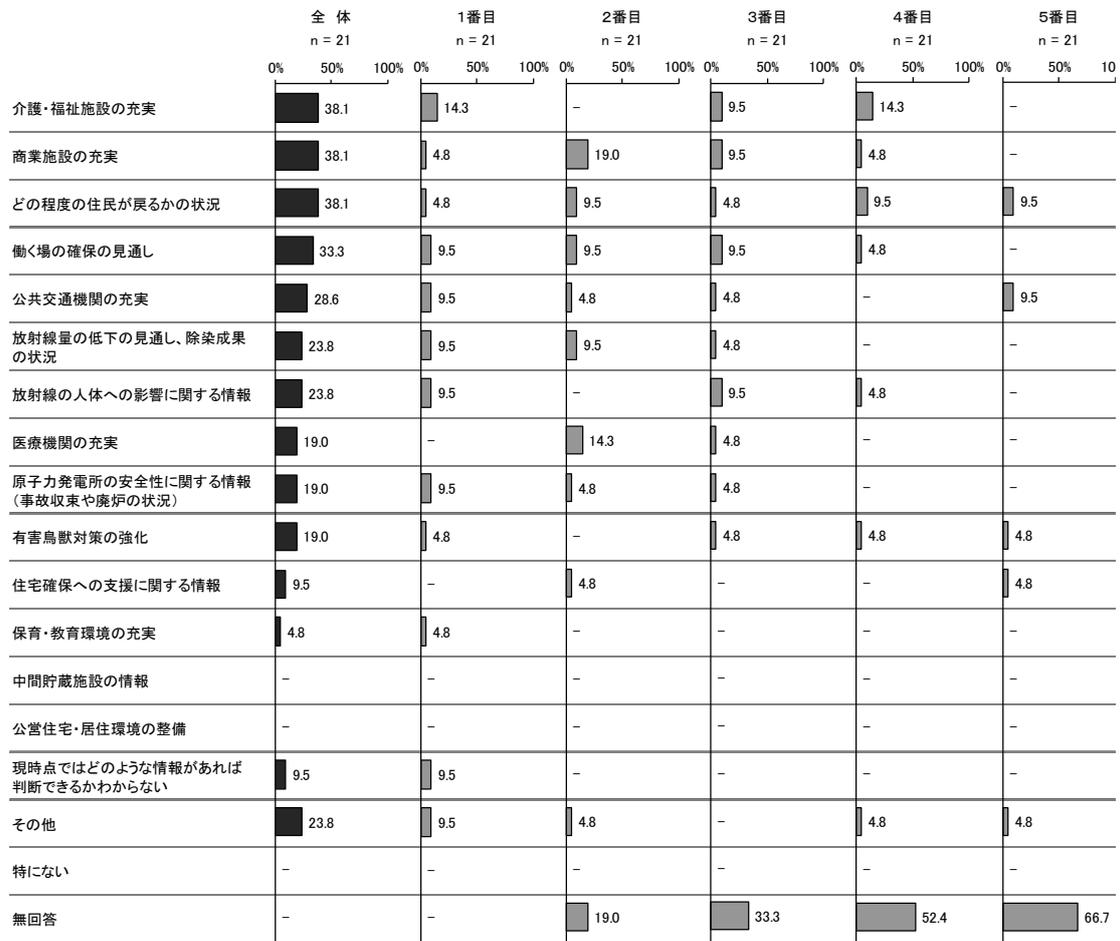
3-4-8 山木屋地区への帰還を判断するために必要なこと

問 26 山木屋地区へ戻ることを判断するために必要なことを教えてください。選択肢番号に○はつけずに、重視したいものから順に選択肢番号欄に5つまで選び、具体的な内容欄に支援や情報内容をご記入ください。

<図表3-4-8-1 山木屋地区への帰還を判断するために必要なこと（年齢別）>



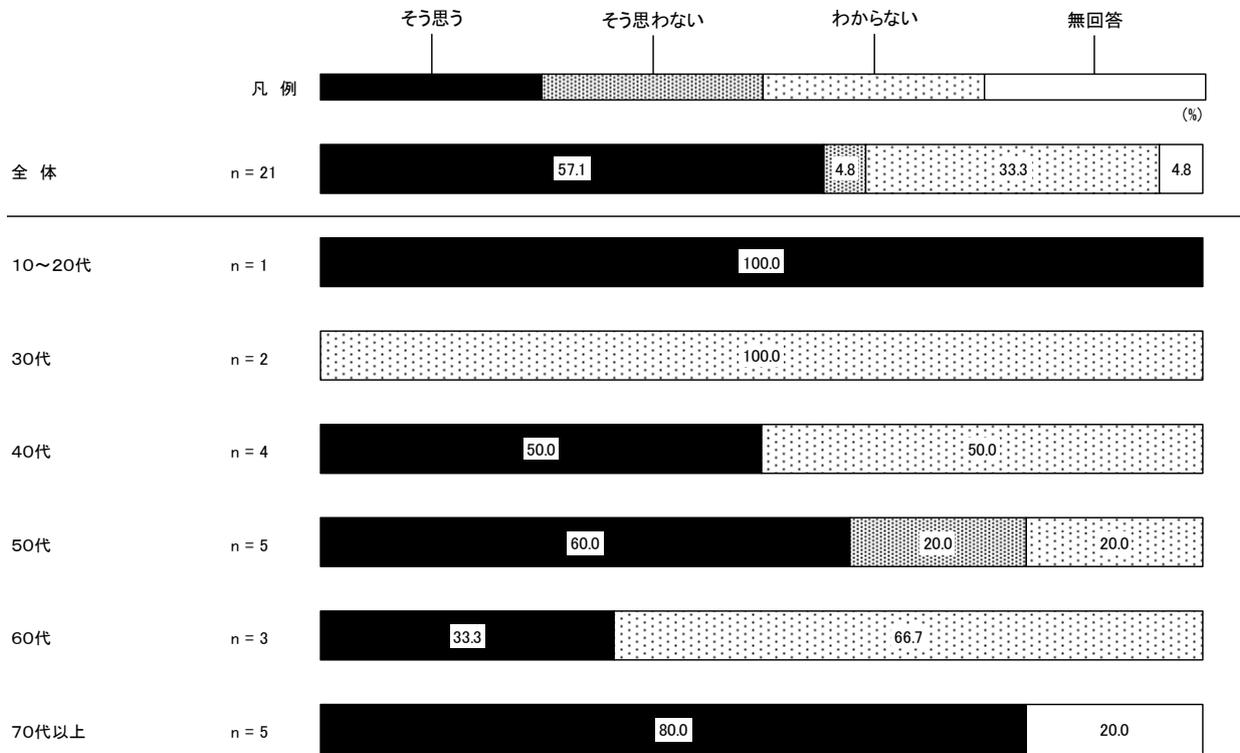
<図表3-4-8-2 山木屋地区への帰還を判断するために必要なこと（優先順位別）>



3-4-9 山木屋地区との「つながり」を保ちたいか〔帰還の判断がまだつかない方〕

問 27 山木屋地区との“つながり”を保ちたいと思いますか。（〇は1つ）

<図表3-4-9 山木屋地区との「つながり」を保ちたいか〔帰還の判断がまだつかない方〕（年齢別）>

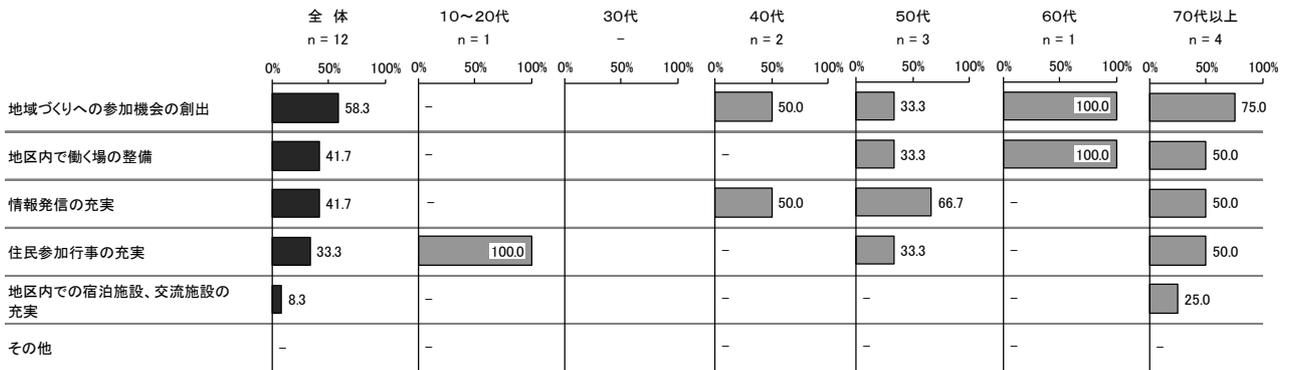


### 3-4-10 山木屋地区との「つながり」を保つために必要な施策 〔帰還の判断がまだつかない方〕

【問 27 で「1. そう思う」と回答した方にうかがいます。】

問 27-1 山木屋地区との“つながり”を保つためにどのような施策が必要とお考えですか。（〇はいくつでも）

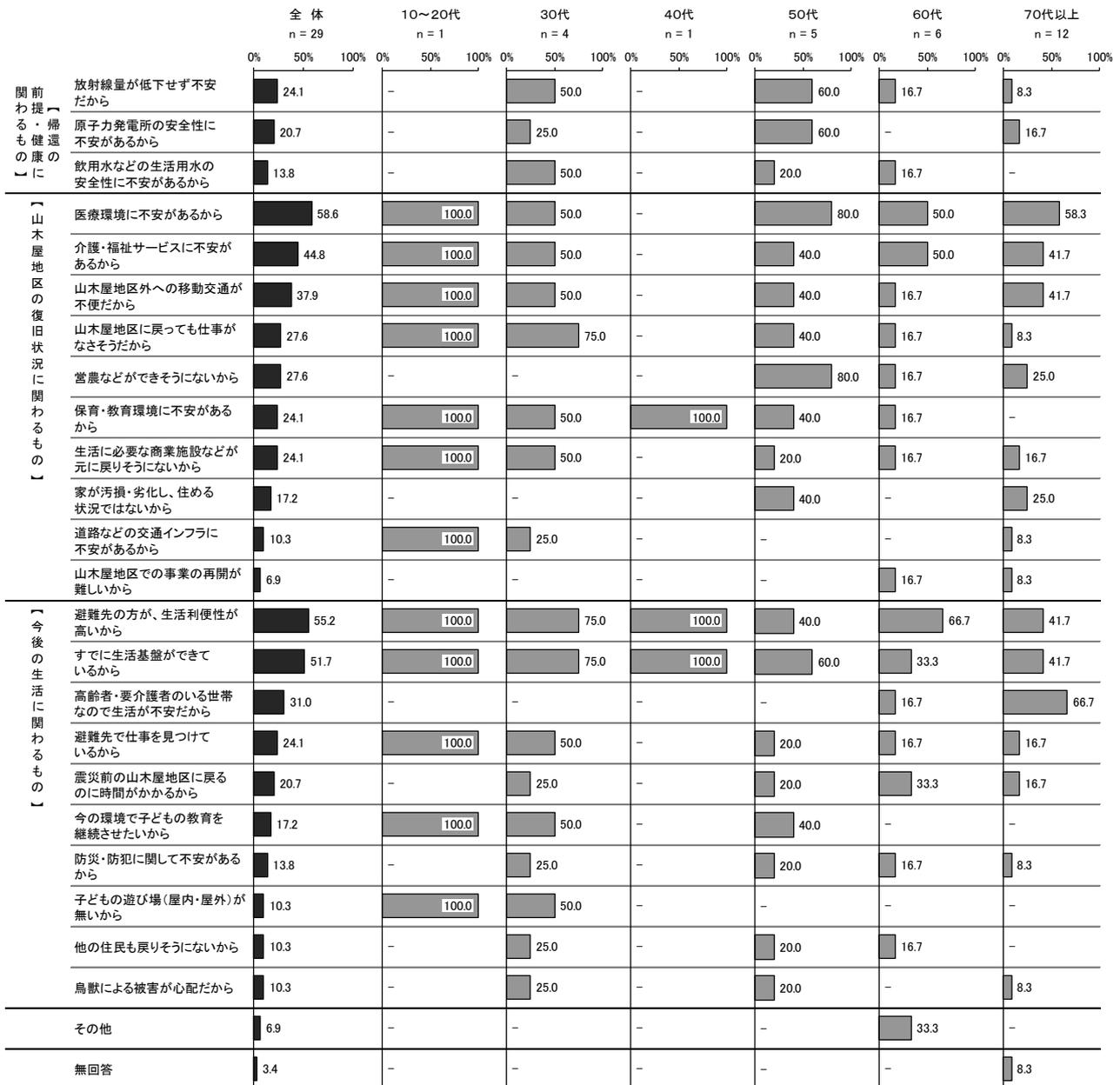
＜図表3-4-10 山木屋地区との「つながり」を保つために必要な施策  
〔帰還の判断がまだつかない方〕（年齢別）＞



3-4-11 山木屋地区に帰還しない理由

問 28 戻らないと決めている理由はどのようなことですか。（〇はいくつでも）

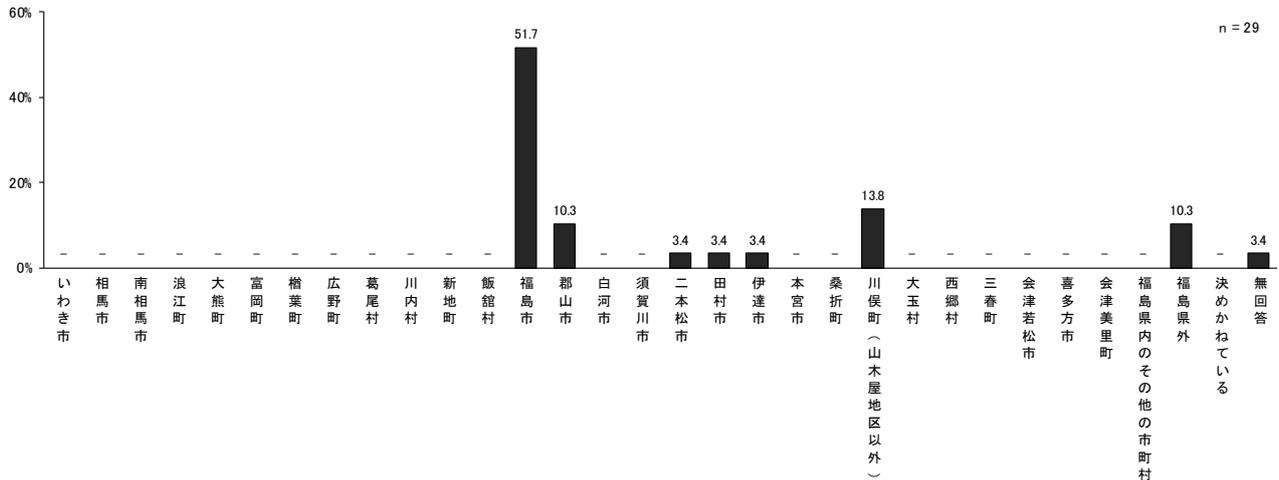
<図表3-4-11 山木屋地区に帰還しない理由（年齢別）>



### 3-4-12 山木屋地区に帰還しない場合に居住を希望する自治体

問 29 帰還しない場合に、今後、居住を希望する自治体はどちらですか。その自治体を教えてください。（〇は1つ）

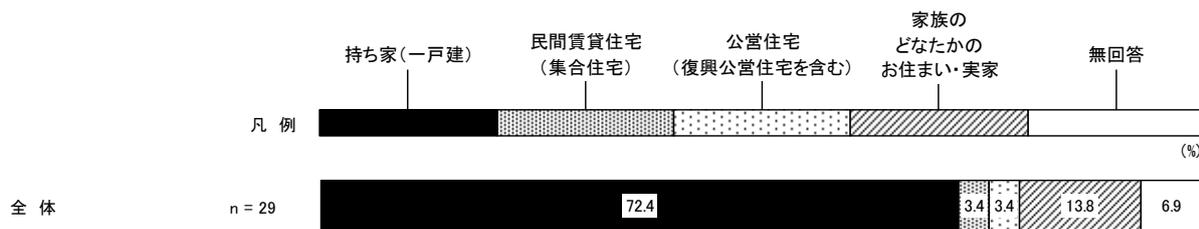
<図表3-4-12 山木屋地区に帰還しない場合に居住を希望する自治体>



### 3-4-13 山木屋地区に帰還しない場合に今後の住まいとして希望する住居形態

問 30 帰還しない場合に、今後のお住まいとして、希望する住宅はどのような形態ですか。（〇は1つ）

<図表3-4-13 山木屋地区に帰還しない場合に今後の住まいとして希望する住居形態>



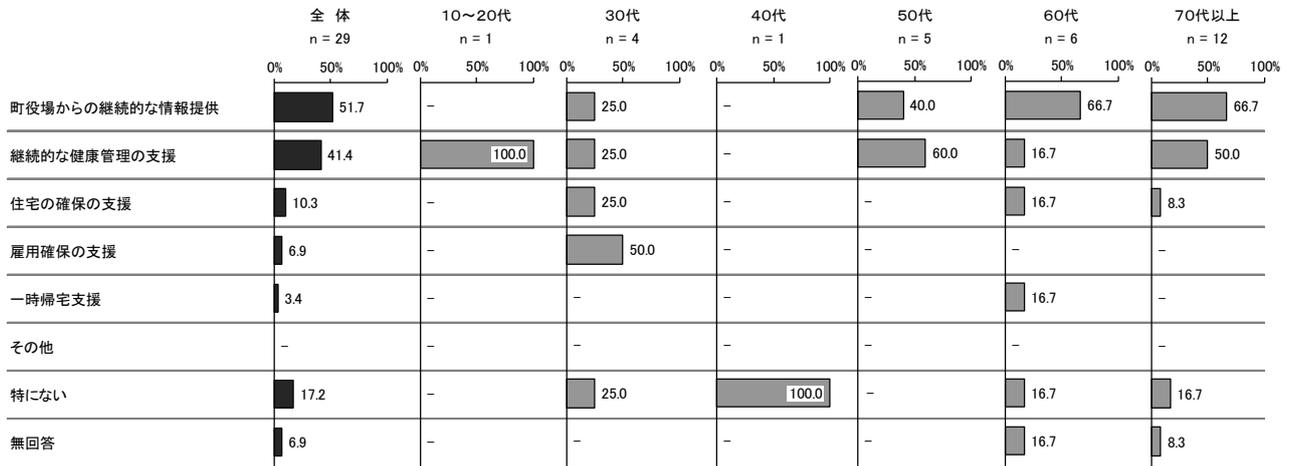
〔その他〕

- 持ち家（集合住宅） -
- 民間賃貸住宅（一戸建） -
- 給与住宅（社宅、公務員宿舎など） -
- 親戚・知人宅 -
- 現時点では判断できない -
- その他 -

3-4-14 山木屋地区に帰還しない場合に今後の生活において必要な支援

問31 震災発生当時に居住されていた山木屋地区に戻らない場合に、今後の生活においてどのような支援を求めますか。（〇はいくつでも）

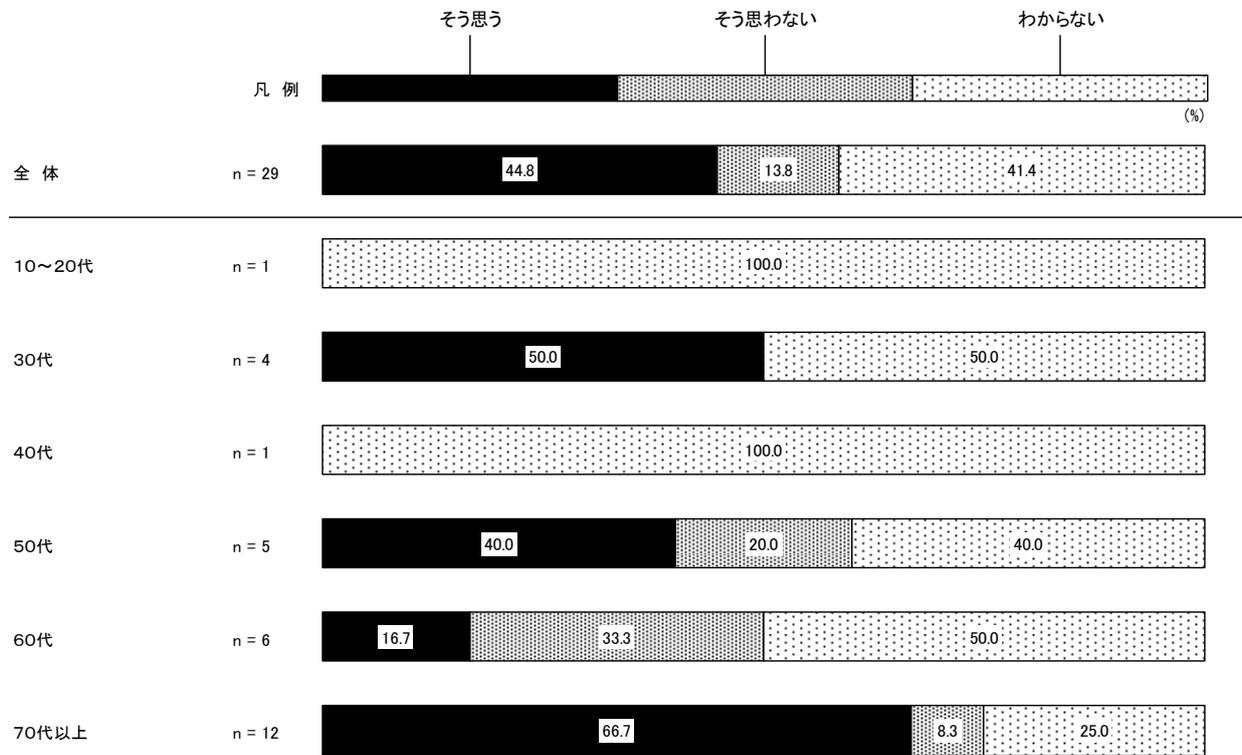
<図表3-4-14 山木屋地区に帰還しない場合に今後の生活において必要な支援（年齢別）>



3-4-15 山木屋地区との「つながり」を保ちたいか〔戻らないと決めている方〕

問 32 山木屋地区との“つながり”を保ちたいと思いますか。（〇は1つ）

<図表3-4-15 山木屋地区との「つながり」を保ちたいか〔戻らないと決めている方〕（年齢別）>

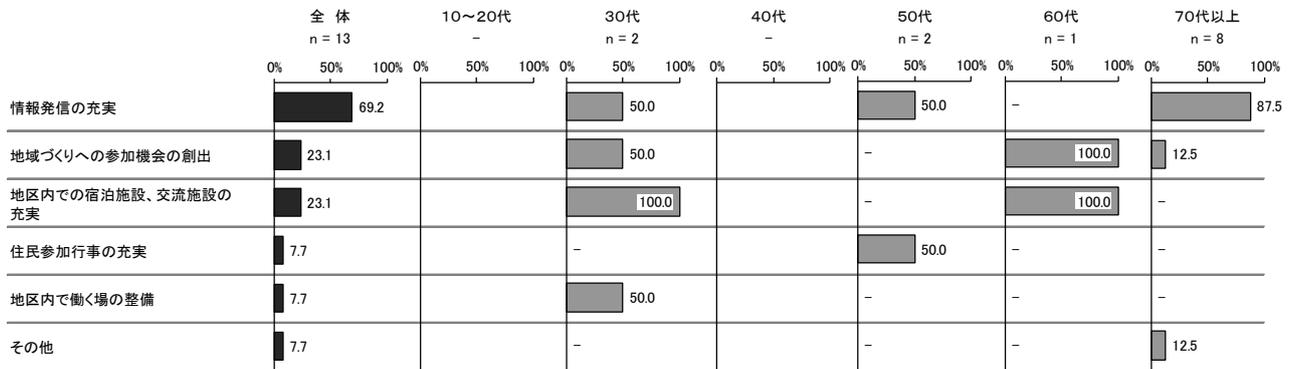


### 3-4-16 山木屋地区との「つながり」を保つために必要な施策 〔戻らないと決めている方〕

【問32で「1. そう思う」と回答した方にうかがいます。】

問32-1 山木屋地区との“つながり”を保つためにどのような施策が必要とお考えですか。（〇はいくつでも）

<図表3-4-16 山木屋地区との「つながり」を保つために必要な施策〔戻らないと決めている方〕（年齢別）>



### 3-5 意見・要望

問 33 町の復興に対して、日頃お感じになっているお気持ちや、今後のあなたの展望、国や県、町への要望などをご自由にお書きください。

国や自治体への要望、復興に対する展望や気持ちなどについて、88世帯から回答があった。ここでは、記入された回答を下記項目に分類し、代表的なものを抜粋して掲載する。

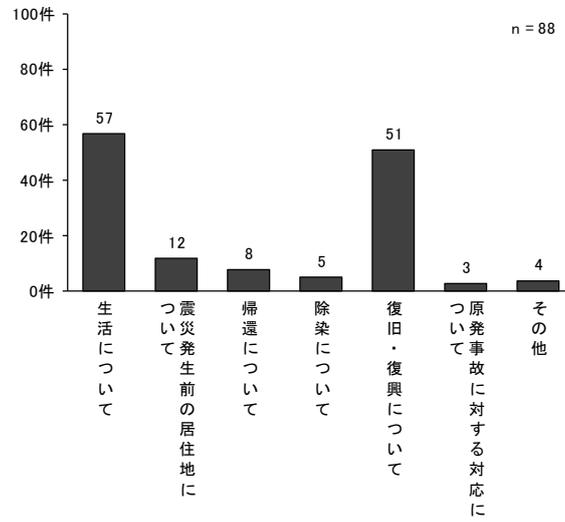
<ul style="list-style-type: none"> <li>●生活について                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の生活について</li> <li>・現在の生活の人間関係・コミュニティについて</li> <li>・現在の生活全般の不安について</li> <li>・将来の生活に関する考えについて</li> <li>・将来の生活の仕事・学業に関する不安について</li> <li>・将来の生活全般の不安について</li> <li>・生活（再建）支援について</li> <li>・その他</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●復旧・復興について                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・復旧・復興の進め方（地域の開発、再編、その他）について</li> <li>・ライフライン・インフラの整備について</li> <li>・社会福祉施設の整備について</li> <li>・医療施設の復興・充実について</li> <li>・学校の復興・充実について</li> <li>・商業の復興・充実について</li> <li>・住民の参加・自助努力について</li> </ul> </li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●震災発生前の居住地について                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・自宅の現状（被害状況）について</li> <li>・自宅の再建・改築・解体について</li> <li>・元の住居や土地等の管理・処分について</li> <li>・所有する墓地の維持・管理・移転について</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●原発事故に対する対応について                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政や東電の対応について</li> </ul> </li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●帰還について                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・帰還への不安</li> <li>・帰還したい</li> <li>・帰還に関する施策について</li> <li>・その他</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●その他                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後のエネルギー政策について</li> <li>・その他</li> </ul> </li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●除染について                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・除染作業の効果等について</li> <li>・除染作業の実施箇所等について</li> <li>・除染作業の早期・迅速・的確な実施について</li> </ul> </li> </ul>	

※掲載する文章は原文を基本とするが、固有名詞が含まれている場合や長文の場合などは、一部省略している。

※一世帯の回答の内容が、複数のテーマにわたる場合は、それぞれの項目へ分類している。

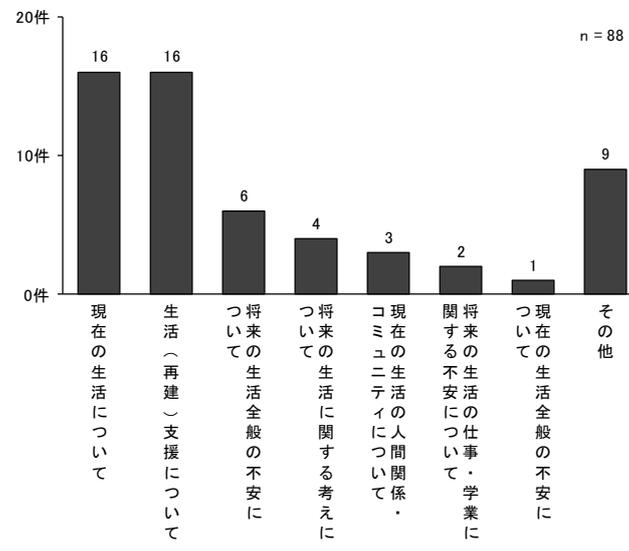
3-5-1 意見に係る記入内容の分類結果

<図表3-5-1 意見に係る記入内容の分類結果>



### 3-5-2 生活について

<図表3-5-2 生活についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

#### 【現在の生活について】

- 避難生活の疲れで日々過ごしている。震災10年を迎え、高齢化が進んでいることに不安を感じている。（40代）
- 帰還して3年以上になりますが、震災前のような生活はない。自家野菜は自分で作っているが、いまだに知人等に“山木屋産だけど食べる？”と聞いています。（60代）
- 現在自宅に帰っておりますが、住宅と倉庫の修理が大変です。（70代以上）

#### 【生活（再建）支援について】

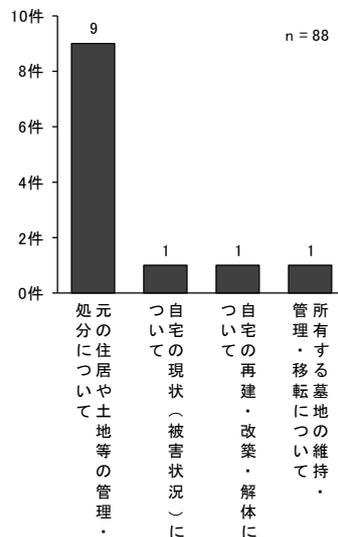
- 震災前とは環境も状況も変わりましたが、実家の家族は何より居心地のいい場所のようです。今、落ち着いて生活できているのは、これまでの支援があったからだと思います。今後もよろしくお願いします。（30代）
- 継続的な健康管理の支援。高速道路利用時の「ふるさとカード」の継続等要望します。（50代）
- あと1年医療費無料継続をお願いします。（60代）

#### 【将来の生活全般の不安について】

- 現在両親は山木屋に戻り、私は別に生活しています。両親も高齢になっていくので将来が気がかりになっています。（50代）
- 山木屋では帰還している人のほとんどが高齢者で10年後、20年後を考えると不安になる。（60代）
- 高齢となり、将来車の運転が容易でなくなった時、生活用品・食料品等の買い物、医院への通院などが心配です。（70代以上）

### 3-5-3 震災発生前の居住地について

＜図表3-5-3 震災発生前の居住地についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

#### 【元の住居や土地等の管理・処分について】

- ・山木屋地区は農家の方が多く、土地を多く持っている方がたくさんいらっしゃいます。その土地でこれからの世代が農業再開することは厳しく、土地ばかりが余り、管理も大変です。希望があれば国や町に土地返還できる等の対応策を取っていただくと安心できます。（30代）
- ・今後どのように土地を活用するべきか見出せていません。私の世代で決着するべき課題と感じます。（40代）
- ・転出しましたが主人が亡くなり、山木屋の先祖の土地は守れるのでしょうか？このまま何もしなくても良いのですか？1人で悩んでいます。（70代以上）

#### 【自宅の現状（被害状況）について】

- ・我が家の農地も原野化が進み台風による被害、残した家もカビと劣化が進んでいます。（70代以上）

#### 【自宅の再建・改築・解体について】

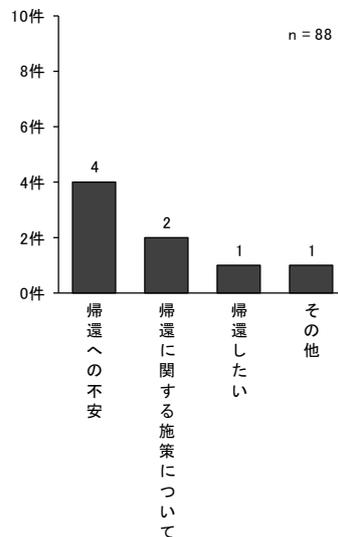
- ・今まで判断できませんでしたが避難している間、本人が認知症となり、家へ帰る状態ではないので無料で家の解体を希望しています。（70代以上）

#### 【所有する墓地の維持・管理・移転について】

- ・墓地に水道、桶の設備のある小屋があると、墓参りにしか来られない人は助かると思う。（60代）

### 3-5-4 帰還について

＜図表3-5-4 帰還についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

#### 【帰還への不安】

- 山木屋へ帰還している人は少ない。高齢者ばかりが戻っており若者は戻っていないと感じる。今後山木屋に戻っても交流の少ない中戻っている人はどのように生活するのか。（10～20代）
- 今後山木屋地区へ戻る人が少ない場合、山木屋地区はどうなってしまうのか？が不安。（30代）
- 私の住んでいた地区は、いまだに携帯電話の電波状況が悪く、何かあった際の連絡も取れないのが現状です。このような状況では戻りにくいのが、今の心境です。（40代）

#### 【帰還に関する施策について】

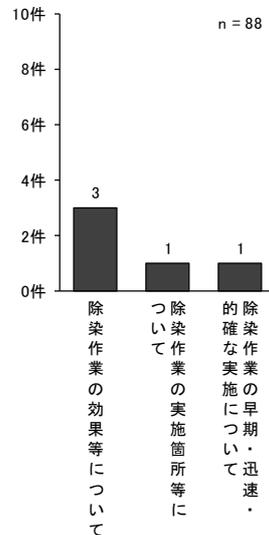
- 少なくなった人で行政を行っていかうとすると、1人に何役も役職がきてしまうので、少ない人で行える体制を取ってもらいたい。消防団も人が足りなくなって山木屋に住んでいない人が半分近い。応援体制も取ってもらっているが、いつまでも現体制では続かないと思うので、無理のない活動にしてほしい。（50代）
- 若い人が帰って来てほしい。（60代）

#### 【帰還したい】

- 将来的には山木屋に戻りたいと思っています。（40代）

### 3-5-5 除染について

<図表3-5-5 除染についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

#### 【除染作業の効果等について】

- 除染を本当にやったのだろうかと思う位線量が高い所がある。相談したら、大丈夫！というが、安心と安全が違うのが分からないのか。業者のための仕事だったのか環境省に不満を感じます。（70代以上）
- 放射線が未だにある。（70代以上）
- 山に入ると山菜やきのこなど、まだまだ放射線量が高く、風評被害があるため、国や福島県などに対策してほしい。（70代以上）

#### 【除染作業の実施箇所等について】

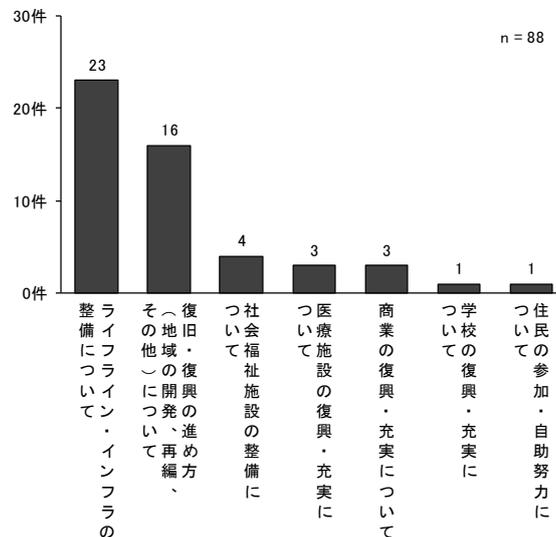
- 山の除染。山から来る水を田畑に使えない。（70代以上）

#### 【除染作業の早期・迅速・的確な実施について】

- 更なる放射線量の低減をお願いします。（70代以上）

### 3-5-6 復旧・復興について

＜図表3-5-6 復旧・復興についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

#### 【ライフライン・インフラの整備について】

- 公共交通機関の充実、道路等のインフラ設備の早期完成。（50代）
- 冬期間の除雪作業を早くしてほしい。（60代）
- 山木屋に戻り2年3ヶ月になりますが、ガソリンスタンドがなくて困っています。外からも来てくれますが、かなり高くなります。（70代以上）

#### 【復旧・復興の進め方（地域の開発、再編、その他）について】

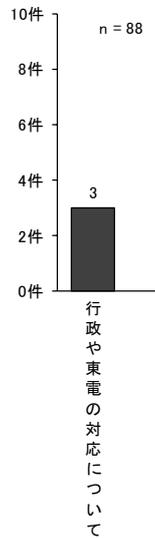
- これをきっかけに川俣町外からも人が集まるような魅力的なまちづくりが必要と思います。例えば今後建設が予定されている風力発電の風景を活用する等、人が集まれば仕事も増え、地域雇用が可能と考えます。（40代）
- 新型コロナ禍の収束が不透明な中、少子高齢化の進行で、町における活性化も少しずつ鈍化し元気がないように思われます。そんな中、福祉、社会保障において、真に必要としている人に確実に届く、きめ細かな政策を通じて、豊かな社会づくりに努力してほしいです。（60代）
- 震災前の山木屋地区には戻らないと思う。年々高齢者が多くなるので安心して暮らせる生活環境づくりをお願いします。（70代以上）

#### 【社会福祉施設の整備について】

- 医療、福祉に一層取り組んでほしい。（10～20代）
- 医療介護福祉施設の充実。（70代以上）
- 高齢者の皆さんが多く戻られていますので、安心して老後の生活が送れるように、山木屋に老人ホームがほしいです。（70代以上）

### 3-5-7 原発事故に対する対応について

<図表3-5-7 原発事故に対する対応についての意見>



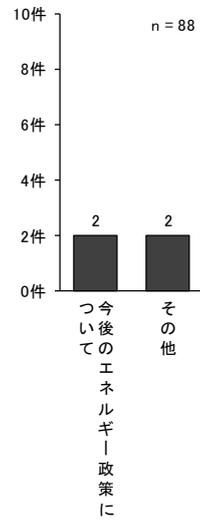
上位項目についての主な意見は以下のとおり。

#### 【行政や東電の対応について】

- 放射線のこと、復興のことが忘れられてきているような感じを受けます。何を言っても、国あるいは行政も、素早い対応をしていただけませんし、複雑な手続きで困っています。（40代）
- 町からは定期的に広報等の情報誌、各種相談会等の資料を送付していただき感謝しています。山木屋地区の方々をはじめ町民の声に耳を傾けて頂き具体的な対応をしていただきたいと思います。（60代）
- 国に要望しても縦割りで要望が届かない。（70代以上）

3-5-8 その他

<図表3-5-8 その他についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【今後のエネルギー政策について】

- 風力発電は住宅に近いのでやめてほしい。(60代)
- 川俣町も再生可能エネルギーで、地球温暖化防止に協力していくことを願いたい。(70代以上)



## **IV 參考資料**



## 4-1 使用調査票

## 川俣町山木屋地区住民意向調査

## 記入上の注意

## ● 調査をお願いする方

震災発生時、川俣町山木屋地区に住民登録をしていた世帯（避難後の転出者を含む）が対象です。

ご回答は、**世帯の代表者の方**にお願いいたします。

現在、世帯が何ヶ所かに分かれて避難されている場合には、**それぞれの場所に調査票を送付しておりますので、本調査票の送付されたお住まいの代表者の方**に、ご回答をお願いいたします。

## ● ご回答方法

- ・ご回答は、あてはまる番号を選び、その番号に○をつけてください。  
「その他」に○をされた場合は、( ) 内に具体的な内容もご記入ください。  
□ の中に具体的な内容の記入をお願いしている間には、具体的な内容（地名、数など）をご記入ください。
- ・**調査票は記名式でお願いしております。**よろしければ、最終ページに「住所」、「氏名」、「連絡先」のご記入をお願いいたします。

## ● 個人情報について

- ・調査票に記載いただいた個人情報は、川俣町、福島県及び復興庁において適切に管理するとともに、各種施策の検討目的以外には使用いたしません。
- ・また、回答はすべて統計的な処理を行い、個人の特定につながるような内容が公表されることはありません。

## ● ご提出方法

ご記入いただいた調査票は下記のいずれかの方法を選択した上で

**11月16日（月）まで**に、ご提出ください。

- (1) 同封の返信用封筒に入れて郵便ポストに投函（切手は不要です）
- (2) 同封の返信用封筒に入れて川俣町役場2階「原子力災害対策課」に直接提出
- (3) 同封の返信用封筒に入れて山木屋地区復興拠点商業施設とんやの郷の施設管理棟の「事務室」に直接提出

## ● ご記入いただく際に補助をご希望の場合

ご記入いただく際に補助をご希望の方は下記の方法で対応いたします。

- (1) 川俣町役場2階「原子力災害対策課」に調査票を持ってお越しください。職員が回答する順序などを示しながら対応いたします。  
また、お電話でも対応いたします。  
【ご連絡先】川俣町 原子力災害対策課 住民支援係 024-566-2111（代表）
- (2) 山木屋地区復興拠点商業施設とんやの郷の施設管理棟の「事務室」に調査票を持ってお越しください。職員が回答する順序などを示しながら対応いたします。

※ 上記の(1)、(2)とも土日祝日を除く平日 8:30～17:15 までです。

#### IV 参考資料

【お問い合わせ先】 ご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。

**復興庁** 調査の趣旨、記入方法について  
**「住民意向調査」** フリーダイヤル 0120-991-037  
**問い合わせセンター** [設置期間：11月4日（水）～11月16日（月） 平日10時～17時]

**福島県** 〒960-8670 福島県福島市杉妻町2番16号  
避難地域復興局 生活拠点課  
Tel 024-521-8617

**川俣町** 〒960-1492 福島県伊達郡川俣町字五百田30番地  
原子力災害対策課 住民支援係  
Tel 024-566-2111（代表）

はじめに、ご記入いただくあなたご自身のことについて教えてください。

【すべての方にうかがいます。】

**問1** 性別を教えてください。(○は1つ)

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

【すべての方にうかがいます。】

**問2** あなたの現在の年齢を教えてください。(○は1つ)

- |           |            |
|-----------|------------|
| 1. ～19歳   | 8. 50～54歳  |
| 2. 20～24歳 | 9. 55～59歳  |
| 3. 25～29歳 | 10. 60～64歳 |
| 4. 30～34歳 | 11. 65～69歳 |
| 5. 35～39歳 | 12. 70～74歳 |
| 6. 40～44歳 | 13. 75～79歳 |
| 7. 45～49歳 | 14. 80歳以上  |

【すべての方にうかがいます。】

**問3** 現在のあなたの職業を教えてください。

仕事に就いている方は、業種も教えてください。なお、2つ以上の職業を持っている場合は、主な収入源になっている職業を教えてください。

(1) 職業(就業形態) (○は1つ)

- |                           |                 |         |
|---------------------------|-----------------|---------|
| 1. 自営業・会社経営者(継続中もしくは再開済)  | 8. 学生           | } ⇒ 問4へ |
| 2. 自営業・会社経営者(休業中)         | 9. 無職(職を探していない) |         |
| 3. 会社員(勤め人)(事務や内勤を主とする業務) | 10. 無職(職を探している) | } ( )   |
| 4. 会社員(勤め人)(労務や外勤を主とする業務) | 11. その他(具体的に    |         |
| 5. 団体職員                   |                 |         |
| 6. 公務員                    |                 |         |
| 7. パート・アルバイト              |                 |         |

【仕事に就いている方(問3(1)で「1」から「7」、「11」と回答した方)にうかがいます。】

(2) 業種 (○は1つ)

- |                   |              |       |
|-------------------|--------------|-------|
| 1. 農・林・漁・畜産業      | 7. 金融・保険業    | } ( ) |
| 2. 建設業            | 8. 医療・福祉     |       |
| 3. 製造業            | 9. 教育        |       |
| 4. 電気・ガス・水道業      | 10. 公務       |       |
| 5. 運輸業            | 11. その他(具体的に |       |
| 6. 卸・小売り・飲食、サービス業 |              |       |

東日本大震災発生当時のあなたの状況について教えてください。

【すべての方にかがいます。】

**問 4** 震災発生当時にお住まいだった行政区を教えてください。(○は1つ)

1. 1区	6. 5区	11. 9区
2. 甲2区	7. 6区	12. わからない
3. 乙2区	8. 7区	〔わからない場合は住所を記載してください〕
4. 3区	9. 甲8区	
5. 4区	10. 乙8区	

【すべての方にかがいます。】

**問 5** 「震災発生当時」に、あなたを含めて一緒に住んでいた方の人数を教えてください。

あなた自身を含めて、「当時の」年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

ア) 未就学児(小学校入学前)	人	エ) 15歳以上18歳未満(中学生を除く)	人
イ) 小学生	人	オ) 18歳以上65歳未満	人
ウ) 中学生	人	カ) 65歳以上の方	人

【すべての方にかがいます。】

**問 6** 震災発生当時にお住まいだった住宅は、どのような形態でしたか。(○は1つ)

1. 持ち家(一戸建)	} ⇒ <u>問6-1</u> へ	7. 家族のどなたかのお住まい・実家	} ⇒ <u>問7</u> へ
2. 持ち家(集合住宅)		8. 親戚・知人宅	
3. 民間賃貸住宅(一戸建)	} ⇒ <u>問7</u> へ	9. その他	
4. 民間賃貸住宅(集合住宅)		〔具体的に〕	
5. 公営住宅			
6. 給与住宅 (社宅、公務員宿舎など)			

【問6で「1. 持ち家(一戸建)」「2. 持ち家(集合住宅)」と回答した方にかがいます。】

**問 6-1** 震災発生当時にお住まいだった住宅は、現在どのような状況ですか。(○は1つ)

1. 解体をせざるを得ない被害、劣化等がみられる	} ⇒ <u>問6-2</u> へ
2. 修理すれば住める状況	
3. 特に損傷はない	} ⇒ <u>問7</u> へ
4. 既に解体している	
5. 改修又は建て替え中	
6. わからない	

【問 6-1 で「1. 解体をせざるを得ない被害、劣化等がみられる」「2. 修理すれば住める状況」と回答した方にうかがいます。】

**問 6-2** 震災発生当時にお住まいだった住宅は、現在どのような被害や劣化等がありますか。  
(○はいくつでも)

- |                        |                        |
|------------------------|------------------------|
| 1. 地震の影響と思われる大きな損壊等がある | 6. 屋内の放射線量が高い(屋外と同等程度) |
| 2. 火災被害を受けている          | 7. 解体中、または解体の手続き中      |
| 3. 動物等が侵入した跡があり荒れている   | 8. その他(具体的に            |
| 4. 雨漏りの形跡がみられる         |                        |
| 5. カビが多く発生している         | )                      |



現在のあなたの状況について教えてください。

【すべての方にかがいます。】

**問7** 避難指示解除後の現状を教えてください。(○は1つ)

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1. 避難を終了している | ⇒ <u>問8へ</u>  |
| 2. 避難を継続している | ⇒ <u>問18へ</u> |

問8からは、問7で「1. 避難を終了している」と回答した方にかがいます。

**問8** 避難終了後の状況を教えてください。(○は1つ)

- |                        |   |               |
|------------------------|---|---------------|
| 1. 山木屋地区に帰還している        | } | ⇒ <u>問9へ</u>  |
| 2. 山木屋地区以外の川俣町内に転居している |   | ⇒ <u>問13へ</u> |
| 3. 川俣町外に転出している         |   |               |

問9～問12は、問8で「1. 山木屋地区に帰還している」  
「2. 山木屋地区以外の川俣町内に転居している」と回答した方にうかがいます。

**問9** 現在のお住まいは、どのような形態ですか。(○は1つ)

- |                                |        |   |         |
|--------------------------------|--------|---|---------|
| 1. 元の山木屋の持ち家(自宅)(建て替える場合を含む)   | ⇒ 問10へ | } | ⇒ 問9-1へ |
| 2. 山木屋の自宅とは別の場所に新たに一戸建の持ち家を建てた |        |   |         |
| 3. 山木屋の自宅とは別の場所に分譲集合住宅を購入した    |        |   |         |
| 4. 民間賃貸住宅(一戸建)                 |        | } | ⇒ 問10へ  |
| 5. 民間賃貸住宅(集合住宅)                |        |   |         |
| 6. 公営住宅                        |        |   |         |
| 7. 給与住宅(社宅など)                  |        |   |         |
| 8. 家族のどなたかのお住まい・実家             |        |   |         |
| 9. 親戚・知人宅                      |        |   |         |
| 10. その他(具体的に                   |        |   |         |

【問9で「2. 山木屋の自宅とは別の場所に新たに一戸建の持ち家を建てた」「3. 山木屋の自宅とは別の場所に分譲集合住宅を購入した」と回答した方にうかがいます。】

**問9-1** 山木屋の元の持ち家以外とした理由は、何ですか。(○はいくつでも)

- |                                  |   |
|----------------------------------|---|
| 1. 元の山木屋の持ち家(自宅)周辺の放射線量の高さが心配だから | } |
| 2. 元の山木屋の持ち家(自宅)周辺に住む人が少ないと思うから  |   |
| 3. 元の山木屋の持ち家(自宅)が荒廃しているから        |   |
| 4. その他(具体的に                      |   |

**問10** 「現在」、あなたを含めて一緒に住んでいる方の人数を教えてください。

あなた自身を含めて、「現在の」年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

ア) 未就学児(小学校入学前)	人	エ) 15歳以上18歳未満(中学生を除く)	人
イ) 小学生	人	オ) 18歳以上65歳未満	人
ウ) 中学生	人	カ) 65歳以上の方	人

**問 11** 川俣町内に戻られた判断材料は、どのようなことですか。(〇はいくつでも)

- |                          |                       |
|--------------------------|-----------------------|
| 1. 放射線量が低減されたこと          | 6. 近くに勤務先があること        |
| 2. 水道水等、生活用水の安全性が確認されたこと | 7. 町内で子どもの就学をさせたかったこと |
| 3. 商業施設が再開したこと           | 8. 気持ちが安らぐこと          |
| 4. 公営住宅・居住環境が整備されたこと     | 9. 友人・知人等が町内に居住していること |
| 5. 働く場・就業機会があること         | 10. その他               |

〔具体的に〕

**問 12** 今後の生活においてどのような支援が重要であると考えますか。選択肢番号に〇はつけずに、重要であると考える順に選択肢番号欄に3つまで選んでください。

- |                         |                          |
|-------------------------|--------------------------|
| 1. 更なる放射線量の低減           | 9. 更なる防犯防火対策の強化          |
| 2. 商業施設の再開、充実           | 10. 放射線リスクコミュニケーションの充実   |
| 3. 医療、介護福祉施設の再開や新設      | 11. 町内コミュニティ活動・生涯学習の機会   |
| 4. 教育、保育環境の整備           | 12. 子ども・高齢者等に対する見守り活動の充実 |
| 5. 公共交通機関の充実            | 13. その他                  |
| 6. 雇用確保・就業サポート          | 〔具体的に〕                   |
| 7. 営農・事業再開への支援          |                          |
| 8. 携帯電話やインターネット等通信環境の改善 |                          |

優先順位	選択肢番号
(例) 1 番目	(例) 2
1 番目	
2 番目	
3 番目	



問 13～問 17 は、問 8 で「3. 川俣町外に転出している」と回答した方にうかがいます。

**問 13** 現在お住まいの自治体を教えてください。(○は1つ)

<p>【 浜 通 り 】</p> <p>1. いわき市 2. 相馬市 3. 南相馬市 4. 浪江町 5. 大熊町 6. 富岡町 7. 檜葉町 8. 広野町 9. 葛尾村 10. 川内村 11. 新地町 12. 飯館村</p>	<p>【 中 通 り 】</p> <p>13. 福島市 14. 郡山市 15. 白河市 16. 須賀川市 17. 二本松市 18. 田村市 19. 伊達市 20. 本宮市 21. 桑折町 22. 三春町</p>	<p>【 会 津 】</p> <p>23. 会津若松市</p> <p>【 福島県内のその他の市町村(1から23以外) 】</p> <p>24. 福島県内のその他の市町村 →具体的にご記入ください</p> <p><input type="text"/> (市・町・村)</p> <p>【 福島県外 】</p> <p>25. 福島県外 → 具体的にご記入ください</p> <p><input type="text"/> (都・道・府・県)</p> <p><input type="text"/> (市・区・町・村)</p>
--	---	---

**問 14** 現在お住まいになっている住宅はどのような住居形態ですか。(○は1つ)

<p>1. 持ち家(一戸建)</p> <p>2. 持ち家(集合住宅)</p> <p>3. 民間賃貸住宅(一戸建)</p> <p>4. 民間賃貸住宅(集合住宅)</p> <p>5. 公営住宅(復興公営住宅を含む)</p> <p>6. 給与住宅(社宅、公務員宿舎など)</p>	<p>7. 家族のどなたかのお住まい・実家</p> <p>8. 親戚・知人宅</p> <p>9. その他(具体的に</p> <p><input type="text"/></p>
--	---

**問 15** 「現在」、あなたを含めて一緒に住んでいる方の人数を教えてください。

あなた自身を含めて、「現在の」年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

ア) 未就学児(小学校入学前)	人	エ) 15歳以上18歳未満(中学生を除く)	人
イ) 小学生	人	オ) 18歳以上65歳未満	人
ウ) 中学生	人	カ) 65歳以上の方	人

**問 16** 川俣町外に転出している理由はどのようなことですか。(○はいくつでも)

**【帰還の前提・健康に関わるもの】**

1. 放射線量が低下せず不安だから
2. 原子力発電所の安全性に不安があるから
3. 飲用水などの生活用水の安全性に不安があるから

**【山木屋地区の復旧状況に関わるもの】**

4. 山木屋地区に戻っても仕事がなさそうだから
5. 山木屋地区での事業の再開が難しいから
6. 営農などができそうにないから
7. 家が汚損・劣化し、住める状況ではないから
8. 山木屋地区外への移動交通が不便だから
9. 道路などの交通インフラに不安があるから
10. 医療環境に不安があるから
11. 介護・福祉サービスに不安があるから
12. 保育・教育環境に不安があるから
13. 生活に必要な商業施設などが元に戻りそうにないから

**【今後の生活に関わるもの】**

14. 高齢者・要介護者のいる世帯なので生活が不安だから
15. 子どもの遊び場(屋内・屋外)が無いから
16. 他の住民も戻りそうにないから
17. 鳥獣による被害が心配だから
18. 震災前の山木屋地区に戻るのに時間がかかるから
19. 転出先で仕事を見つけているから
20. 今の環境で子どもの教育を継続させたいから
21. 転出先の方が、生活利便性が高いから
22. すでに生活基盤ができているから
23. 防災・防犯に関して不安があるから
24. その他

（具体的に）

**問 17** 山木屋地区との“つながり”を保ちたいと思いますか。(○は1つ)

- |           |   |                 |
|-----------|---|-----------------|
| 1. そう思う   | ⇒ | <u>問 17-1</u> へ |
| 2. そう思わない | } | ⇒ <u>問 33</u> へ |
| 3. わからない  |   |                 |

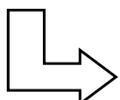
【問 17 で「1. そう思う」と回答した方にうかがいます。】

**問 17-1** 山木屋地区との“つながり”を保つためにどのような施策が必要とお考えですか。

(○はいくつでも)

- |                   |                      |
|-------------------|----------------------|
| 1. 地域づくりへの参加機会の創出 | 4. 地区内での宿泊施設、交流施設の充実 |
| 2. 住民参加行事の充実      | 5. 情報発信の充実           |
| 3. 地区内で働く場の整備     | 6. その他               |

（具体的に）



問 33 へ

問 18 からは、問 7 で「2. 避難を継続している」と回答した方にうかがいます。

**問 18** 現在お住まいの自治体を教えてください。(○は1つ)

<p>【 浜 通 り 】</p> <p>1. いわき市 2. 相馬市 3. 南相馬市 4. 浪江町 5. 大熊町 6. 富岡町 7. 檜葉町 8. 広野町 9. 葛尾村 10. 川内村 11. 新地町 12. 飯館村</p>	<p>【 中 通 り 】</p> <p>13. 福島市 14. 郡山市 15. 白河市 16. 須賀川市 17. 二本松市 18. 田村市 19. 伊達市 20. 本宮市 21. 桑折町 22. 川俣町 (山木屋地区以外) 23. 三春町</p>	<p>【 会 津 】</p> <p>24. 会津若松市</p> <p>【 福島県内のその他の市町村(1から24以外) 】</p> <p>25. 福島県内のその他の市町村 →具体的にご記入ください</p> <p><input type="text"/> (市・町・村)</p> <p>【 福島県外 】</p> <p>26. 福島県外 → 具体的にご記入ください</p> <p><input type="text"/> (都・道・府・県)</p> <p><input type="text"/> (市・区・町・村)</p>
--	---	---

**問 19** 現在お住まいになっている住宅はどのような住居形態ですか。(○は1つ)

<p>1. 川俣町営の復興公営住宅(有償)</p> <p>2. 福島県営などの復興公営住宅(「1」は除く。有償)</p> <p>3. その他の公営住宅(「1」、「2」は除く。有償)</p> <p>4. 民間賃貸住宅(有償)</p> <p>5. 給与住宅(社宅など)</p>	<p>6. 家族のどなたかのお住まい・実家</p> <p>7. 親戚・知人宅</p> <p>8. 持ち家(ご本人またはご家族所有)</p> <p>9. その他(具体的に</p> <p><input type="text"/></p>
--	--

**問 20** 「現在」、あなたを含めて一緒に住んでいる方の人数を教えてください。

あなた自身を含めて、「現在の」年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

ア) 未就学児(小学校入学前)	人	エ) 15歳以上18歳未満(中学生を除く)	人
イ) 小学生	人	オ) 18歳以上65歳未満	人
ウ) 中学生	人	カ) 65歳以上の方	人

将来に関するご意向についてお聞かせください。

**問 21** 山木屋地区への帰還について、現時点でどのようにお考えですか。(○は1つ)

- |                          |   |                    |
|--------------------------|---|--------------------|
| 1. 戻りたいと考えている(将来的な希望も含む) | ⇒ | <u>問 22～問 25 へ</u> |
| 2. まだ判断がつかない             | ⇒ | <u>問 26～問 27 へ</u> |
| 3. 戻らないと決めている            | ⇒ | <u>問 28～問 32 へ</u> |

問 22～問 25 は、問 21 で「1. 戻りたいと考えている(将来的な希望も含む)」と回答した方にうかがいます。

**問 22** 山木屋地区へ戻りたいと考えている時期を教えてください。(○は1つ)

- |                  |                      |
|------------------|----------------------|
| 1. すぐに戻りたい(1年以内) | 4. 10年以内に戻りたい        |
| 2. 3年以内に戻りたい     | 5. 時期は決めていないがいずれ戻りたい |
| 3. 5年以内に戻りたい     |                      |

**問 22-1** 問 22 で戻りたいと考えている時期を検討・希望しているのは、どのような理由からですか。

**問 23** 帰還する場合に、家族の全員か一部かについて教えてください。(○は1つ)

- |                   |                |
|-------------------|----------------|
| 1. 家族全員での帰還を考えている | 3. 現在検討しているところ |
| 2. 家族一部での帰還を考えている | 4. まだわからない     |

**問 24** 帰還する場合のお住まいは、どのような形態を希望しますか。(○は1つ)

- |                                 |   |                   |
|---------------------------------|---|-------------------|
| 1. 元の山木屋の持ち家(自宅)(建て替える場合を含む)    | ⇒ | <u>問 25 へ</u>     |
| 2. 山木屋の自宅とは別の場所に新たに一戸建の持ち家を建てたい | } | ⇒ <u>問 24-1 へ</u> |
| 3. 山木屋の自宅とは別の場所に分譲集合住宅を購入したい    |   |                   |
| 4. 民間賃貸住宅(一戸建)                  |   |                   |
| 5. 民間賃貸住宅(集合住宅)                 | } | ⇒ <u>問 25 へ</u>   |
| 6. 公営住宅                         |   |                   |
| 7. 給与住宅(社宅など)                   |   |                   |
| 8. 家族のどなたかのお住まい・実家              |   |                   |
| 9. 親戚・知人宅                       |   |                   |
| 10. 現時点では判断できない                 |   |                   |
| 11. その他(具体的に )                  |   |                   |

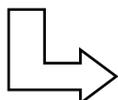
【問 24 で「2. 山木屋の自宅とは別の場所に新たに一戸建の持ち家を建てたい」「3. 山木屋の自宅とは別の場所に分譲集合住宅を購入したい」と回答した方にうかがいます。】

**問 24-1** 山木屋の元の持ち家以外とした理由は、何ですか。(○はいくつでも)

1. 元の山木屋の持ち家(自宅)周辺の放射線量の高さが心配だから
2. 元の山木屋の持ち家(自宅)周辺に住む人が少ないと思うから
3. 元の山木屋の持ち家(自宅)が荒廃しているから
4. その他 (具体的に

**問 25** 山木屋地区に帰還する場合に、今後の生活においてどのような支援が必要と考えますか。(○はいくつでも)

- |                         |                          |
|-------------------------|--------------------------|
| 1. 更なる放射線量の低減           | 9. 更なる防犯防火対策の強化          |
| 2. 商業施設の再開、充実           | 10. 放射線リスクコミュニケーションの充実   |
| 3. 医療、介護福祉施設の再開や新設      | 11. 町内コミュニティ活動・生涯学習の機会   |
| 4. 教育、保育環境の整備           | 12. 子ども・高齢者等に対する見守り活動の充実 |
| 5. 公共交通機関の充実            | 13. その他 (具体的に            |
| 6. 雇用確保・就業サポート          |                          |
| 7. 営農・事業再開への継続的支援       |                          |
| 8. 携帯電話やインターネット等通信環境の改善 |                          |

 問 33 へ

問 26～問 27 は、問 21 で「2. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。

**問 26** 山木屋地区へ戻ることを判断するために必要なことを教えてください。選択肢番号に○はつけずに、重視したいものから順に選択肢番号欄に5つまで選び、具体的な内容欄に支援や情報内容をご記入ください。

1. 公共交通機関の充実
2. 医療機関の充実
3. 介護・福祉施設の充実
4. 保育・教育環境の充実
5. 商業施設の充実
6. 放射線量の低下の見通し、除染成果の状況
7. どの程度の住民が戻るかの状況
8. 中間貯蔵施設の情報
9. 原子力発電所の安全性に関する情報(事故収束や廃炉の状況)
10. 放射線の人体への影響に関する情報
11. 働く場の確保の見通し
12. 公営住宅・居住環境の整備
13. 住宅確保への支援に関する情報
14. 有害鳥獣対策の強化
15. 現時点ではどのような情報があれば判断できるかわからない
16. その他
17. 特こない

優先順位	選択肢番号	具 体 的 な 内 容
(例) 1 番目	(例) 2	(例) ○○病院の再開
1 番目		
2 番目		
3 番目		
4 番目		
5 番目		

**問 27** 山木屋地区との“つながり”を保ちたいと思いますか。(○は1つ)

- |           |   |                   |
|-----------|---|-------------------|
| 1. そう思う   | } | ⇒ <u>問 27-1</u> へ |
| 2. そう思わない |   | ⇒ <u>問 33</u> へ   |
| 3. わからない  |   |                   |

【問 27 で「1. そう思う」と回答した方にうかがいます。】

**問 27-1** 山木屋地区との“つながり”を保つためにどのような施策が必要とお考えですか。

(○はいくつでも)

- |                   |                      |
|-------------------|----------------------|
| 1. 地域づくりへの参加機会の創出 | 4. 地区内での宿泊施設、交流施設の充実 |
| 2. 住民参加行事の充実      | 5. 情報発信の充実           |
| 3. 地区内で働く場の整備     | 6. その他 (具体的に         |



問 33 へ

問 28～問 32 は、問 21 で「3. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。

**問 28** 戻らないと決めている理由はどのようなことですか。(○はいくつでも)

【帰還の前提・健康に関わるもの】

1. 放射線量が低下せず不安だから
2. 原子力発電所の安全性に不安があるから
3. 飲用水などの生活用水の安全性に不安があるから

【山木屋地区の復旧状況に関わるもの】

4. 山木屋地区に戻っても仕事がなさそうだから
5. 山木屋地区での事業の再開が難しいから
6. 営農などができそうにないから
7. 家が汚損・劣化し、住める状況ではないから
8. 山木屋地区外への移動交通が不便だから
9. 道路などの交通インフラに不安があるから
10. 医療環境に不安があるから
11. 介護・福祉サービスに不安があるから
12. 保育・教育環境に不安があるから
13. 生活に必要な商業施設などが元に戻りそうにないから

【今後の生活に関わるもの】

14. 高齢者・要介護者のいる世帯なので生活が不安だから
15. 子どもの遊び場(屋内・屋外)が無いから
16. 他の住民も戻りそうにないから
17. 鳥獣による被害が心配だから
18. 震災前の山木屋地区に戻るのに時間がかかるから
19. 避難先で仕事を見つけているから
20. 今の環境で子どもの教育を継続させたいから
21. 避難先の方が、生活利便性が高いから
22. すでに生活基盤ができているから
23. 防災・防犯に関して不安があるから
24. その他 (具体的に

**問 29** 帰還しない場合に、今後、居住を希望する自治体はどちらですか。その自治体を教えてください。(○は1つ)

<p><b>【 浜 通 り 】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. いわき市</li> <li>2. 相馬市</li> <li>3. 南相馬市</li> <li>4. 浪江町</li> <li>5. 大熊町</li> <li>6. 富岡町</li> <li>7. 檜葉町</li> <li>8. 広野町</li> <li>9. 葛尾村</li> <li>10. 川内村</li> <li>11. 新地町</li> <li>12. 飯館村</li> </ol>	<p><b>【 中 通 り 】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>13. 福島市</li> <li>14. 郡山市</li> <li>15. 白河市</li> <li>16. 須賀川市</li> <li>17. 二本松市</li> <li>18. 田村市</li> <li>19. 伊達市</li> <li>20. 本宮市</li> <li>21. 桑折町</li> <li>22. 川俣町 (山木屋地区以外)</li> <li>23. 大玉村</li> <li>24. 西郷村</li> <li>25. 三春町</li> </ol> <p><b>【 会 津 】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>26. 会津若松市</li> <li>27. 喜多方市</li> <li>28. 会津美里町</li> </ol>	<p><b>【 福島県内のその他の市町村(1から28以外) 】</b></p> <p>29. 福島県内のその他の市町村 →具体的にご記入ください</p> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; margin: 5px auto;"></div> <p style="text-align: right;">(市・町・村)</p> <p><b>【 福島県外 】</b></p> <p>30. 福島県外 →具体的にご記入ください</p> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; margin: 5px auto;"></div> <p style="text-align: right;">(都・道・府・県)</p> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; margin: 5px auto;"></div> <p style="text-align: right;">(市・区・町・村)</p> <p><b>【 その他 】</b></p> <p>31. 決めかねている</p>
---	--	--

**問 30** 帰還しない場合に、今後のお住まいとして、希望する住宅はどのような形態ですか。(○は1つ)

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 持ち家(一戸建)</li> <li>2. 持ち家(集合住宅)</li> <li>3. 民間賃貸住宅(一戸建)</li> <li>4. 民間賃貸住宅(集合住宅)</li> <li>5. 公営住宅(復興公営住宅を含む)</li> <li>6. 給与住宅(社宅、公務員宿舎など)</li> <li>7. 家族のどなたかのお住まい・実家</li> <li>8. 親戚・知人宅</li> <li>9. 現時点では判断できない</li> <li>10. その他 (具体的に</li> </ol> <div style="border: 1px solid black; width: 600px; height: 40px; margin-left: 10px;"></div>
---

**問 31** 震災発生当時に居住されていた山木屋地区に戻らない場合に、今後の生活においてどのような支援を求めますか。(○はいくつでも)

1. 住宅の確保の支援
2. 継続的な健康管理の支援
3. 雇用確保の支援
4. 町役場からの継続的な情報提供
5. 一時帰宅支援
6. その他 { 具体的に
7. 特になし

**問 32** 山木屋地区との“つながり”を保ちたいと思いますか。(○は1つ)

1. そう思う ⇒ 問 32-1 へ
2. そう思わない } ⇒ 問 33 へ
3. わからない }

【問 32 で「1. そう思う」と回答した方にうかがいます。】

**問 32-1** 山木屋地区との“つながり”を保つためにどのような施策が必要とお考えですか。  
(○はいくつでも)

1. 地域づくりへの参加機会の創出
2. 住民参加行事の充実
3. 地区内で働く場の整備
4. 地区内での宿泊施設、交流施設の充実
5. 情報発信の充実
6. その他 { 具体的に



国や福島県、川俣町へのご意見などについてお聞かせください。

【すべての方にうかがいます。】

**問 33** 町の復興に対して、日頃お感じになっているお気持ちや、今後のあなたの展望、国や県、町への要望などをご自由にお書きください。

**最後に、あなたご自身のことについて教えてください。**

本調査は、皆様の現時点での帰還状況、避難状況、将来の生活再建の意向を確認させていただくものです。

皆様からのご回答・ご意見は、帰還後、あるいは避難期間中の生活環境の整備や、帰還などの諸施策の適切な実施に向けた取り組みをさらに具現化するための基礎資料とさせていただきます。

今後、改めて、諸施策について、詳しくご意向をお聞きする場合がありますので、現在の住所と氏名、連絡先のご記入をお願いいたします。

**F1** 現在のあなたの住所(番地、アパート名・部屋番号までご記入ください)

**F2** あなたの氏名

**F3** あなたの連絡先(電話番号)

以上でご回答いただく内容は終わりです。  
ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

ご記入いただいた調査票は下記のいずれかの方法を選択した上で  
11月16日(月)までに、ご提出ください。

- (1) 同封の返信用封筒に入れて郵便ポストに投函する方法(切手は不要です)
- (2) 同封の返信用封筒に入れて川俣町役場2階「原子力災害対策課」に直接提出する方法
- (3) 同封の返信用封筒に入れて山木屋地区復興拠点商業施設とんやの郷の施設管理棟の「事務室」に直接提出する方法

※ 上記の(2)、(3)とも、土日祝日を除く平日8:30~17:15までです。



**川俣町 住民意向調査  
報告書**

**令和3年3月**

**復興庁 福島県 川俣町**

**調査機関:株式会社サーベイリサーチセンター**

